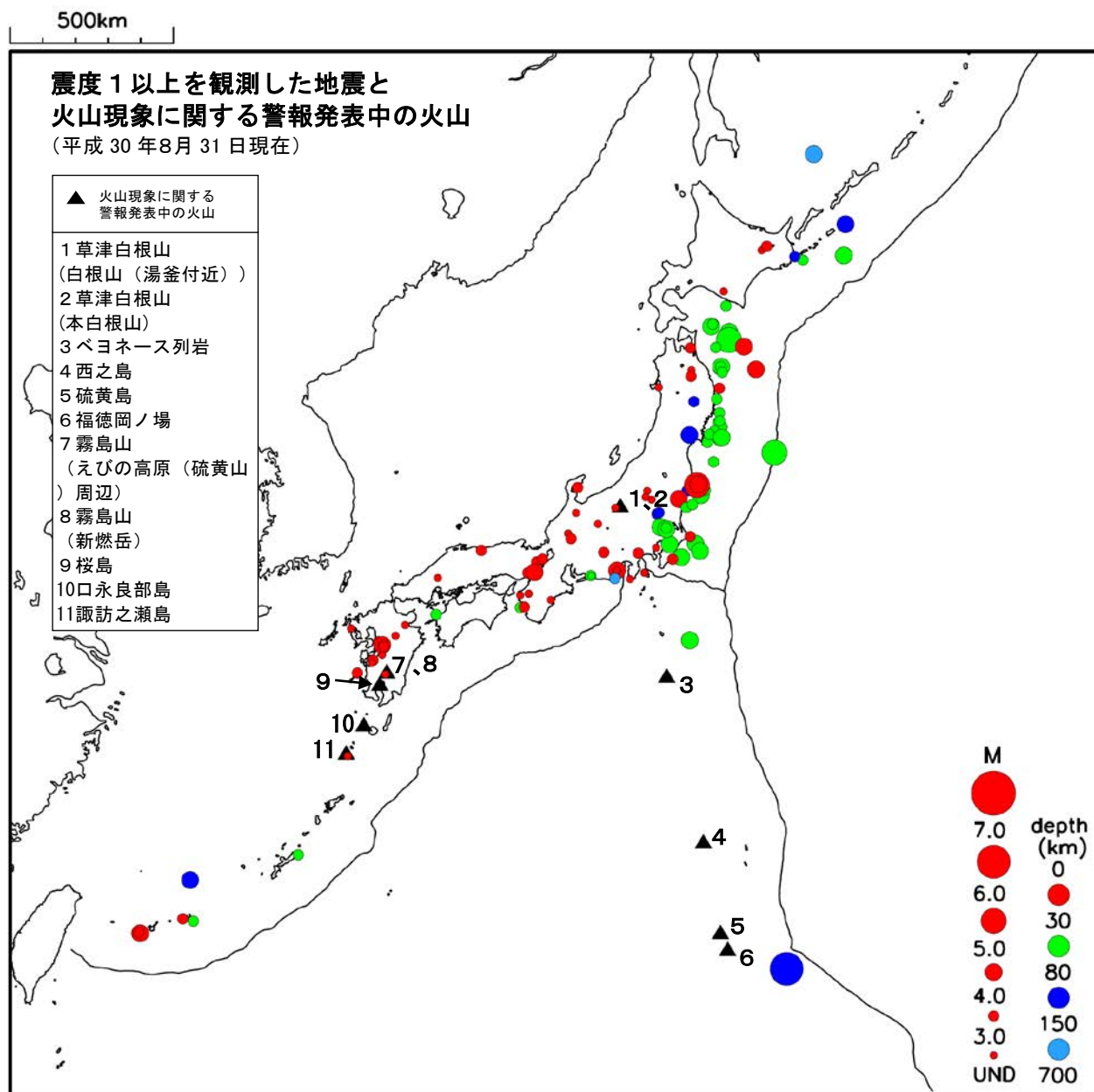


平成 30 年 8 月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

August 2018



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 平成30年8月31日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、8政令指定都市。

注**平成30年8月31日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

□本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

・発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸）

T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

・Global CMT解について

Global CMT解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）」で用いる震央地名を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイド（破壊の重心）の深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

・本書で使用了地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 29 情使、第 798 号）。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	5
東北地方の地震活動	6
関東・中部地方の地震活動	10
近畿・中国・四国地方の地震活動	11
九州地方の地震活動	12
沖縄地方の地震活動	14
その他の地域の地震活動	15
● 南海トラフ周辺の地殻活動	17
● 日本の主な火山活動	36
北海道地方の火山活動	49
東北地方の火山活動	51
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	53
近畿・中国・四国地方の火山活動	57
九州地方の火山活動	58
沖縄地方の火山活動	62
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	63
● 世界の主な地震	65
● 世界の主な火山活動	70
● 特集 2018 年 8 月 5 日のインドネシア、スンバワの地震	71
● 付録	73
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	73
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	91
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	92
4. 緊急地震速報の提供状況	93
5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震	94

●日本及びその周辺での主な地震活動

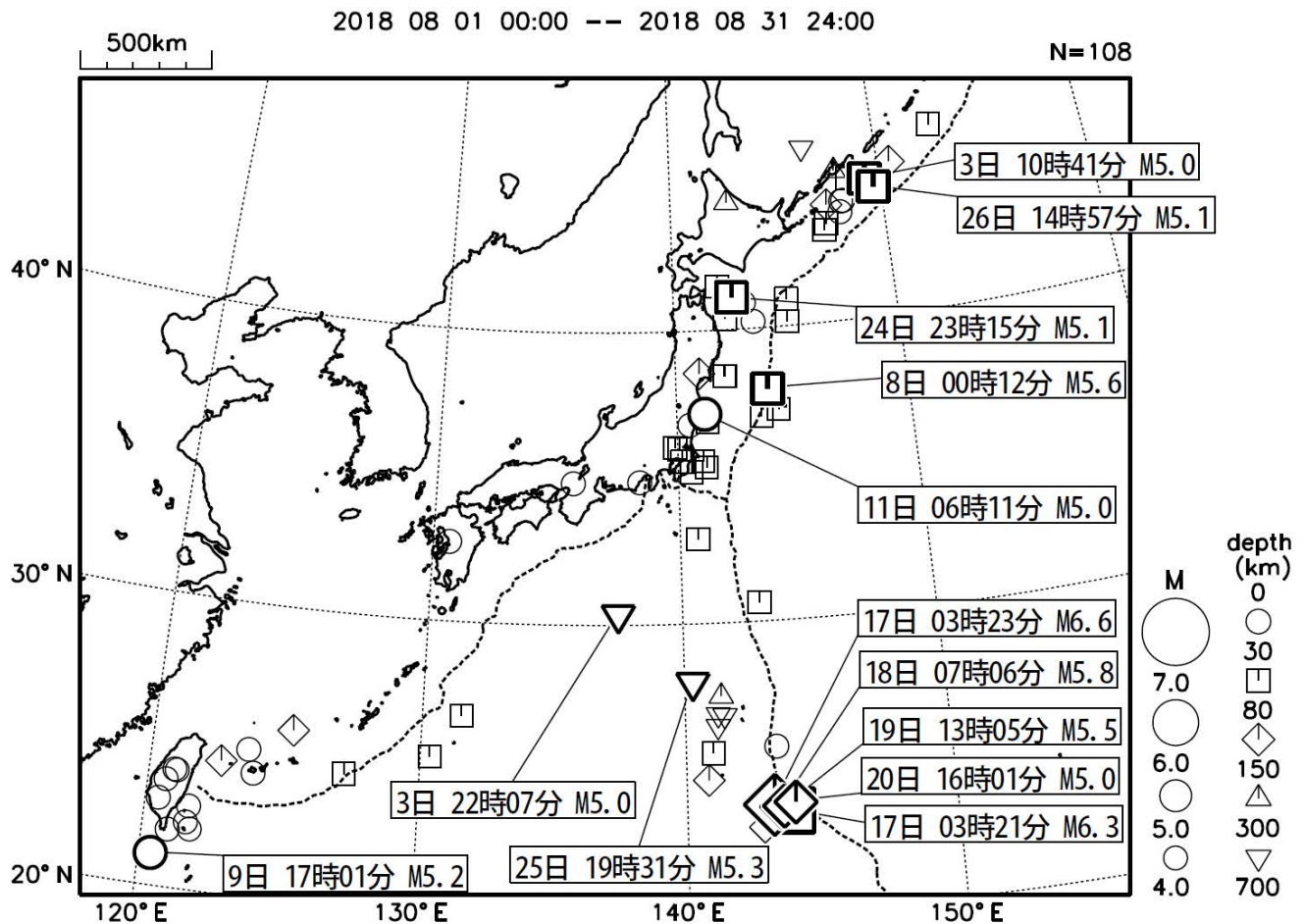


図1 平成30年8月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である)

特に目立った地震活動はなかった。

平成30年(2018年)8月に日本国内で震度4以上を観測した地震の回数は2回(7月は6回)、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は108回(7月は88回)であった(図1)。8月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。8月中に震度5弱以上を観測した地震も津波を観測した地震もなかった(7月は震度5弱以上を観測した地震が1回、津波を観測した地震はなかった)。

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

表 1 平成 30 年 8 月に日本及びその周辺で発生した主な地震 (注 1) (注 2) (注 3)

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M _w (注 4)	M H S T (注 5)	最大震度・被害状況等 (注 6)	掲載 ページ
1	8 8 0 12	三陸沖	5.6	5.6	・ ・ ・ ・	3 : 宮城県 石巻市桃生町 *	7
2	8 11 6 11	福島県沖	5.0	4.9	・ ・ S ・	4 : 福島県 檜葉町北田 *	4、8
3	8 17 3 21	硫黄島近海	6.3	—	M ・ ・ ・		16
4	8 17 3 23	硫黄島近海	6.6	6.4	M ・ ・ ・	1 : 東京都 小笠原村母島	16
5	8 22 18 23	熊本県熊本地方	4.1	—	・ ・ S ・	4 : 熊本県 熊本西区春日	4、13
6	8 24 23 15	青森県東方沖	5.1	5.1	・ ・ ・ ・	3 : 青森県 八戸市南郷 * 七戸町森ノ上 * 五戸町古館 五戸町倉石中市 * 青森南部町苫米地 * 階上町道仏 * おいらせ町中下田 * 岩手県 盛岡市藪川 *	9

(注 1) 主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。

(注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

(注 3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。

(注 4) M_w欄の「—」はM_wが求められていないことを示す。

(注 5) M H S T の各項目について、M:M6.0 以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度 4 以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

(注 6) 最大震度の観測点名にある * 印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

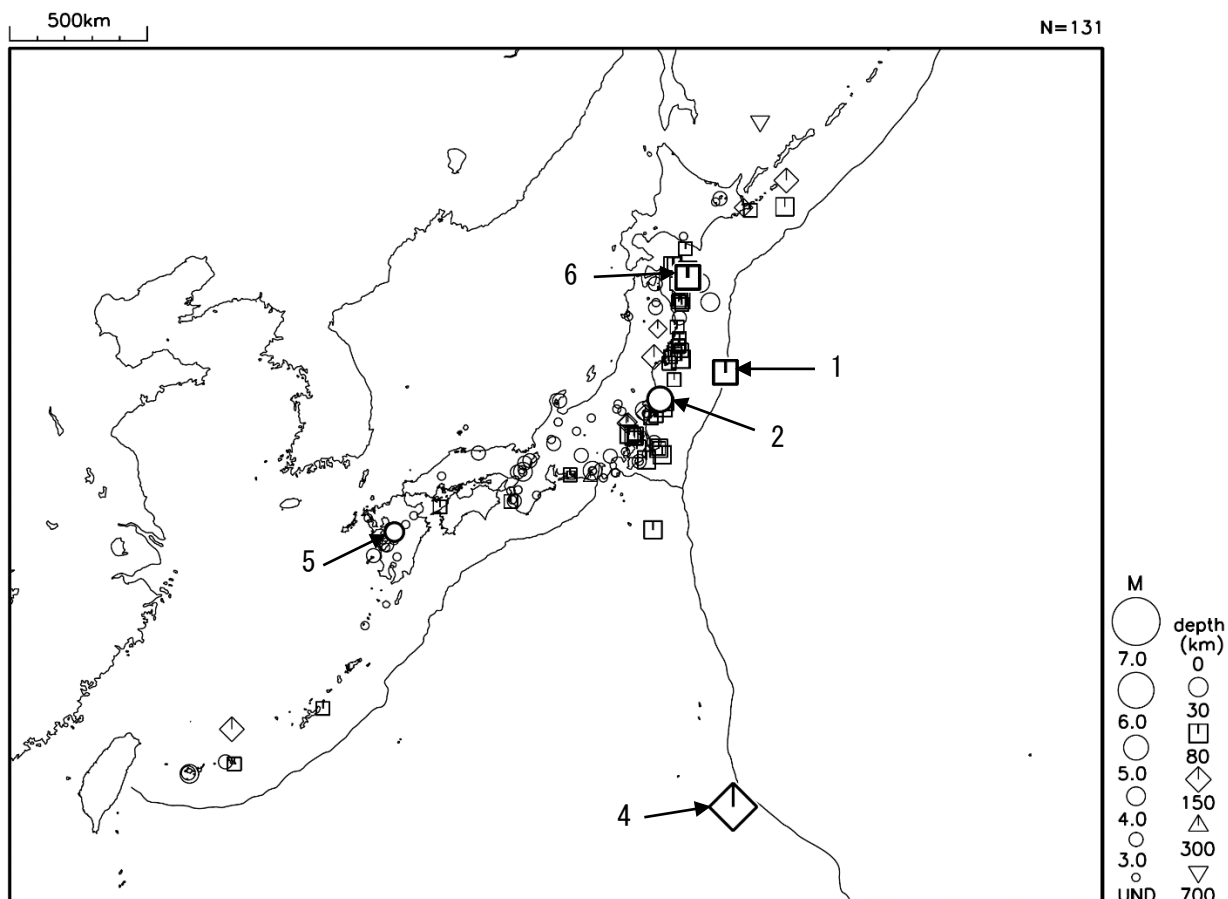


図2 平成30年8月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表1の番号に対応）

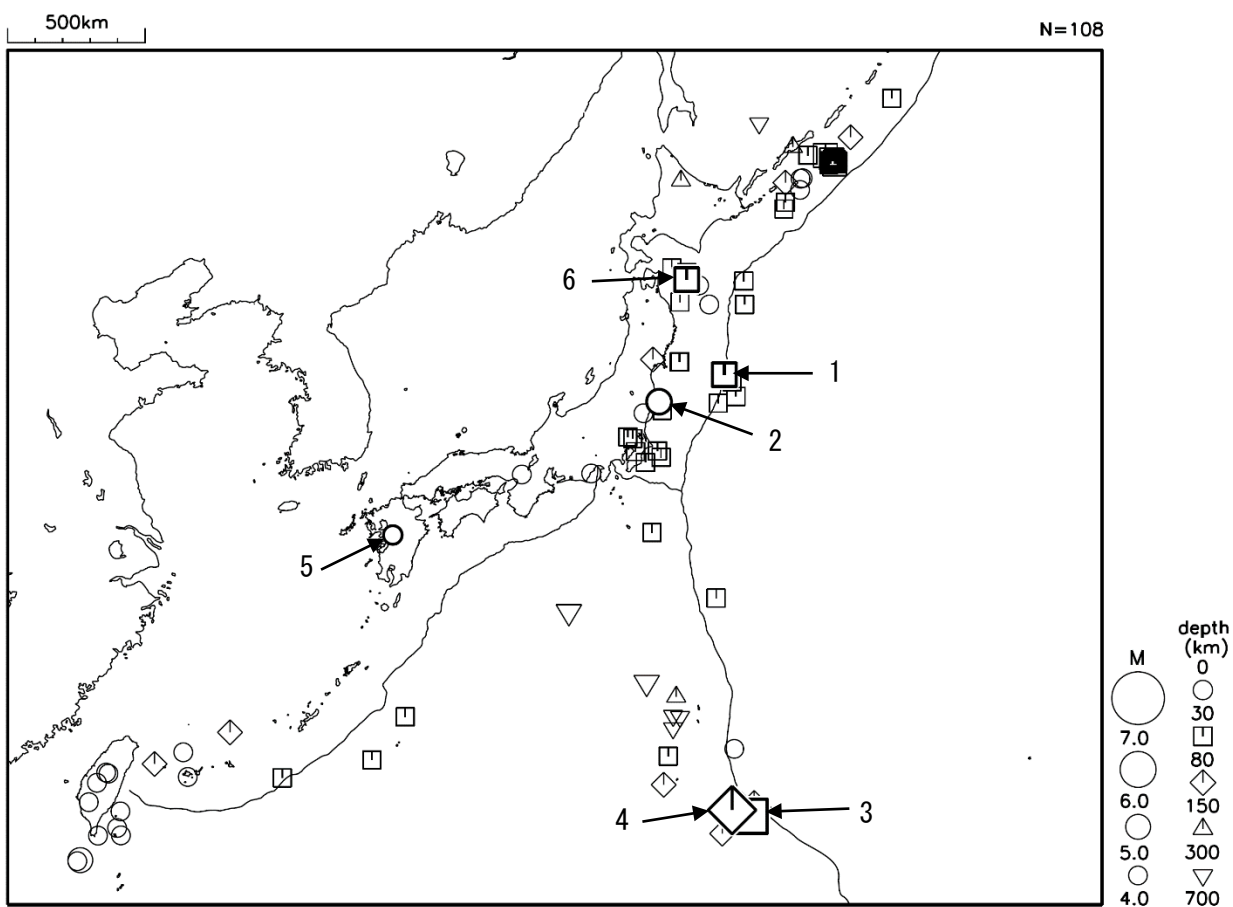
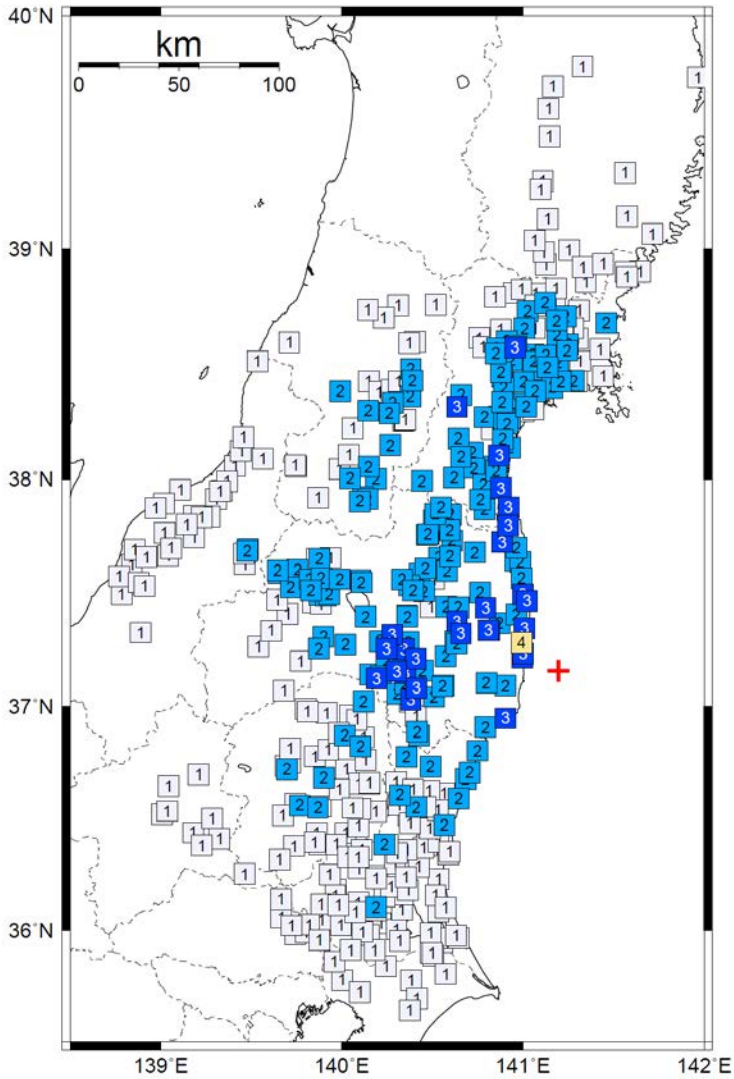


図3 平成30年8月に発生した M4.0以上の地震（図中の番号は、表1の番号に対応）

2 8月11日06時11分 福島県沖
(M5.0、深さ20km、最大震度4)



5 8月22日18時23分 熊本県熊本地方
(M4.1、深さ12km、最大震度4)

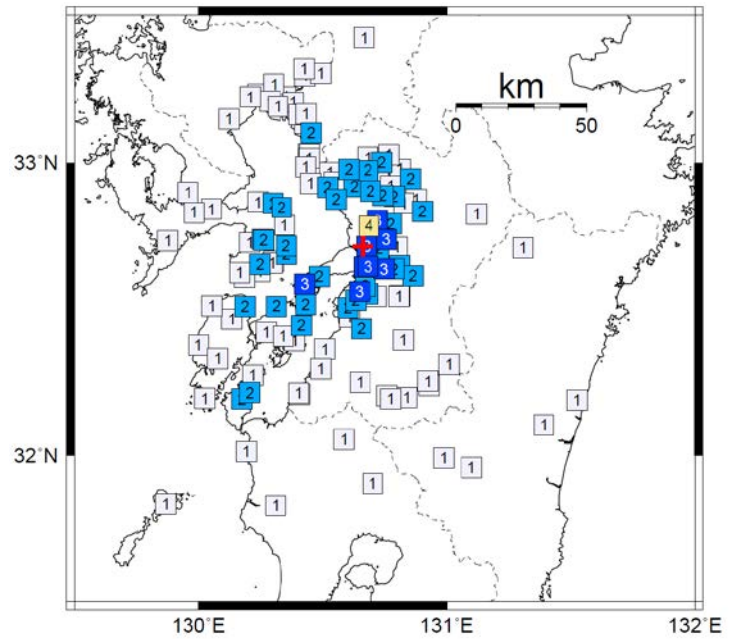


図4 震度分布図及び推計震度分布図
(各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。+印は震央を示す)

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース
(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

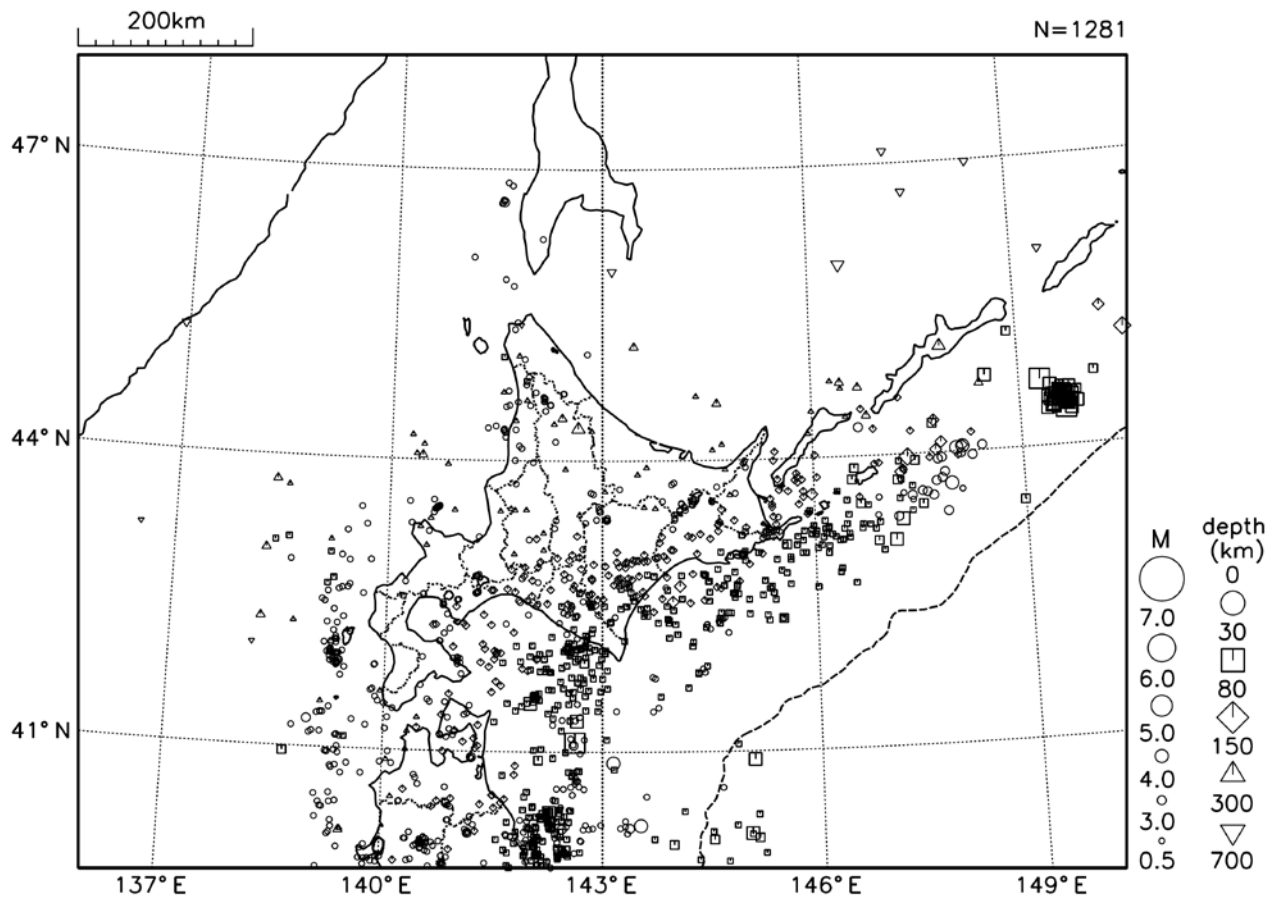


図5 北海道地方の震央分布図 (2018年8月1日～8月31日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

8月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は14回(7月は18回)であった。
8月中、特に目立った活動はなかった。

○東北地方の地震活動

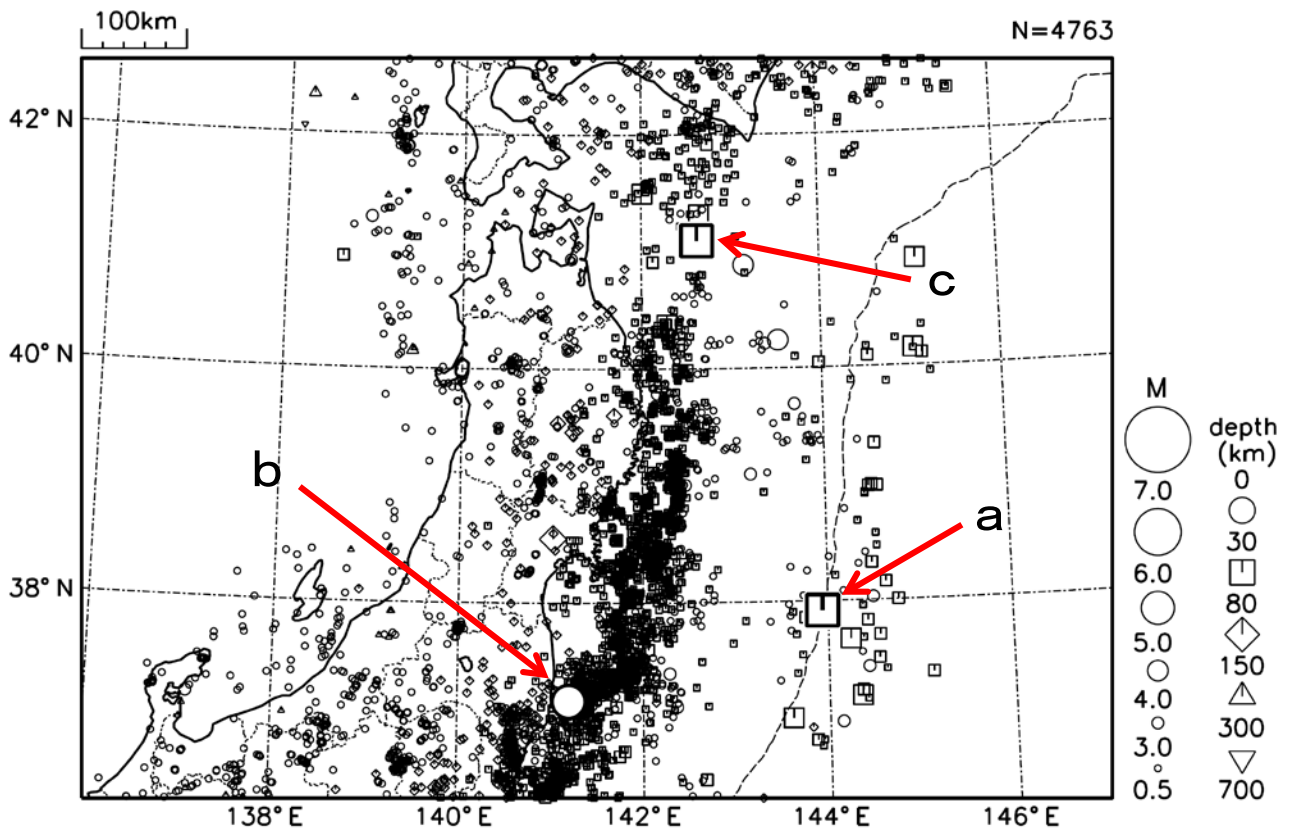


図6 東北地方の震央分布図 (2018年8月1日～8月31日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

8月に東北地方で震度1以上を観測した地震は43回(7月は40回)であった。
8月中の主な活動は次のとおりである。

8日00時12分に三陸沖の深さ29km(CMT解による)でM5.6の地震(図6中のa)が発生し、宮城県石巻市で震度3を観測したほか、北海道から関東地方にかけて、震度2～1を観測した。(p7参照)。

11日06時11分に福島県沖の深さ20kmでM5.0の地震(図6中のb)が発生し、福島県檜葉町で震度4を観測したほか、東北地方から関東地方及び新潟県にかけて、震度3～1を観測した。(p4、8参照)。

24日23時15分に青森県東方沖の深さ32kmでM5.1の地震(図6中のc)が発生し、青森県と岩手県で震度3を観測したほか、北海道から東北地方にかけて、震度2～1を観測した。(p9参照)。

8月8日 三陸沖の地震

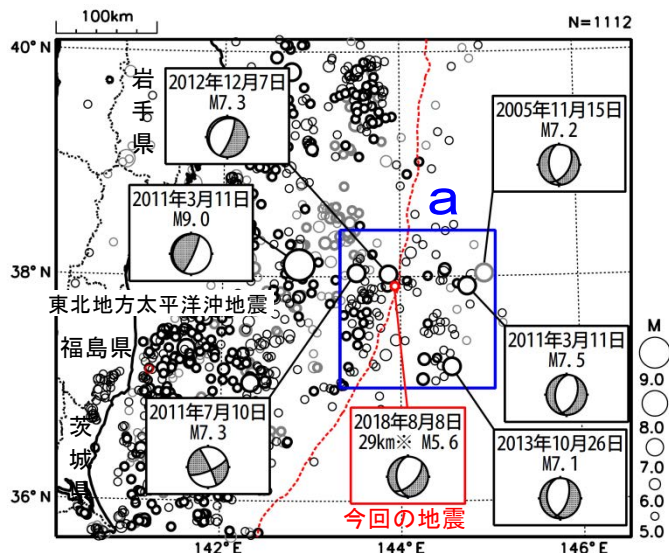
震央分布図

(1997年10月1日～2018年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を薄い○、
2011年3月11日以降に発生した地震を濃い○、

2018年8月の地震を○で表示

図中の発震機構はCMT解



※2018年8月8日の地震（M5.6）の深さはCMT解による。

2018年8月8日00時12分に三陸沖の深さ29km（CMT解による）でM5.6の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に張力軸を持つ正断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0を超える地震が時々発生しており、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、東北地方太平洋沖地震）の発生以降、M7.0を超える地震が4回発生するなど地震活動が活発化している。2012年12月7日にはM7.3の地震（最大震度5弱）が発生し、この地震により宮城県の石巻市鮎川で98cmなど、東北地方の太平洋沿岸で津波を観測した。

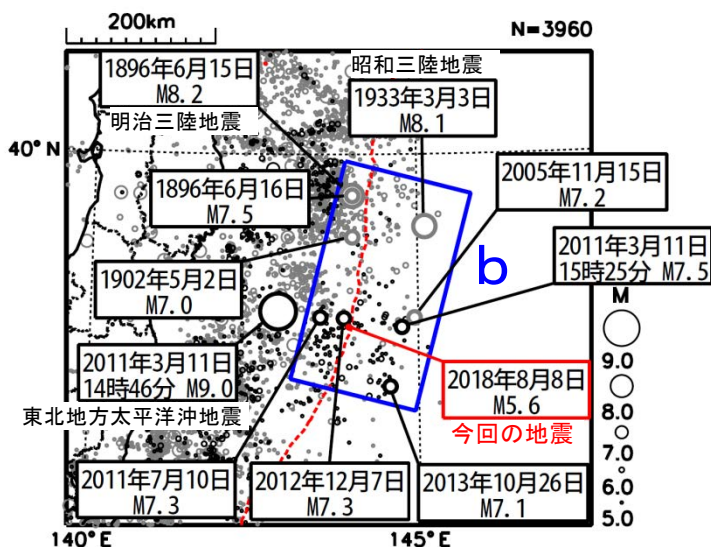
1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M8.0を超える地震が2回発生しており、1896年6月15日に発生した明治三陸地震（M8.2）により、岩手県三陸町綾里で38.2m（遡上高）の津波が観測され、死者26,360人、負傷者4,398人など甚大な被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図

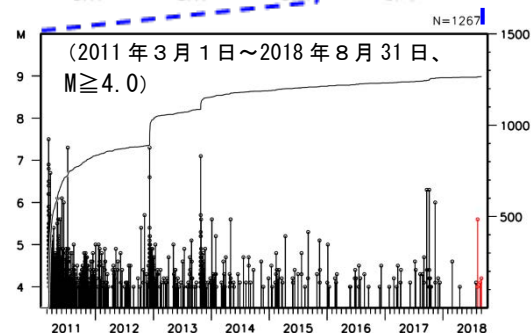
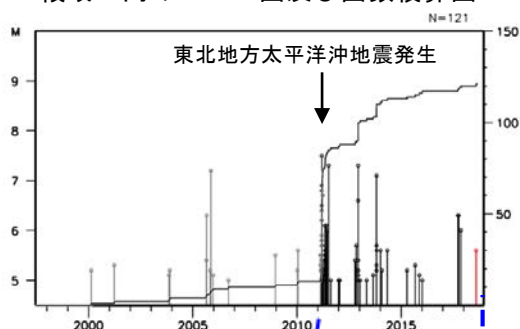
(1885年1月1日～2018年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を薄い○、
2011年3月11日以降に発生した地震を濃い○、

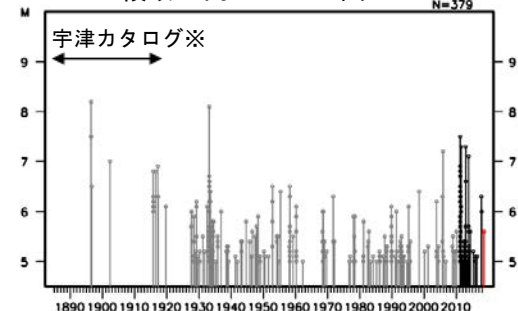
2018年8月の地震を○で表示



領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図



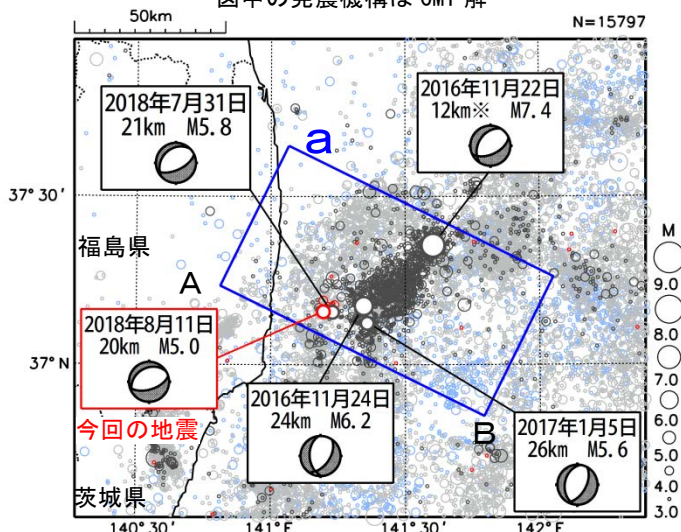
※震源要素は、1885～1922年は茅野・宇津（2001）、
宇津（1982, 1985）による

8月11日 福島県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2018年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を○、
2011年3月11日以降に発生した地震を薄い○、
2016年11月22日以降に発生した地震を濃い○、
2018年8月に発生した地震を●で表示
図中の発震機構はCMT解



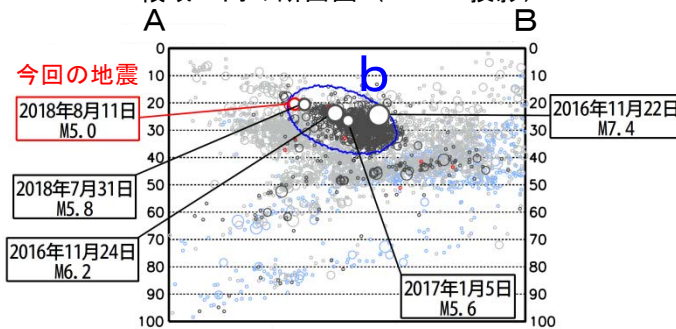
※2016年11月22日の地震 (M7.4) の深さはCMT解による。

2018年8月11日06時11分に福島県沖の深さ20kmでM5.0の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構 (CMT解) は北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型である。

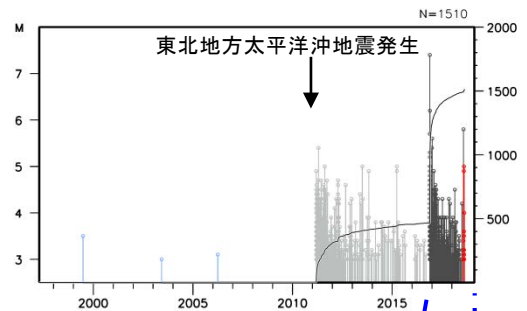
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動が活発化した。地震活動が減衰傾向にあった中で、2016年11月22日にM7.4の地震が発生し、地震活動が再び活発となった。最近では、2018年7月31日にM5.8の地震 (最大震度4) がほぼ同じ場所で発生している。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1938年11月5日にM7.5の地震が発生した。この地震により、宮城県花巻で113cm (全振幅) の津波が観測された。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年11月30日までにM6.0以上の地震が25回発生していた。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた (『日本被害地震総覧』による)。

領域a内の断面図 (A-B投影)



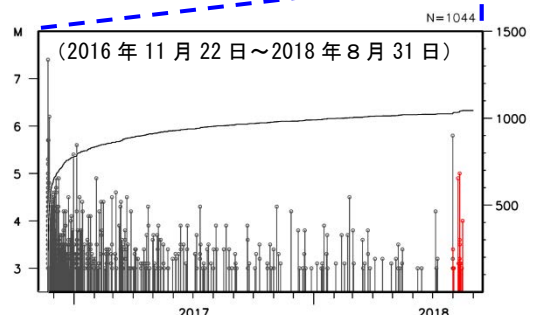
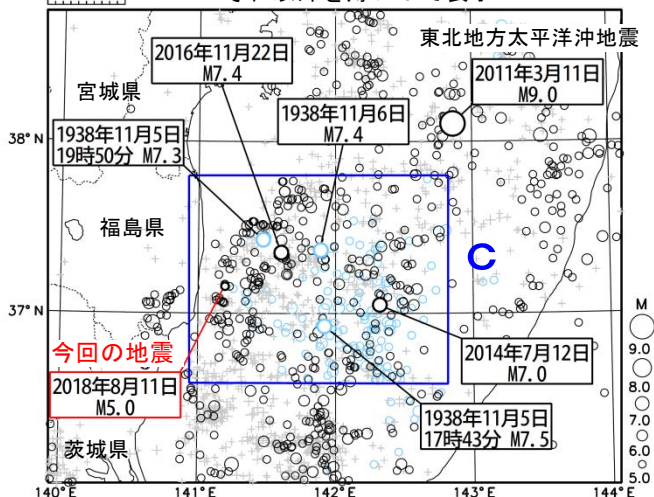
領域b内のM-T図及び回数積算図



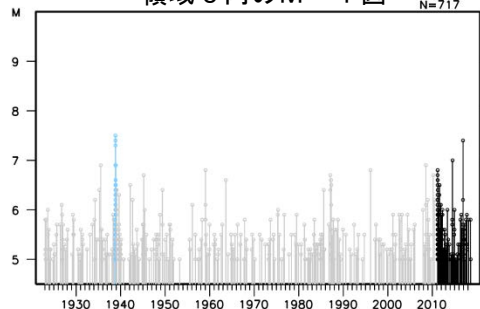
震央分布図

(1923年1月1日～2018年8月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

1938年11月1日～12月31日に発生した地震を○、
2011年3月11日以降に発生した地震を濃い○、
それ以外を薄い+で表示



領域c内のM-T図



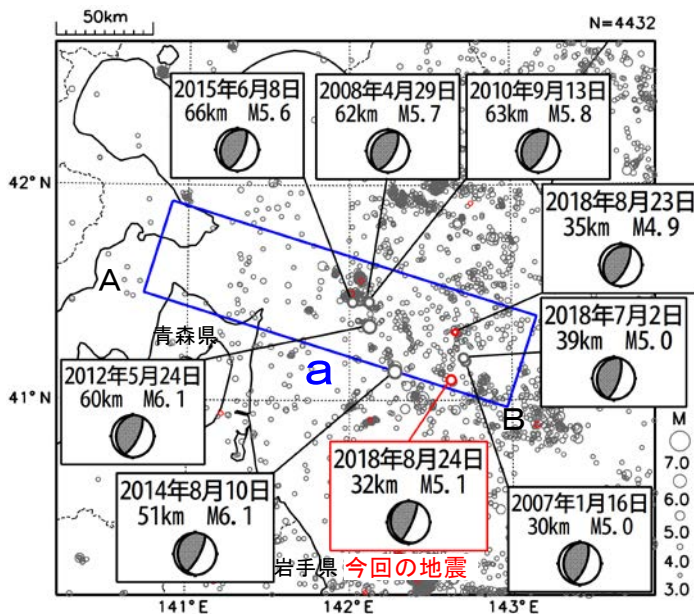
8月24日 青森県東方沖の地震

震央分布図

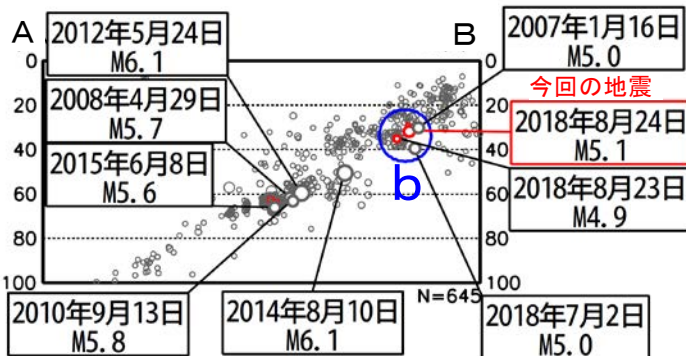
(1997年10月1日～2018年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2018年8月に発生した地震を○で表示

図中の発震機構はCMT解

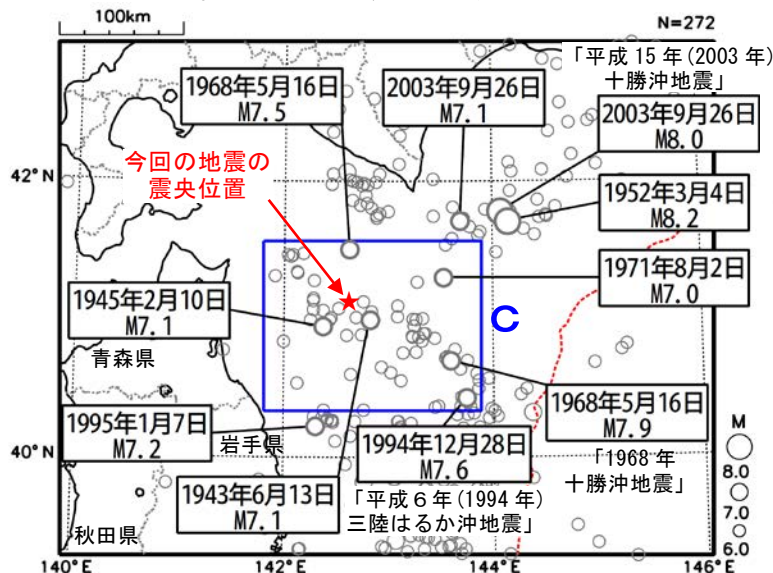


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2018年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

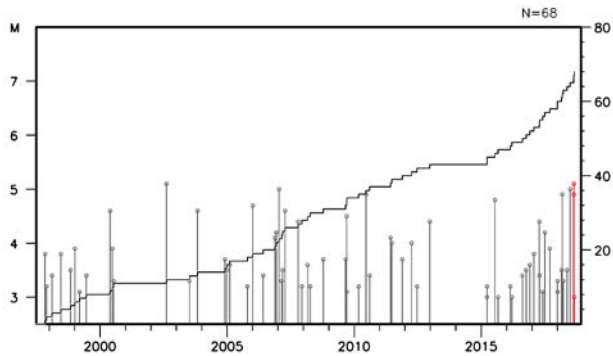


2018年8月24日23時15分に青森県東方沖の深さ32kmでM5.1の地震(最大震度3)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

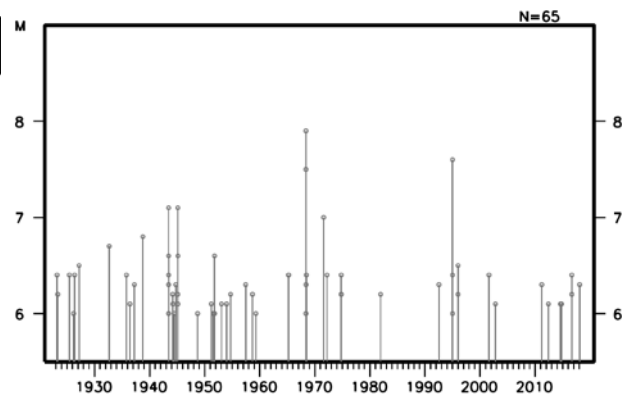
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2007年1月16日にM5.0(最大震度2)の地震が発生するなど、M4.0以上の地震が時々発生している。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、「1968年十勝沖地震」(M7.9、最大震度5)により、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟等の被害が生じる(被害は「日本被害地震総覧」による)など、M7.0以上の地震が6回発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



○関東・中部地方の地震活動

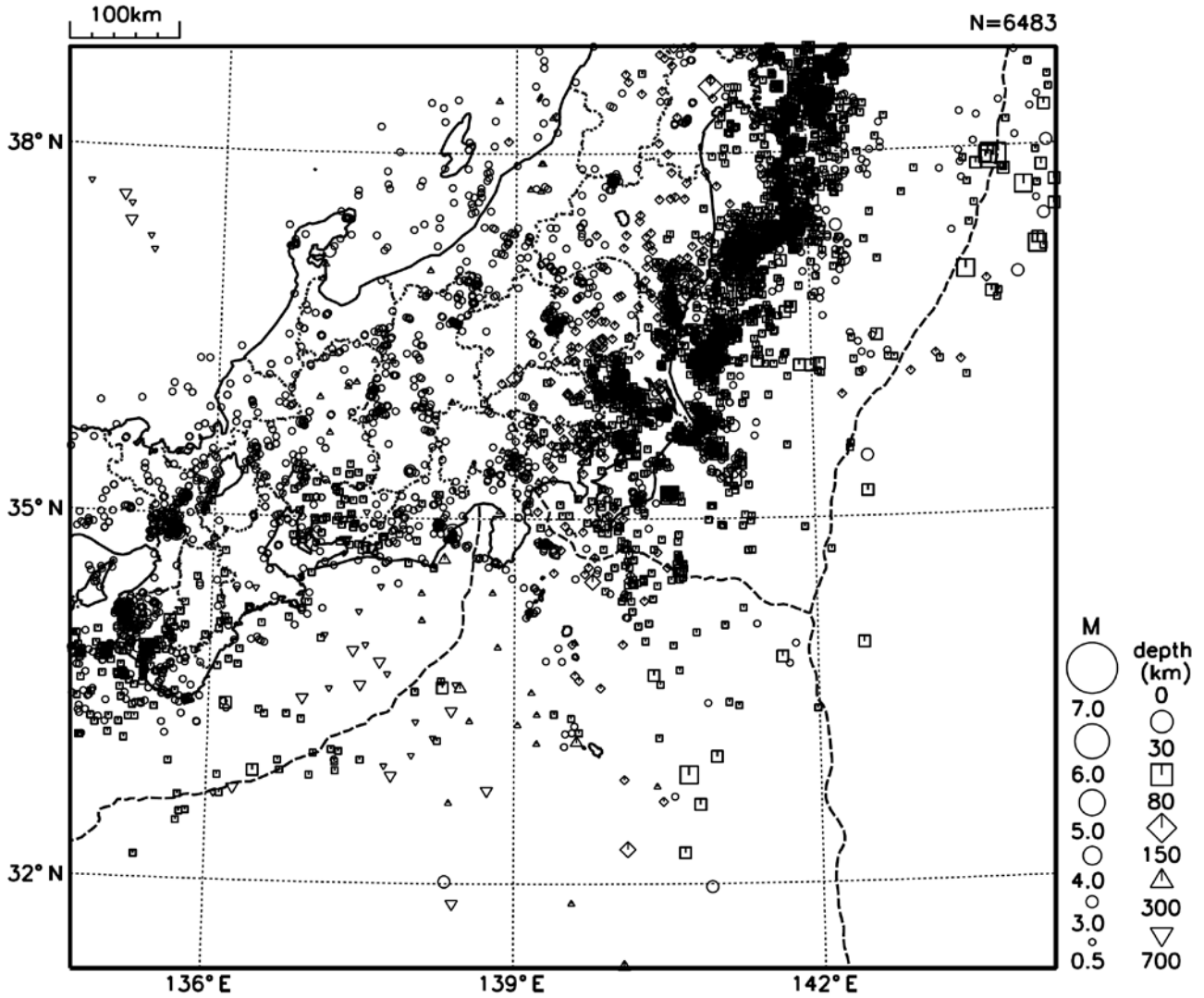


図7 関東・中部地方の震央分布図 (2018年8月1日～8月31日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

8月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は49回（7月は62回）であった。8月中、特に目立った活動はなかった。

○近畿・中国・四国地方の地震活動

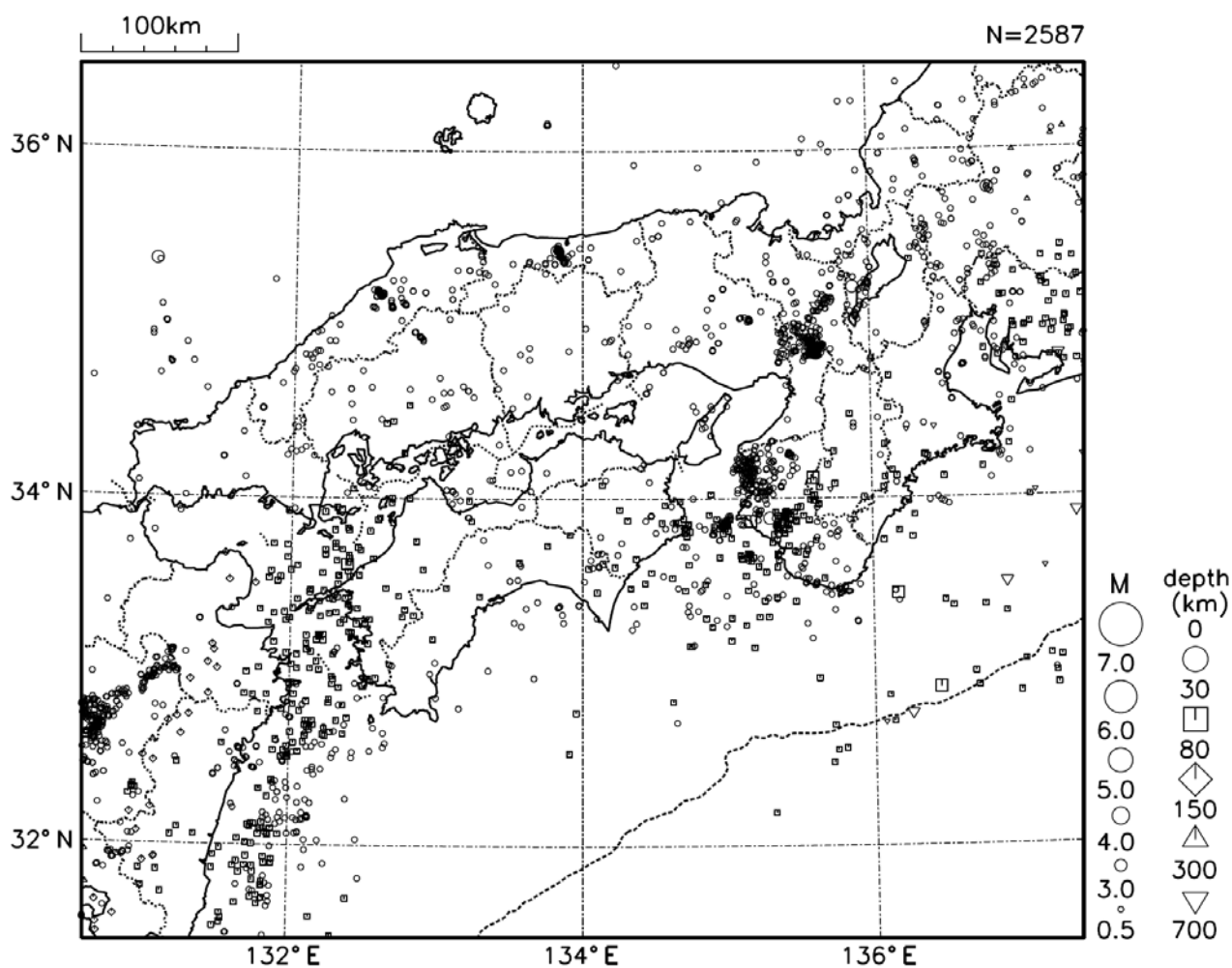


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図 (2018年8月1日～8月31日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

8月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は15回（7月は32回）であった。
8月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

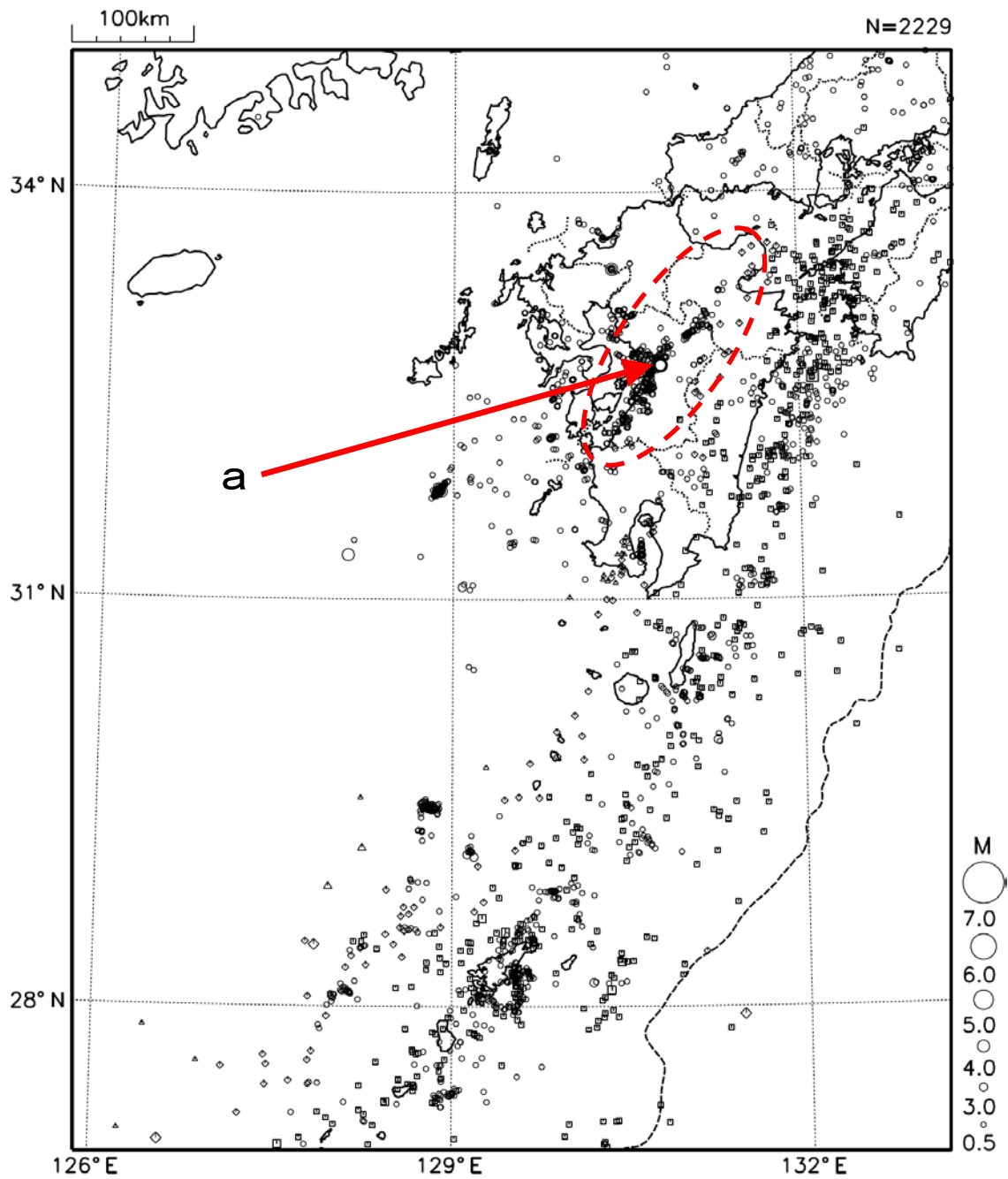


図9 九州地方の震央分布図 (2018年8月1日～8月31日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

8月に九州地方で震度1以上を観測した地震は18回（7月は23回）であった。
8月中の主な活動は次のとおりである。

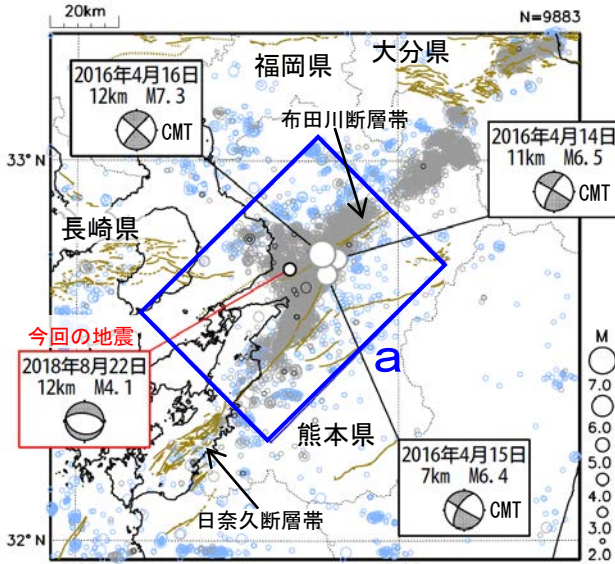
22日18時23分に熊本県熊本地方の深さ12kmでM4.1の地震（図9中のa）が発生し、熊本県熊本市で震度4を観測したほか、九州地方で震度3～1を観測した。この地震は、「平成28年（2016年）熊本地震」の活動域（図9中の破線）内で発生した（p4、13参照）。

8月22日 熊本県熊本地方の地震

震央分布図

(2000年10月1日～2018年8月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)

2016年4月14日21時以前に発生した地震を○、
2016年4月14日21時以降に発生した地震を薄い○、
2018年8月に発生した地震を濃い○で表示

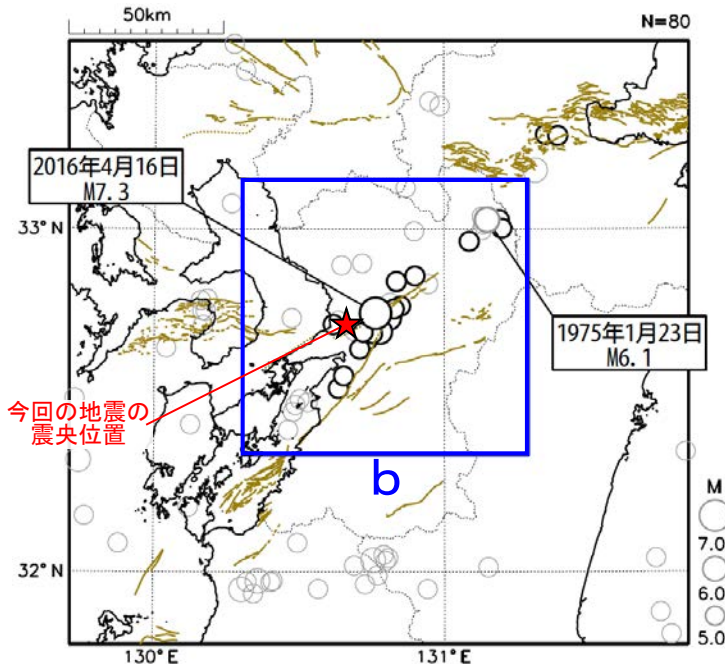


図中の細線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す

震央分布図

(1923年1月1日～2018年8月31日、
深さ0～40km、 $M \geq 5.0$)

2016年4月14日21時以前に発生した地震を薄い○、
2016年4月14日21時以降に発生した地震を濃い○で表示



★は今回の地震の震央位置

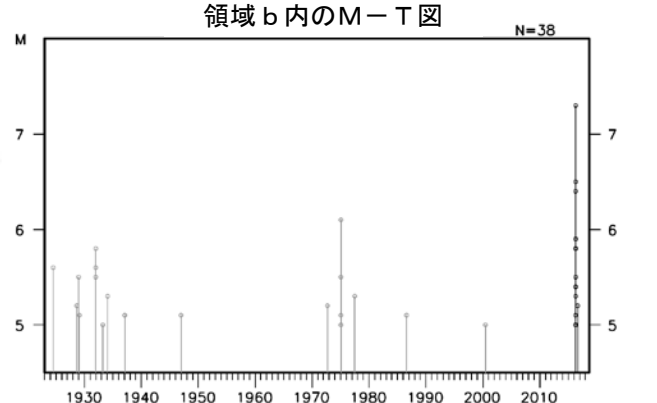
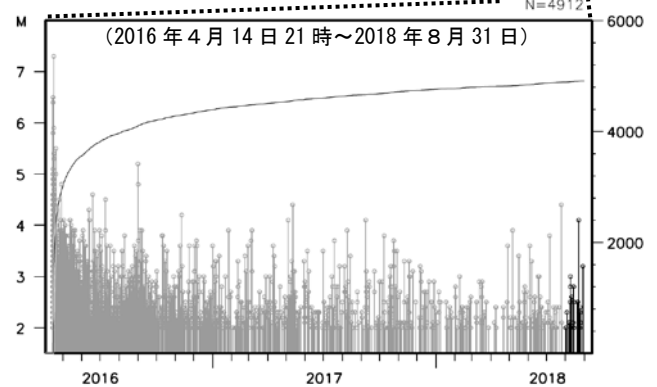
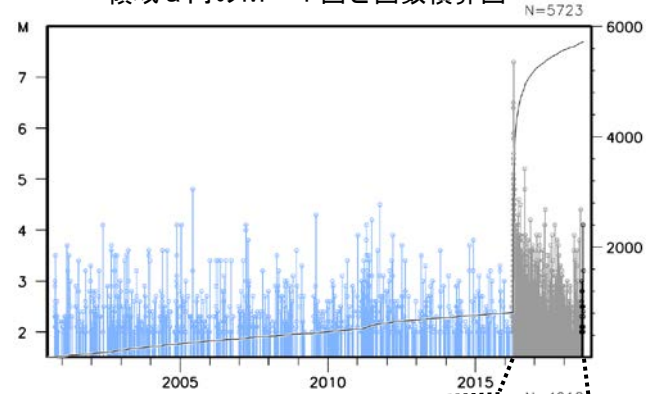
図中の細線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す

2018年8月22日18時23分に、熊本県熊本地方の深さ12kmでM4.1の地震（最大震度4）が発生した。この地震は「平成28年（2016年）熊本地震」の活動域内で発生した地殻内の地震である。発震機構は南北方向に張力軸を持つ正断層型である。

「平成28年（2016年）熊本地震」の一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも継続している。この活動により死者269人などの被害が生じた（2018年8月14日現在、総務省消防庁による）。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生している。1975年1月には、熊本県阿蘇地方で地震活動が活発となり、同月22日から25日にかけてM5.0以上の地震が4回発生し、負傷者10人などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域a内のM-T図と回数積算図



○沖縄地方の地震活動

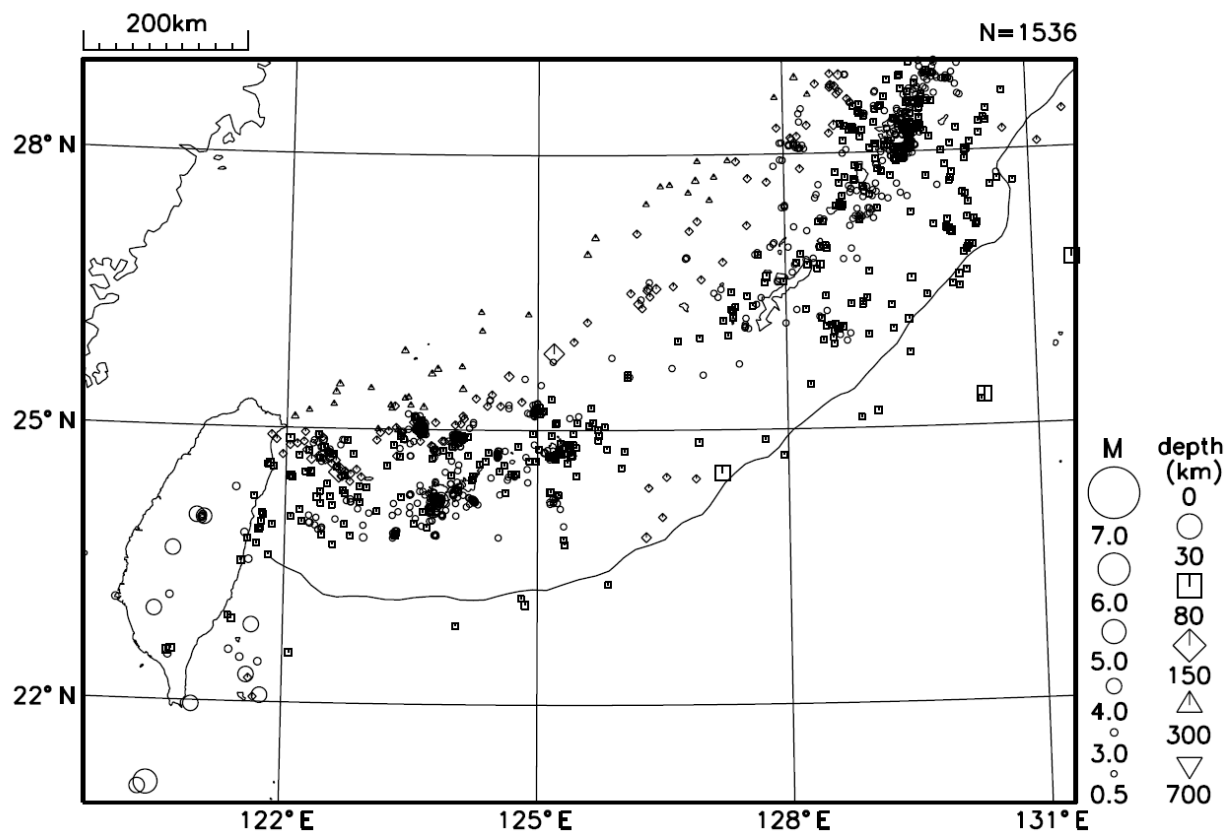


図 10 沖縄地方の震央分布図 (2018 年 8 月 1 日～8 月 31 日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

8 月に沖縄地方で震度 1 以上を観測した地震は 6 回 (7 月は 7 回) であった。
8 月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

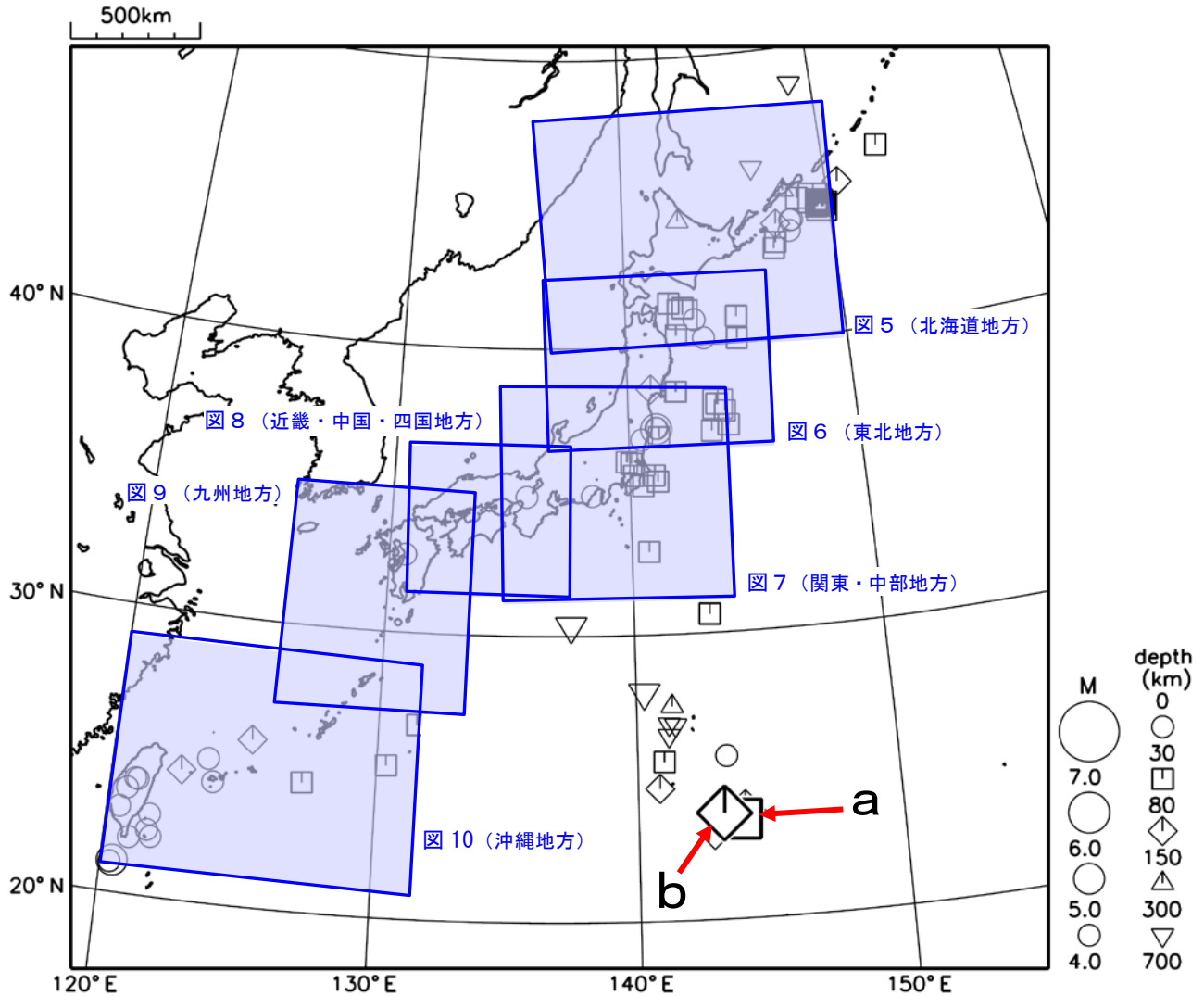


図 11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図 (2018 年 8 月 1 日～8 月 31 日、 $M \geq 4.0$)

[概況]

8 月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震は 2 回であった (7 月は 1 回)。

8 月中、図 5～10 の領域外で発生した主な地震活動は次のとおりである。

17 日 03 時 21 分に硫黄島近海で $M6.3$ の地震 (震度 1 以上を観測した地点なし、図 11 中の a) が発生した。また、同日 03 時 23 分にも硫黄島近海の深さ 11km (CMT 解による) で $M6.6$ の地震 (図 11 中の b) が発生し、東京都小笠原村で震度 1 を観測した (p 16 参照)。

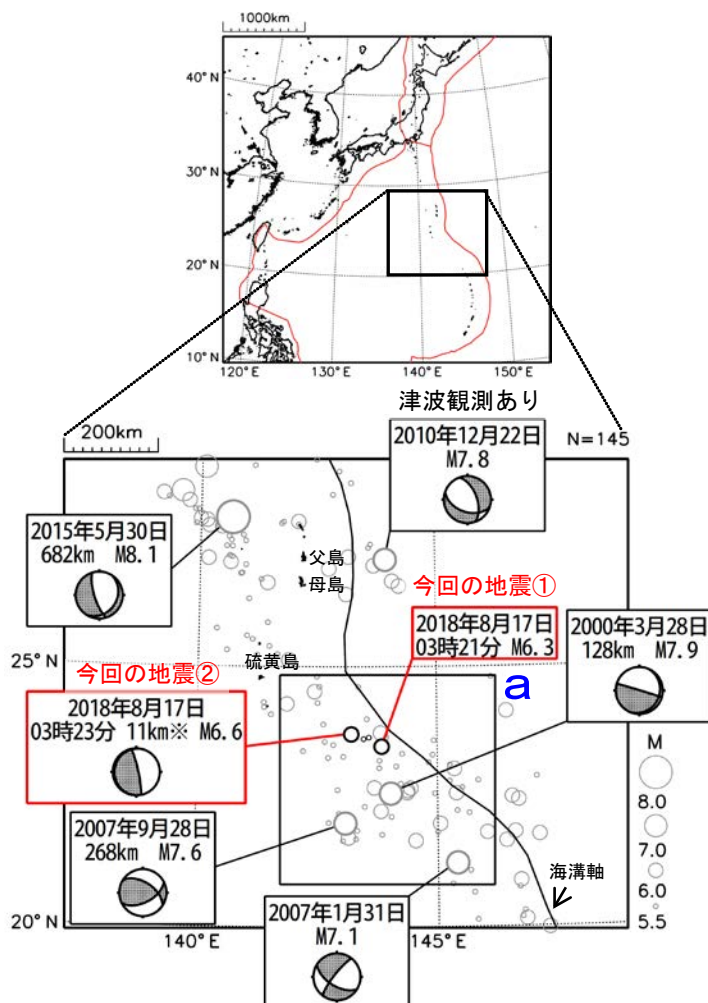
8月17日03時21分、03時23分 硫黄島近海の地震

震央分布図

(2000年1月1日～2018年8月31日、
深さ0～700km、 $M \geq 5.5$)

2018年8月の地震を濃く表示

図中の発震機構はCMT解

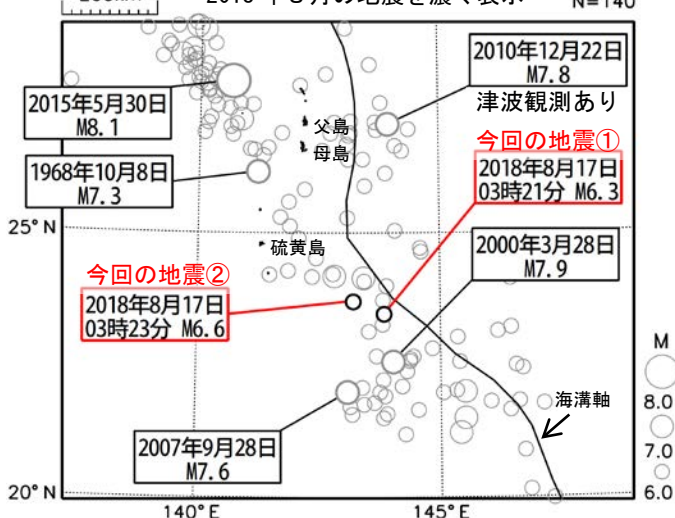


※2018年8月17日03時23分の地震 (M6.6) の深さはCMT解による。

震央分布図

(1923年1月1日～2018年8月31日、
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$)

2018年8月の地震を濃く表示



※本資料中のプレート境界の位置はBird (2003) *より引用。

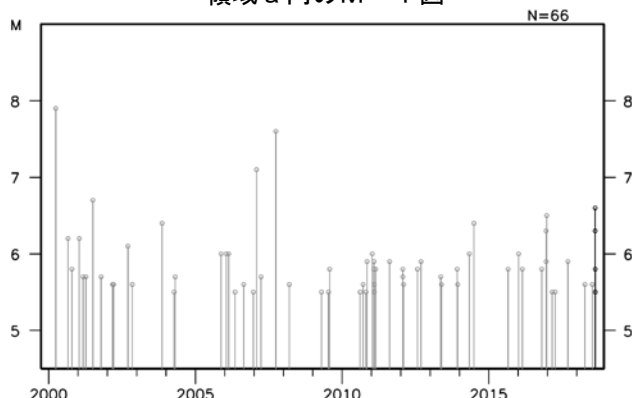
*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

2018年8月17日03時21分に硫黄島近海でM6.3の地震(震度1以上を観測した地点なし、今回の地震①)、同日03時23分に硫黄島近海の深さ11km(CMT解による)でM6.6の地震(最大震度1、今回の地震②)が発生した。今回の地震②は発震機構(CMT解)が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

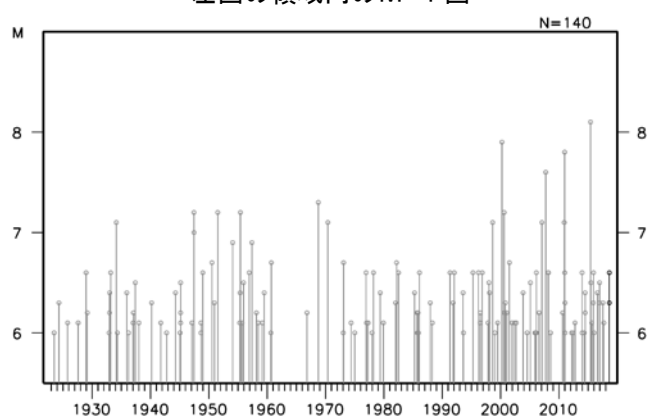
2000年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、2000年3月28日にM7.9の地震(最大震度3)が発生するなど、M7.0を超える地震が3回発生している。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、M7.0以上の地震が時々発生している。2010年12月22日には父島近海でM7.8の地震(最大震度4)が発生し、八丈島八重根で0.5mの津波など、東北地方から沖縄地方にかけて津波を観測した。

領域a内のM-T図



左図の領域内のM-T図



●南海トラフ周辺の地殻活動

平成30年9月7日に気象庁において第11回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第389回地震防災対策強化地域判定会(定例)を開催し、気象庁は「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震に関連する情報(定例)を発表した。これに関連する資料をp18～p35に掲載する。

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

1. 地震の観測状況

プレート境界付近を震源とする主な深部低周波地震(微動)を以下の領域で観測しました。

(1) 瀬戸内海中部から愛媛県東予、高知県中部：8月6日から13日まで

2. 地殻変動の観測状況

上記(1)の深部低周波地震(微動)とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。また、同地域及びその周辺の傾斜データでも、わずかな地殻変動を観測しました。

GNS S観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

2018年8月まで実施したGNS S-音響測距観測によると、紀伊水道沖の海底で2017年末頃からそれまでの傾向とは異なる地殻変動を観測しています。

3. 地殻活動の評価

上記(1)の深部低周波地震(微動)と、ひずみ及び傾斜データで観測した地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した「短期的ゆっくりすべり」に起因すると推定しています。

GNS S-音響測距観測で観測されている2017年末頃からの紀伊水道沖の地殻変動は、紀伊水道沖のプレート境界浅部におけるゆっくりすべりによる可能性があると考えられます。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは今のところ得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていないと考えられます。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震に関連する情報(定例)を発表している。

「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群(クラスタ：cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり(長期的スロースリップ)」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震(微動)」

深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり(短期的スロースリップ)」

「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震(微動)の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり(短期的スロースリップ)」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震(微動)活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注) 地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

平成 30 年 8 月 1 日～平成 30 年 9 月 7 日 09 時の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度 3 以上を観測した地震もしくは M3.5 以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
8/3	23:38	和歌山県南方沖	-	3.9	-	
8/10	21:18	駿河湾	22	4.4	3	フィリピン海プレート内部
8/14	20:51	静岡県西部	37	3.9	3	フィリピン海プレート内部

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
■香川県東部、香川県西部 8月2日～3日、8月5日～6日 8月10日 ■徳島県北部 (特段の活動はなかった) ■香川県西部、徳島県北部、愛媛県東予、高知県中部 8月8日、8月11日 8月13日～17日、8月20日 9月2日～5日 ■愛媛県東予、瀬戸内海中部、高知県中部 8月3日 <u>8月6日～13日</u>・・・・・・(1) 8月30日 ■愛媛県中予、愛媛県南予 8月18日 ■愛媛県南予、伊予灘 8月1日～2日、8月6日 8月8日～9日、8月11日～16日 8月19日、8月24日～25日 8月31日、9月4日～(継続中) ■愛媛県南予、豊後水道 8月13日～14日	■伊勢湾、三重県北部、三重県中部 ■三重県中部、三重県南部、奈良県 8月1日 8月19日～20日 ■三重県中部、三重県南部、奈良県 8月29日 ■奈良県 9月2日～3日 ■奈良県 ■和歌山県北部、和歌山県南部、紀伊水道 8月10日～11日 ■和歌山県北部、和歌山県南部、紀伊水道 8月5日～7日 8月14日～15日 8月20日 8月22日	■長野県南部 ■愛知県東部、愛知県西部 9月1日～3日 ■愛知県東部、愛知県西部 8月10日～14日 8月26日

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数 2 日以上または活動日数 1 日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

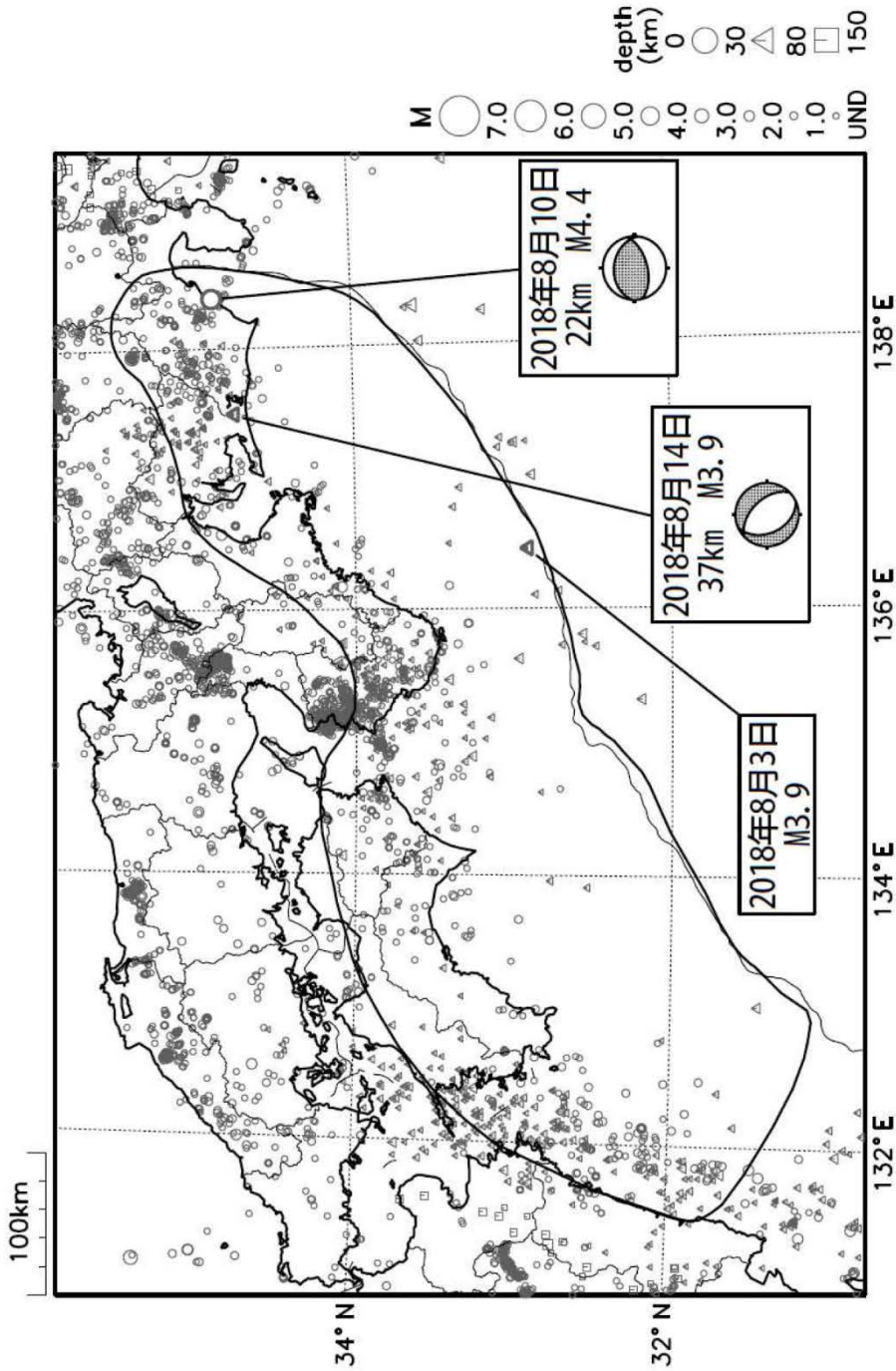
※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を **赤字** で示す。

※上の表中（1）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

※9月6日以降の震源要素は、今後の精査で変更する場合がある。

気象庁作成

南海トラフ沿いとその周辺の広域地震活動(2018年8月1日～2018年8月31日)

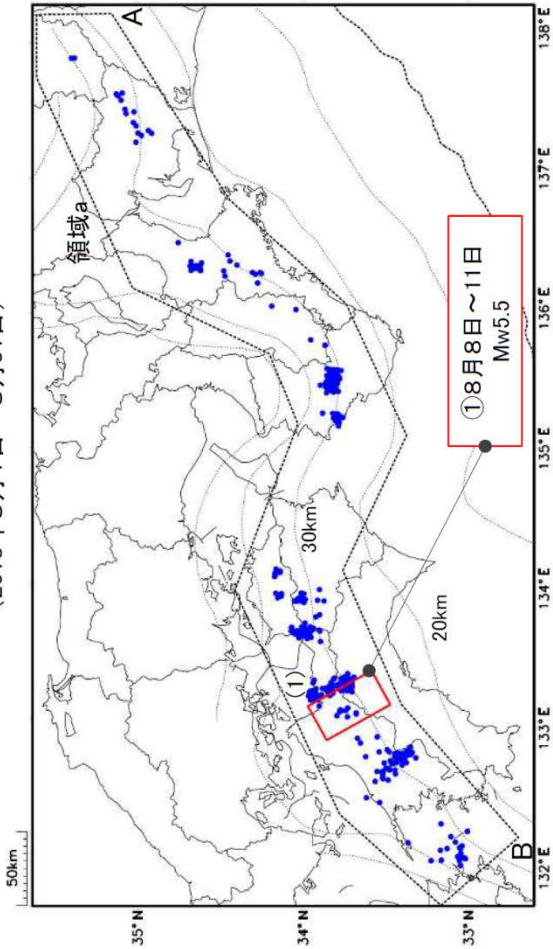


- ・図中の吹き出しは、南海トラフ巨大地震の想定震源域(領域a内)で最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震、それ以外(領域a内以外)の陸域M5.0以上・海域M6.0以上とその他の主な地震。
- ・震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。
- ・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

気象庁作成

深部低周波地震(微動)活動と短期的ゆっくりすべりの全体概要

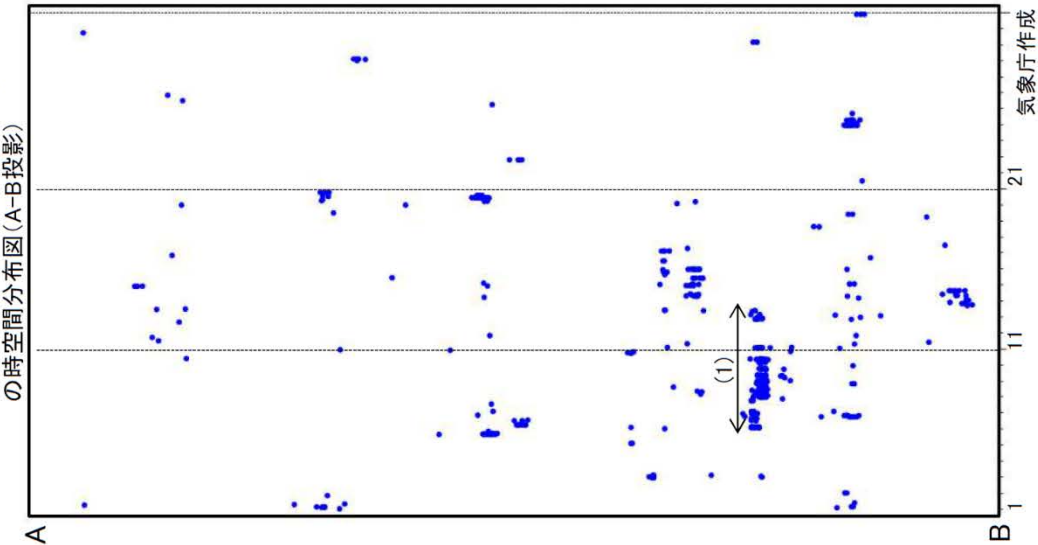
深部低周波地震(微動)の震央分布図と短期的ゆっくりすべりの断層モデル
(2018年8月1日～8月31日)



主な深部低周波地震(微動)活動と短期的ゆっくりすべり

深部低周波地震(微動)活動			地殻変動を観測した期間と短期的ゆっくりすべりの規模
番号	活動場所	活動の期間	
(1)	愛媛県東予、瀬戸内海中部、高知県中部	8月6日～13日	①8月8日～11日:Mw5.5

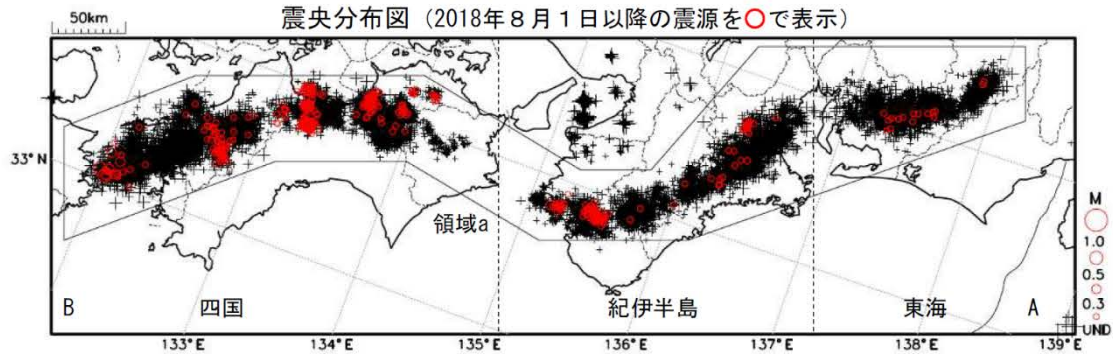
●: 深部低周波地震(微動)の震央(気象庁の解析結果を示す)
□: 短期的ゆっくりすべりの断層モデル(産業技術総合研究所の解析結果を示す)
点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さ(10kmごとの等深線)を示す。



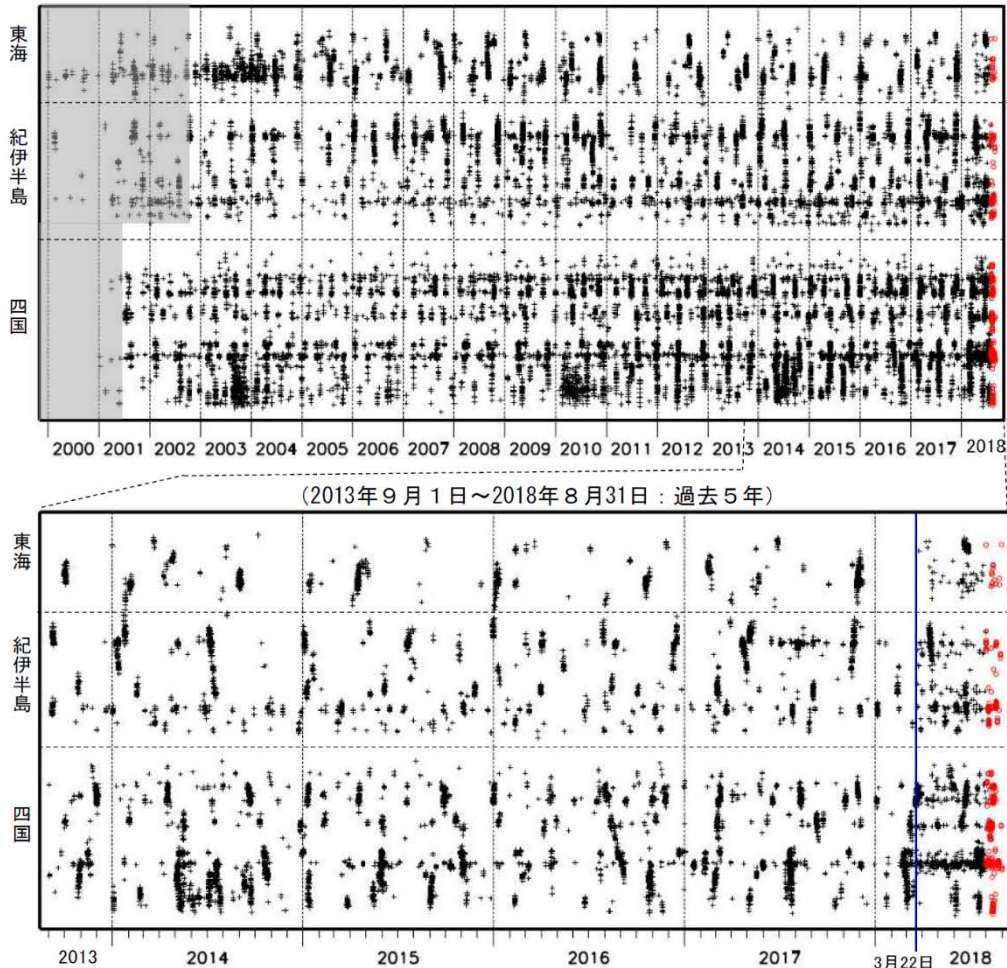
気象庁作成

深部低周波地震（微動）活動（2000年1月1日～2018年8月31日）

深部低周波地震（微動）は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。



上図領域a内の時空間分布図（A—B投影）
（2000年1月1日～2018年8月31日）



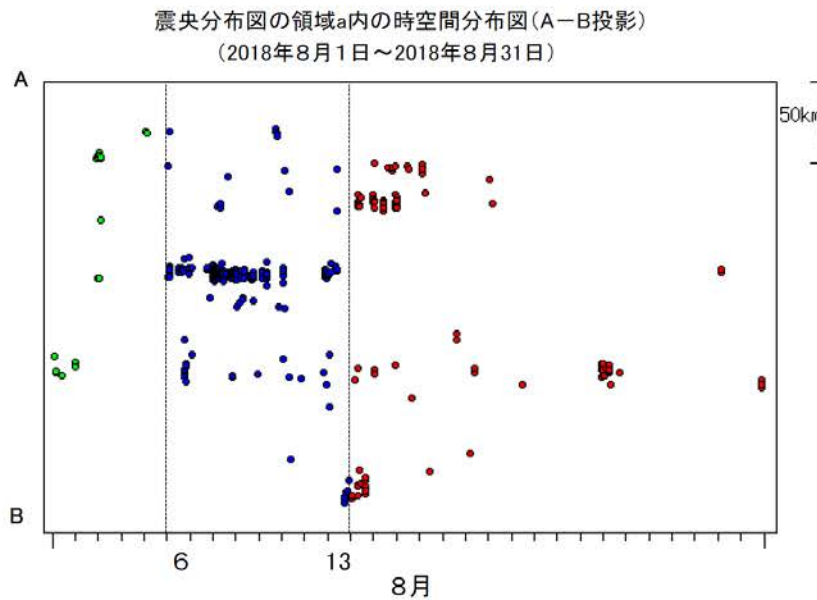
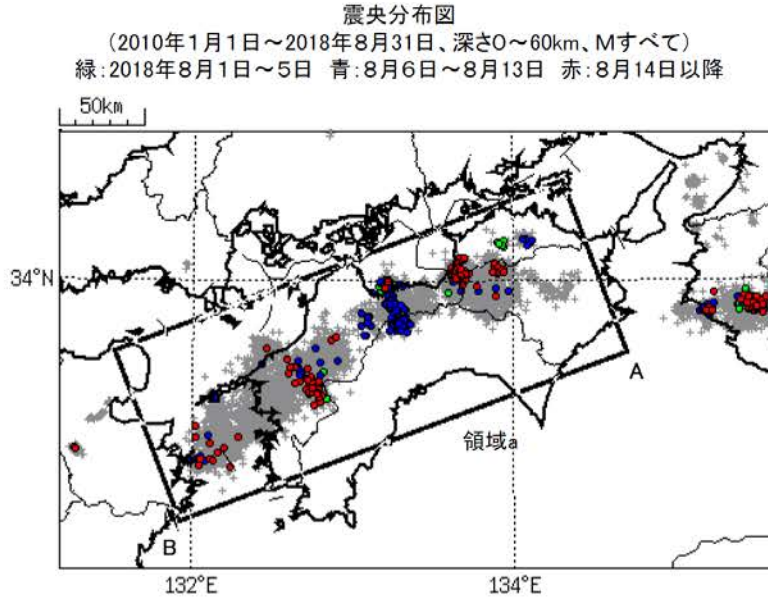
※2018年3月22日から、深部低周波地震（微動）の処理方法の変更（Matched Filter法の導入）により、それ以前と比較して検知能力が変わっている。

※時空間分布図中、灰色の期間は、それ以降と比較して十分な検知能力がなかったことを示す。

気象庁作成

徳島県から豊後水道の深部低周波地震(微動)活動

8月6日から13日にかけて、瀬戸内海中部から愛媛県東予、高知県中部にかけて深部低周波地震(微動)を観測した。



※2018年3月22日から、深部低周波地震(微動)の処理方法の変更(Matched Filter法の導入)により、それ以前と比較して検知能力が変わっている。

気象庁作成

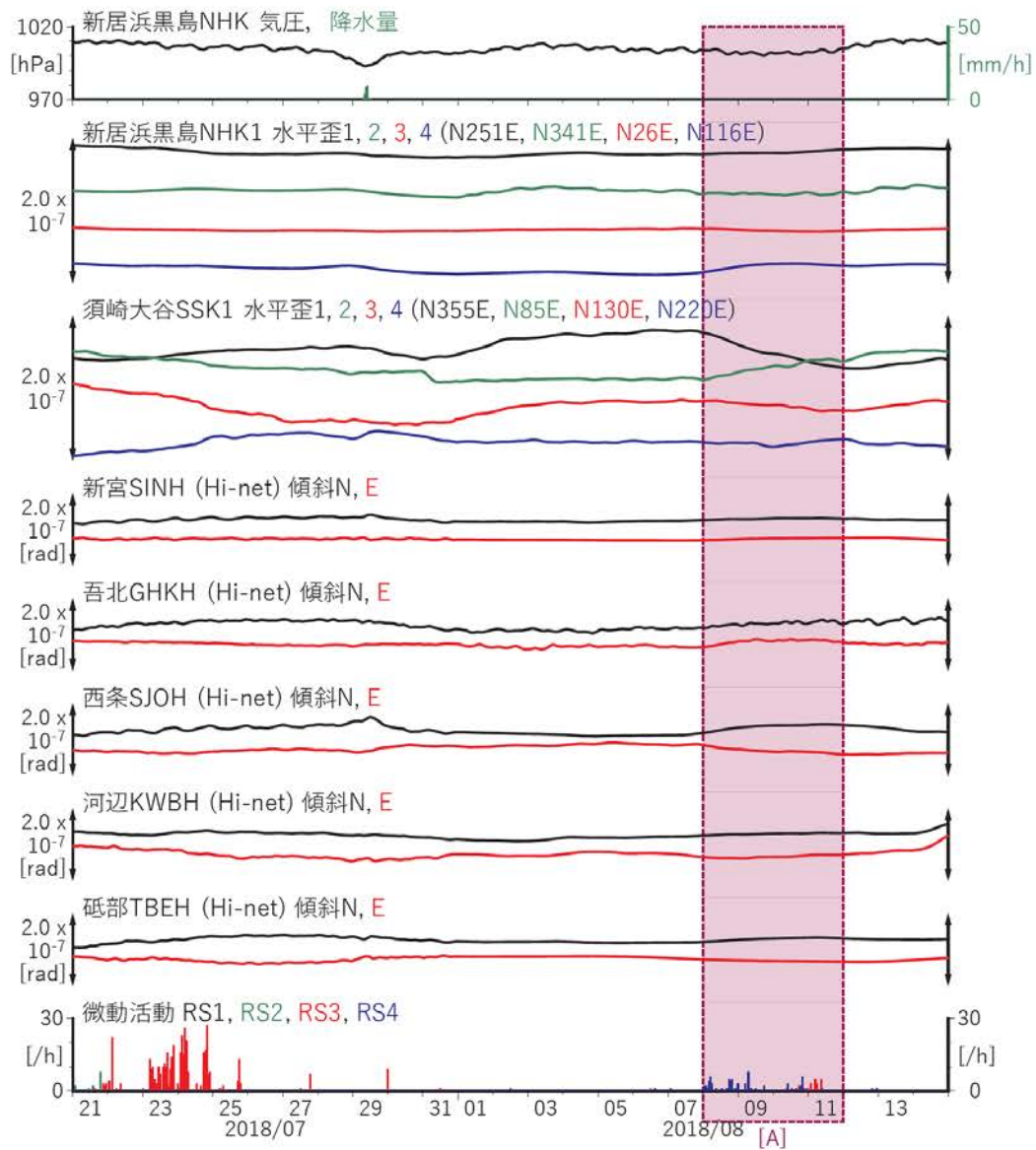
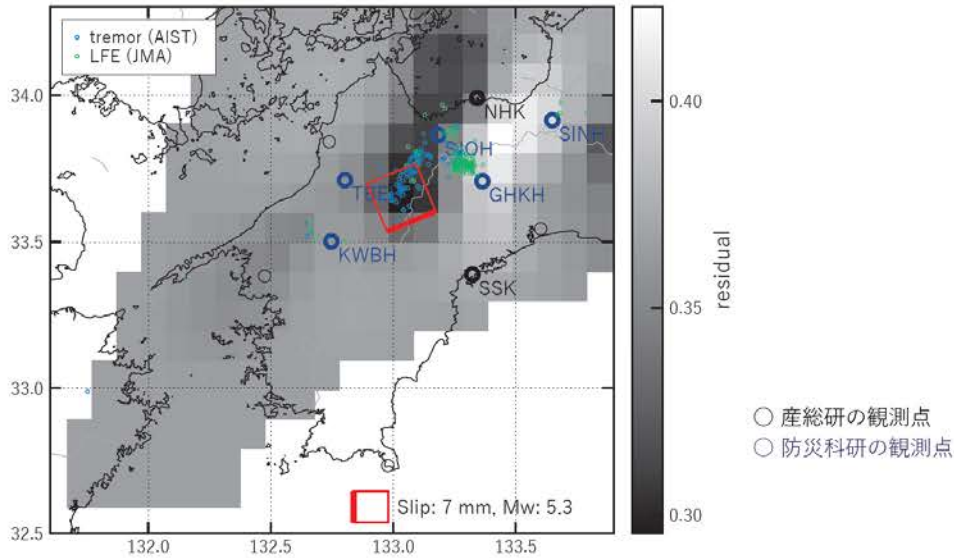


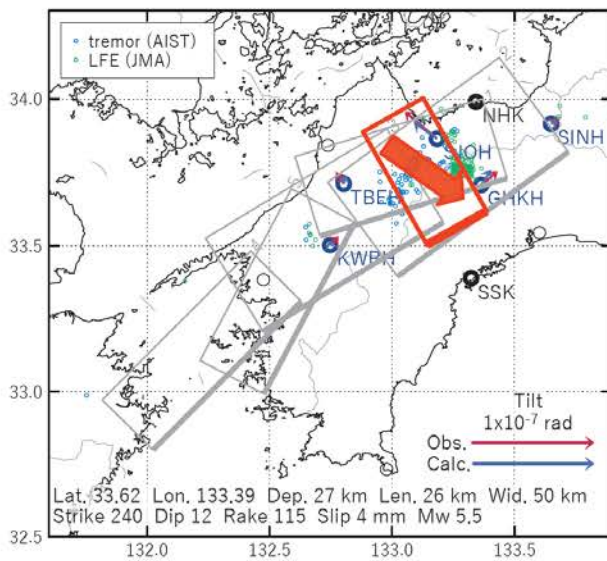
図2 四国地方における歪・傾斜観測結果 (2018/07/21 00:00 - 2018/08/15 00:00 (JST))

[A] 2018/08/08-11

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

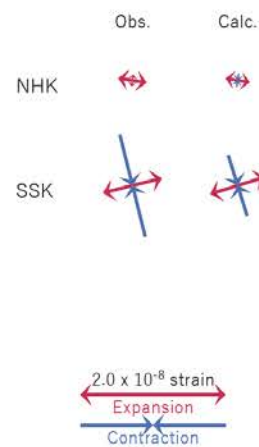
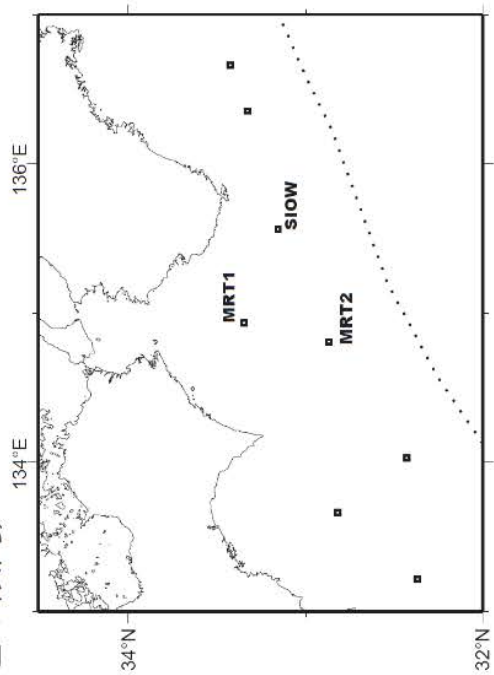


図3 2018/08/08-11 の歪・傾斜変化 (図2[A]) を説明する断層モデル。

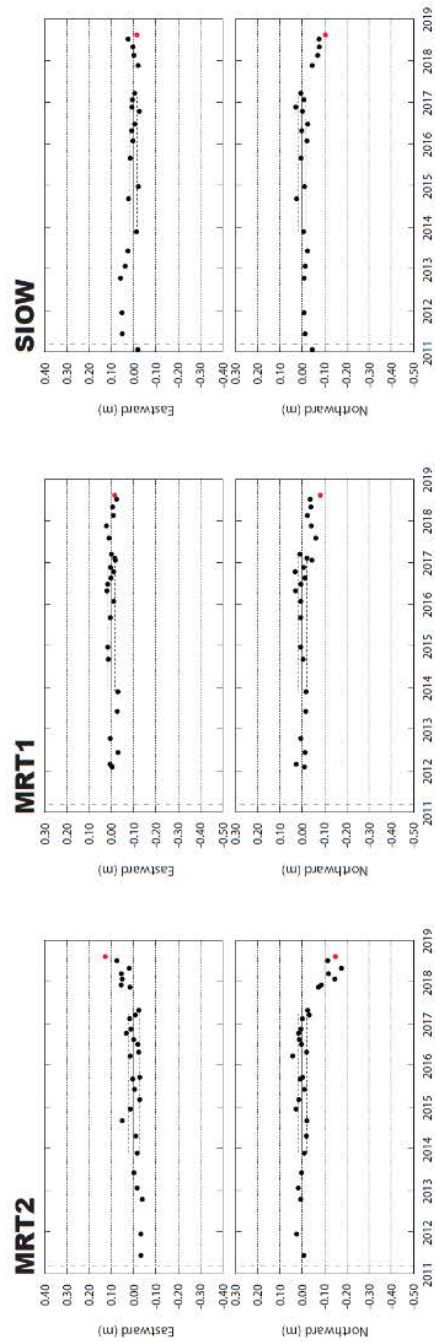
- (a) プレート境界面に沿って20 x 20 kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小にするすべり量を選んだときの、対応する残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。
- (b1) (a)の断層面付近をグリッドサーチして推定した断層面 (赤色矩形) と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生した短期的SSEの推定断層面。
- 1: 2018/03/06-09 (Mw5.9), 2: 2018/03/10-17 (Mw6.1), 3: 2018/07/10-17 (Mw6.0), 4: 2018/07/18-21 (Mw5.9), 5: 2018/07/22-25 (Mw5.9)
- (b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

<参考> 紀伊水道沖の時系列 (最近の傾向)



※●は2018年8月の観測結果 (速報値)

2013.5-2017.5の期間のトレンドを除去した時系列



速報値は、船上 GNSS 解析の陸上基準点として
前週の GEONET F3 解を使用し、衛星暦として
速報暦 (IGR 暦) を用いて解析した結果

海上保安庁

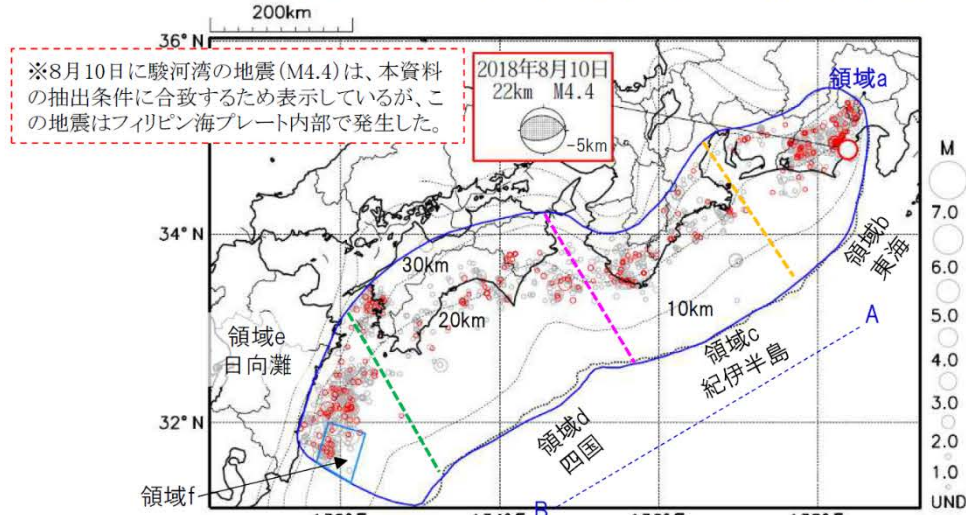
プレート境界とその周辺の地震活動

フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。

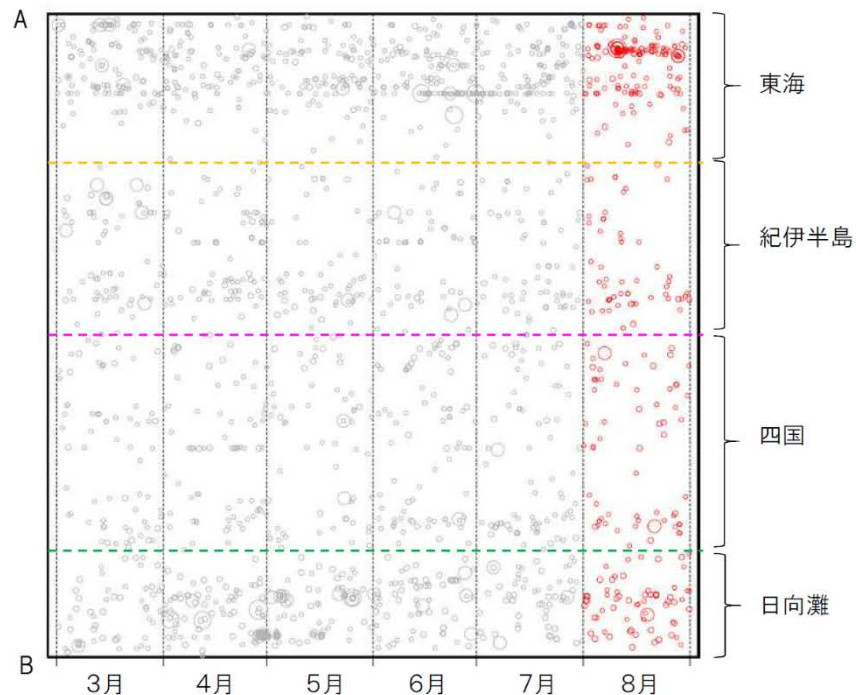
日向灘の領域f内のみ、深さ20km～30kmの地震を追加している。

震央分布図

(2018年3月1日～2018年8月31日、M全て、2018年8月の地震を赤く表示)



領域a (南海トラフ巨大地震の想定震源域) 内の時空間分布図 (A-B 投影)



・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。

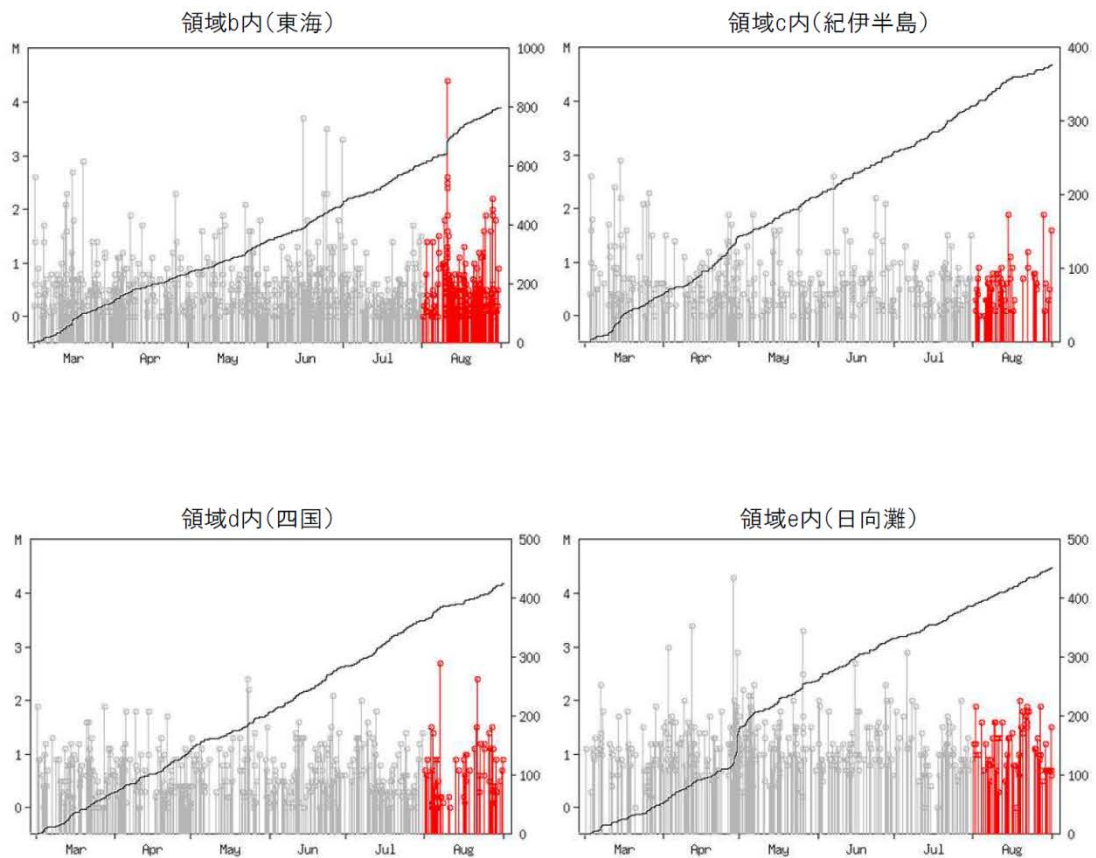
・今期間の地震のうち、M3.2以上の地震で想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震に吹き出しを付している。吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差 (+は浅い、-は深い)を示す。

気象庁作成

プレート境界とその周辺の地震活動

フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。
日向灘の領域f内のみ、深さ20km～30kmの地震を追加している。

震央分布図の各領域内のMT図・回数積算図

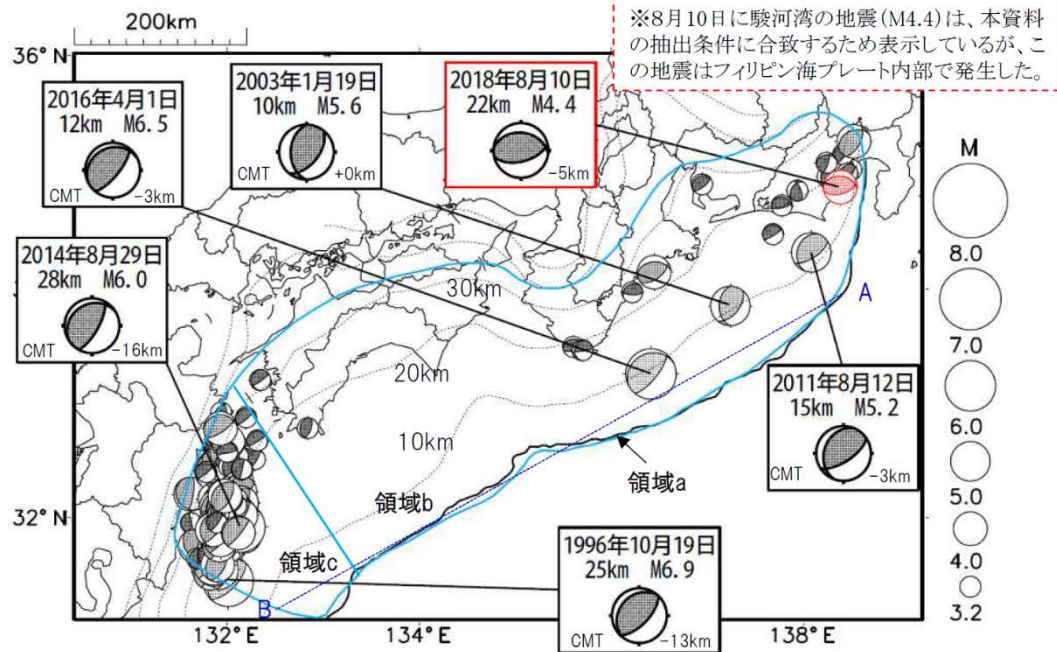


※M全ての地震を表示していることから、検知能力未満の地震も表示しているため、回数積算図は参考として表記している。

気象庁作成

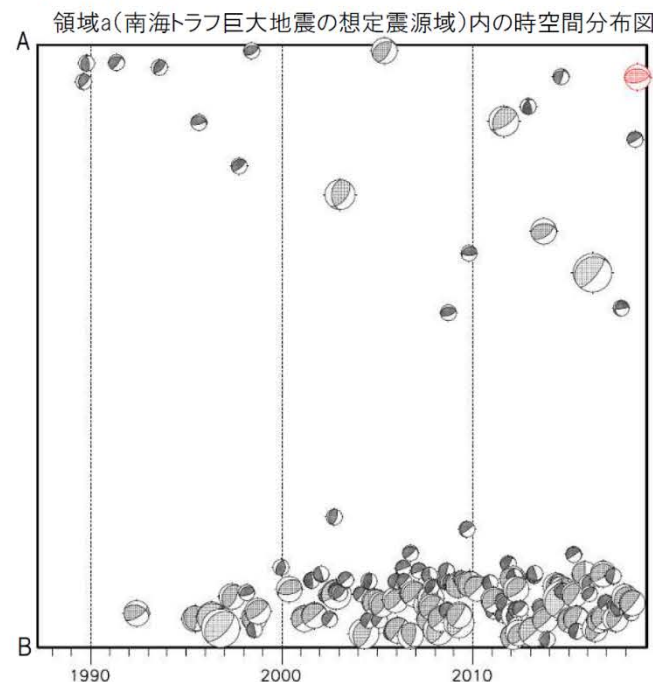
想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震

震央分布図(1987年9月1日～2018年8月31日、M $\geq$ 3.2、2018年8月の地震を赤く表示)



・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。

- ・今期間に発生した地震(赤)、日向灘のM6.0以上、その他の地域のM5.0以上の地震に吹き出しを付けている。
- ・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。
- ・吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差を示す。+は浅い、-は深いことを示す。
- ・吹き出しに「CMT」と表記した地震は、発震機構解と深さはCMT解による。Mは気象庁マグニチュードを表記している。
- ・発震機構解の解析基準は、解析当時の観測網等に応じて変遷しているため一定ではない。



プレート境界型の地震と類似の型の発震機構解を持つ地震は以下の条件で抽出した。

【抽出条件】

- ・M3.2以上の地震
- ・領域a内(南海トラフの想定最大規模の想定震源域内)で発生した地震
- ・発震機構解が以下の条件を全て満たしたものを抽出した。
 - P軸の傾斜角が45度以下
 - P軸の方位角が65度以上180度以下(※)
 - T軸の傾斜角が45度以上
 - N軸の傾斜角が30度以下
- ※以外の条件は、東海地震と類似の型を抽出する条件と同様
- ・発震機構解は、CMT解と初動解の両方で検索をした。
- ・同一の地震で、CMT解と初動解の両方がある場合はCMT解を選択している。
- ・東海地方から四国地方(領域b)は、フィリピン海プレート上面の深さから±10km未満の地震のみ抽出した。日向灘(領域c)は、+10km～20km未満の震源を抽出した。CMT解はセントロイドの深さを使用した。

気象庁作成

南海トラフ巨大地震の想定震源域とその周辺の地震活動指数

2018年8月31日

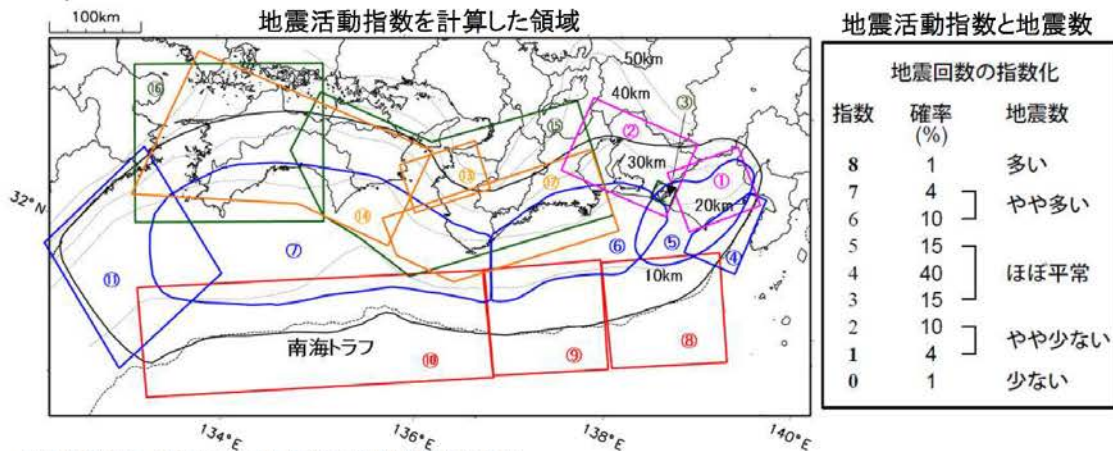
領域	①静岡県 中西部		②愛知県		③浜名湖 周辺	④駿河 湾	⑤東海	⑥東南 海	⑦南海
	地	プ	地	プ	プ	全	全	全	全
地震活動指数	4	4	7	4	2	2	5	4	2
平均回数	16.2	18.4	26.5	13.6	13.0	13.4	18.2	19.9	21.4
MLさい値	1.1		1.1		1.1	1.4	1.5	2.0	2.0
クラスタ 除去	距離		3km		3km	10km	10km	10km	10km
	日数		7日		7日	10日	10日	10日	10日
対象期間	60日	90日	60日	30日	360日	180日	90日	360日	90日
深さ	0～ 30km	0～ 60km	0～ 30km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 100km	0～ 100km

領域	南海トラフ沿い		⑪日向 灘	⑫紀伊 半島	⑬和歌 山	⑭四国	⑮紀伊半 島	⑯四国
	⑧東側	⑩西側						
	全	全	全	地	地	地	プ	プ
地震活動指数	4	5	2	4	4	4	4	5
平均回数	11.5	15.1	20.5	23.0	42.4	29.9	27.5	28.0
MLさい値	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
クラスタ 除去	距離		10km	10km	10km	3km	3km	3km
	日数		10日	10日	10日	7日	7日	7日
対象期間	720日	360日	60日	120日	60日	90日	30日	30日
深さ	0～ 100km	0～ 100km	0～ 100km	0～ 20km	0～ 20km	0～ 20km	20～ 100km	20～ 100km

* 基準期間は、全領域1997年10月1日～2018年8月31日

* 領域欄の「地」は地殻内、「プ」はフィリピン海プレート内で発生した地震であることを示す。ただし、震源の深さから便宜的に分類しただけであり、厳密に分離できていない場合もある。「全」は浅い地震から深い地震まで全ての深さの地震を含む。

* ⑨の領域(三重県南東沖)は、2004年9月5日以降の地震活動の影響で、地震活動指数を正確に計算できないため、掲載していない。



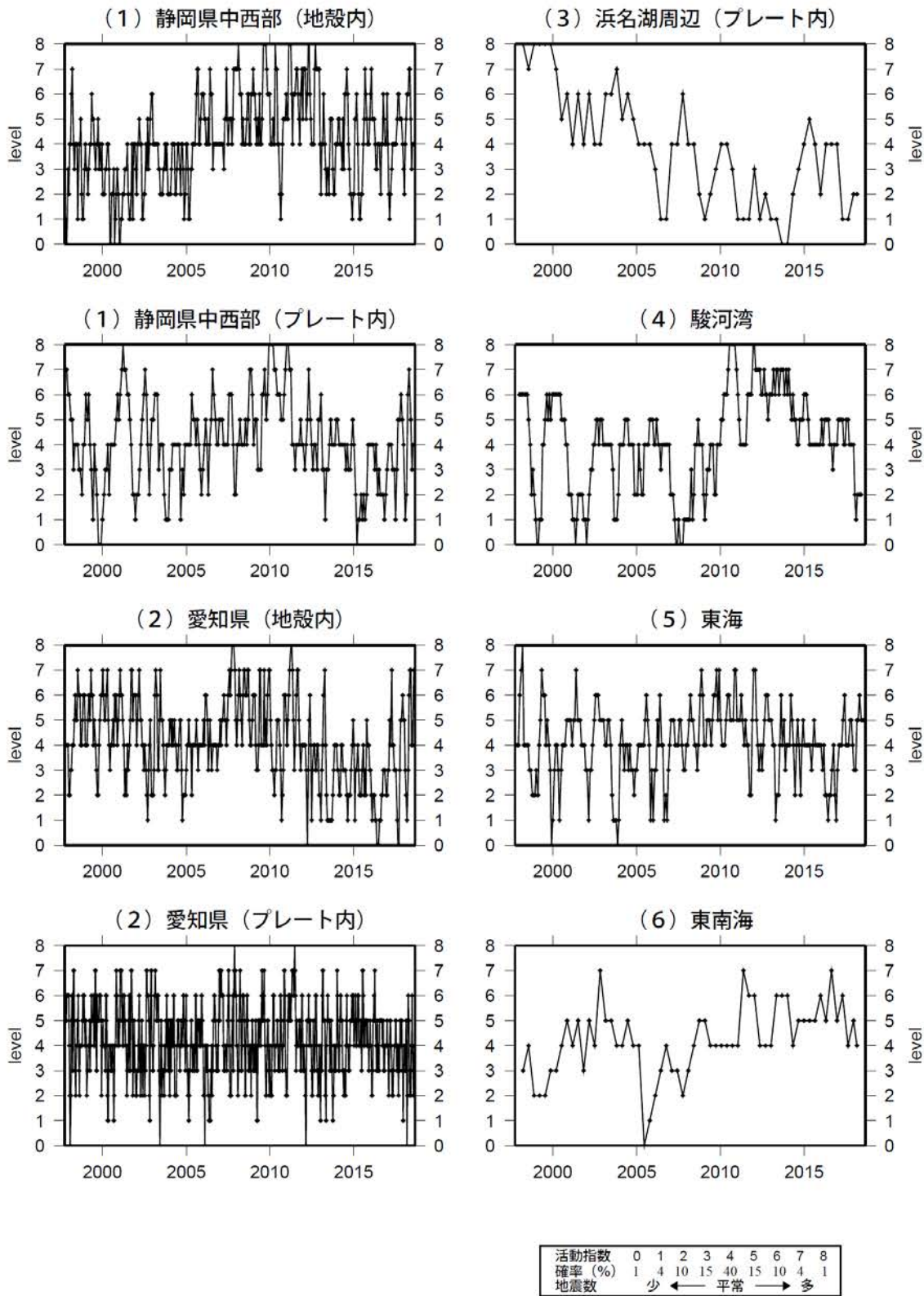
* 黒色実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

* Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるプレート境界の等深線を破線で示す。

気象庁作成

地震活動指数一覧

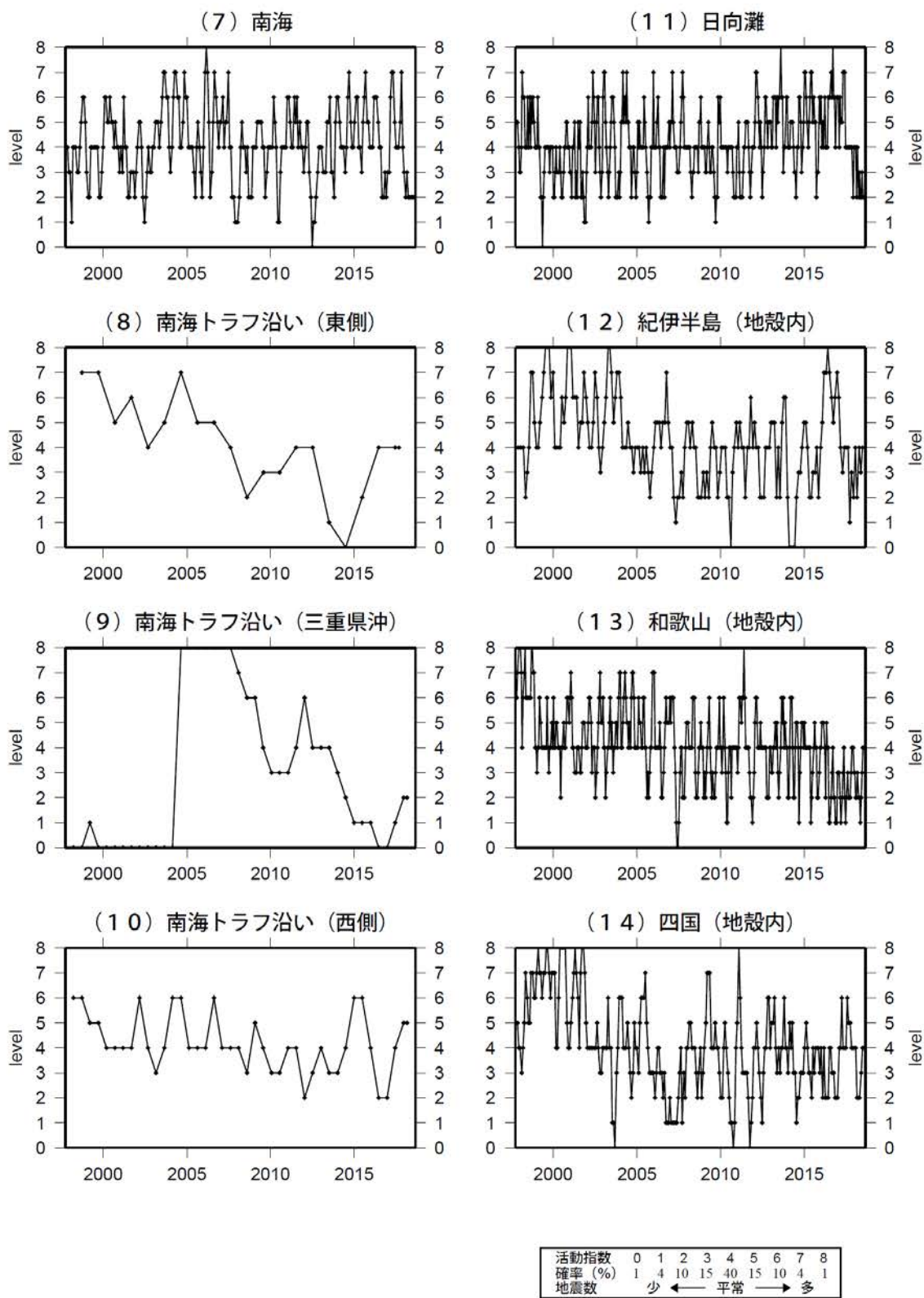
2018年08月31日



気象庁作成

地震活動指数一覧

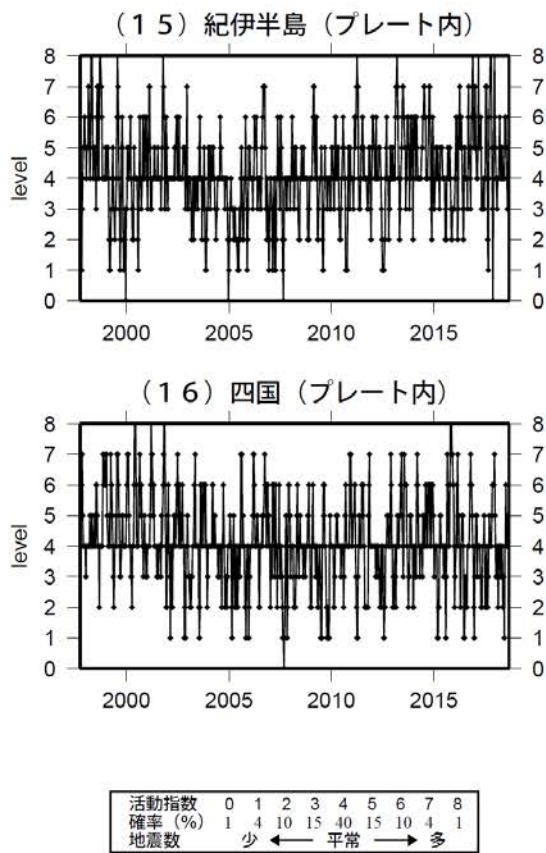
2018年08月31日



気象庁作成

地震活動指数一覧

2018年08月31日



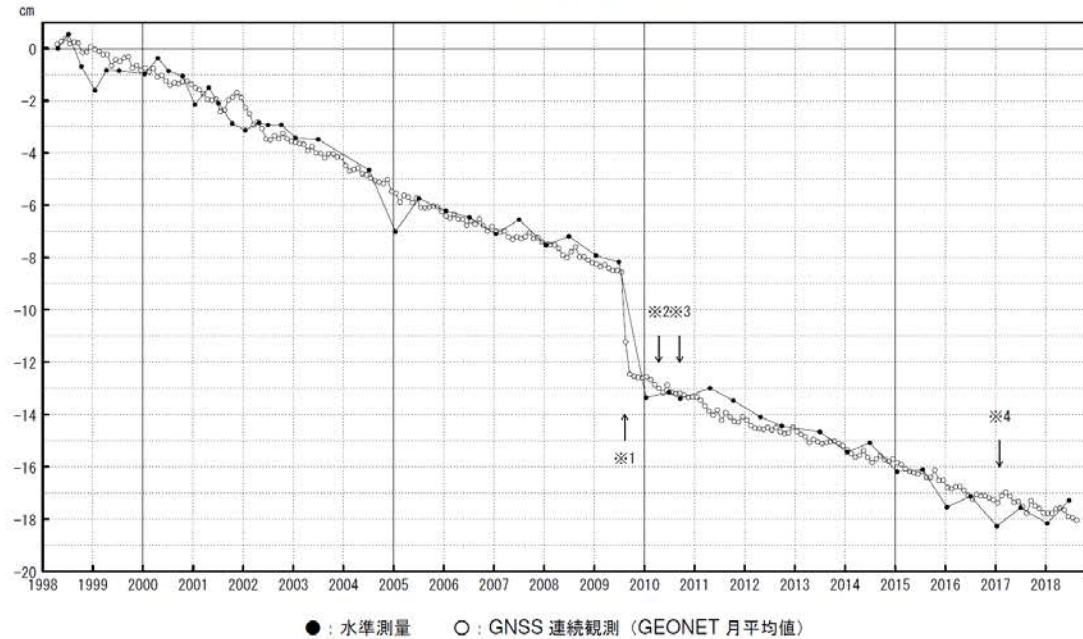
気象庁作成

御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

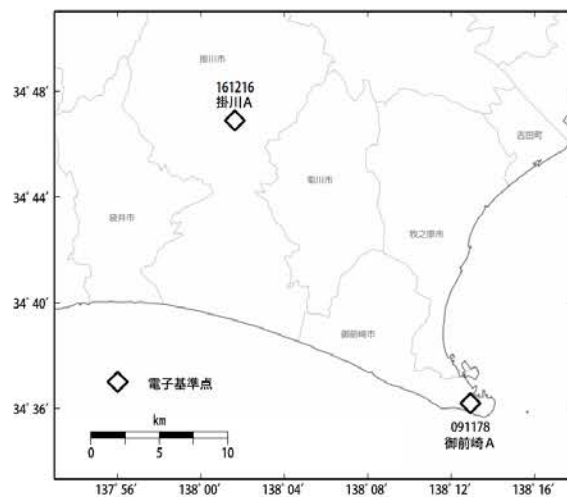
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)



・ 最新のプロット点は 08/01～08/11 の平均。

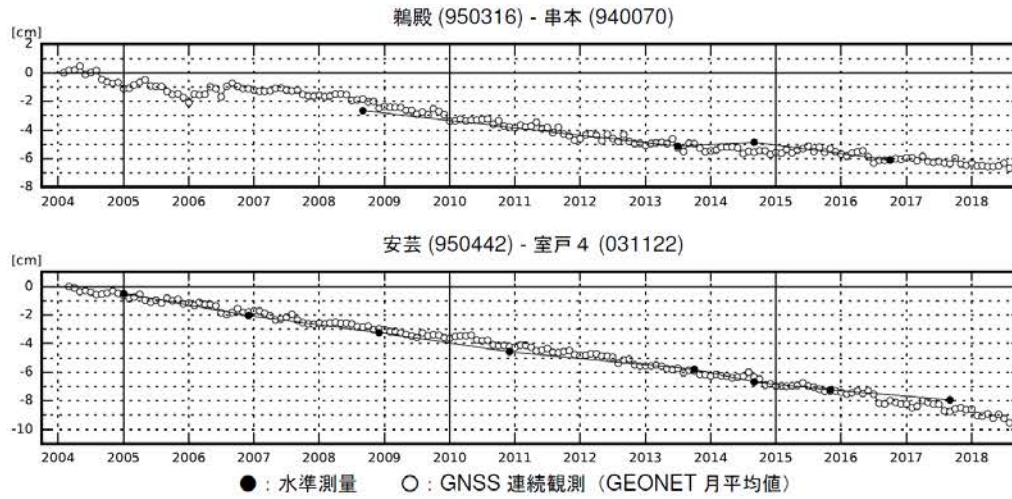
- ※1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。
- ※4 2017 年 1 月 30 日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川 A」とした。上記グラフは電子基準点「掛川」と電子基準点「掛川 A」のデータを接続して表示している。



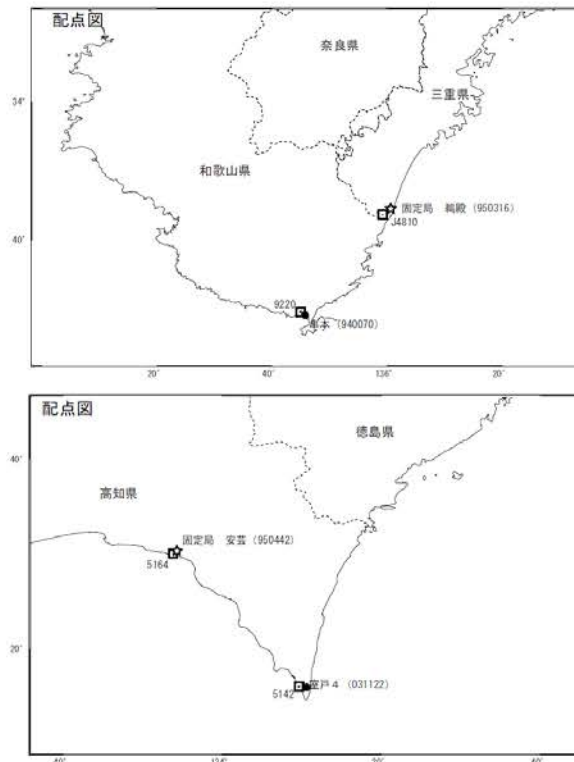
国土地理院

紀伊半島及び室戸岬周辺 電子基準点の上下変動

潮岬周辺及び室戸岬周辺の長期的な沈降傾向が続いている。

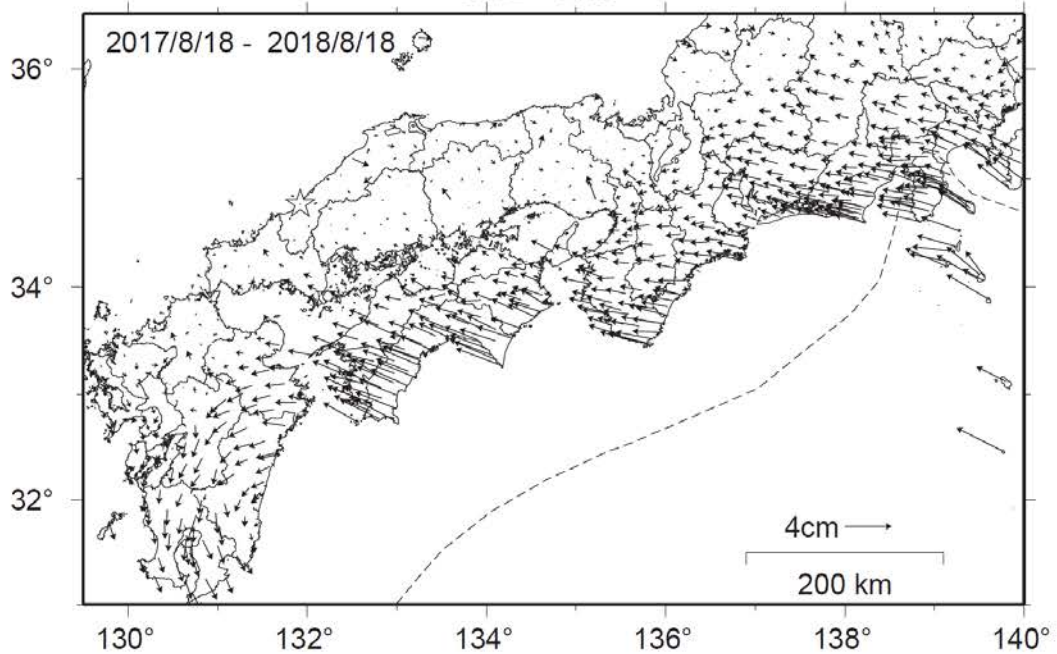


- ・ 最新のプロット点は8/1～8/11の平均。
- ・ 水準測量による結果については、最寄りの一等水準点の結果を表示している。

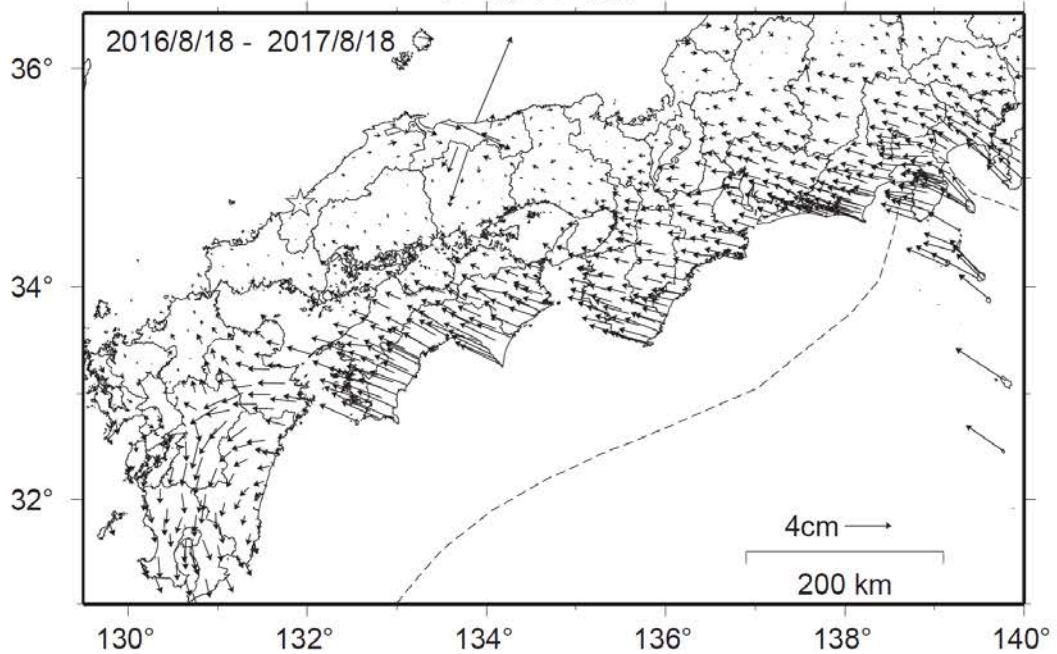


南海トラフ沿いの水平地殻変動【固定局：三隅】

【最近1年間】



【1年前の1年間】



国土地理院

●日本の主な火山活動

全国月間火山概況（平成30年8月）

桜島の南岳山頂火口では、活発な噴火活動が継続しており、今後も南岳山頂火口を中心に引き続き噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

口永良部島では、5日から火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が増加し、15日に新岳の西側山麓付近のやや深い場所で火山性地震が増加しました。この火山性地震の震源は2015年5月の噴火前に発生した地震と概ね同じ場所であると推定されたことから、今後、火山活動が更に高まり、居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する可能性があるかと判断し、15日に噴火警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から4（避難準備）に引き上げました。

16日以降は新岳の西側山麓付近のやや深い場所を震源とする火山性地震は観測されていません。また、火山ガスの放出量に更なる増加は認められず、噴煙や熱異常域の状況に特段の変化は認められないなど、火山活動の更なる高まりは認められなかったことから、居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、29日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを4（避難準備）から3（入山規制）に引き下げました。

一方で、8月に入ってから、火山活動が高まった状態となっていますので、新岳火口から概ね2 kmに影響を及ぼす噴火の可能性がります。

新岳火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

西之島では、7月12日に噴火活動が再開しましたが、7月下旬以降噴火は観測されていません。

2013年以降、噴火活動を繰り返しており、今後も噴火が再開する可能性が考えられます。火口から概ね1.5 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

草津白根山（白根山（湯釜付近））では、湯釜付近を震源とする火山性地震の活動は、増減を繰り返しています。また、湯釜周辺の傾斜計で観測されている地殻変動は、8月下旬頃から概ね停滞しています。

湯釜火口から概ね1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

草津白根山（本白根山）では、火口付近の地震活動が継続しています。

1月23日と同様な噴火が発生する可能性は否定できません。本白根山鏡池付近から概ね1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、硫黄山の活発な噴気活動が続いています。GNSS連続観測では、硫黄山近傍の基線で、6月上旬から伸びの傾向が続いています。

えびの高原の硫黄山から概ね1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（新燃岳）では、6月28日以降、噴火は観測されていません。火口直下を震源とする火山性地震は、26日に一時的に増加するなど、概ね多い状態で経過しました。GNSS連続観測では、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びは緩やかに継続しており、火山活動の長期化やさらなる活発化の可能性もあります。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2 kmまで、火砕流が概ね1 kmまで達する噴火の可能性がります。そのため、新燃岳火口から概ね2 kmの範囲では警戒してください。

諏訪之瀬島では、今期間噴火は観測されませんでした。

長期にわたり噴火を繰り返していることから、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

硫黄島では、火山性地震が9月8日（期間外）から増加しています。また、GNSS連続観測では、地震活動と同時期から通常より大きな隆起が観測されています。従来から小規模な噴火がみられていた領域や沿岸では噴火に警戒してください。

平成30年8月 地震・火山月報(防災編)

吾妻山では、火山性地震が8月中旬頃からやや多い状態で経過し、9月8日から9日にかけて(期間外)増加がみられました。また、7月22日の火山性微動の発生以降、傾斜計で観測されている地殻変動が継続しています。

これらのように、火山活動に高まりが認められますので、今後の火山情報に注意してください。

浅間山では、火山性地震はやや少ない状態となり、浅間山の西側の膨張を示すと考えられる地殻変動もみられていません。また、山頂火口からの噴煙や火山ガス(二酸化硫黄)の放出量も少ない状態となっています。これらのことから、30日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(活火山であることに留意)に引き下げました。

火口から500mの範囲に影響を及ぼす程度のごく小規模な噴火の可能性がありますので、火山灰噴出や火山ガス等に注意してください。

表1 平成30年8月31日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3 (入山規制)	桜島、口永良部島
	入山危険	西之島※
	レベル2 (火口周辺規制)	草津白根山 (白根山 (湯釜付近))、草津白根山 (本白根山)、霧島山 (えびの高原 (硫黄山) 周辺)、霧島山 (新燃岳)、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報 (周辺海域)	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1 (活火山であることに留意)	アトサヌプリ、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、浅間山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、白山、箱根山、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山 (御鉢)、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八甲田山、十和田、八幡平、栗駒山、鳴子、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカランダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、須美寿島、伊豆島、嶺南岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山 (えびの高原 (硫黄山) 周辺、新燃岳及び御鉢以外)、米丸・住吉池、若草、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、沢捉焼山、沢捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

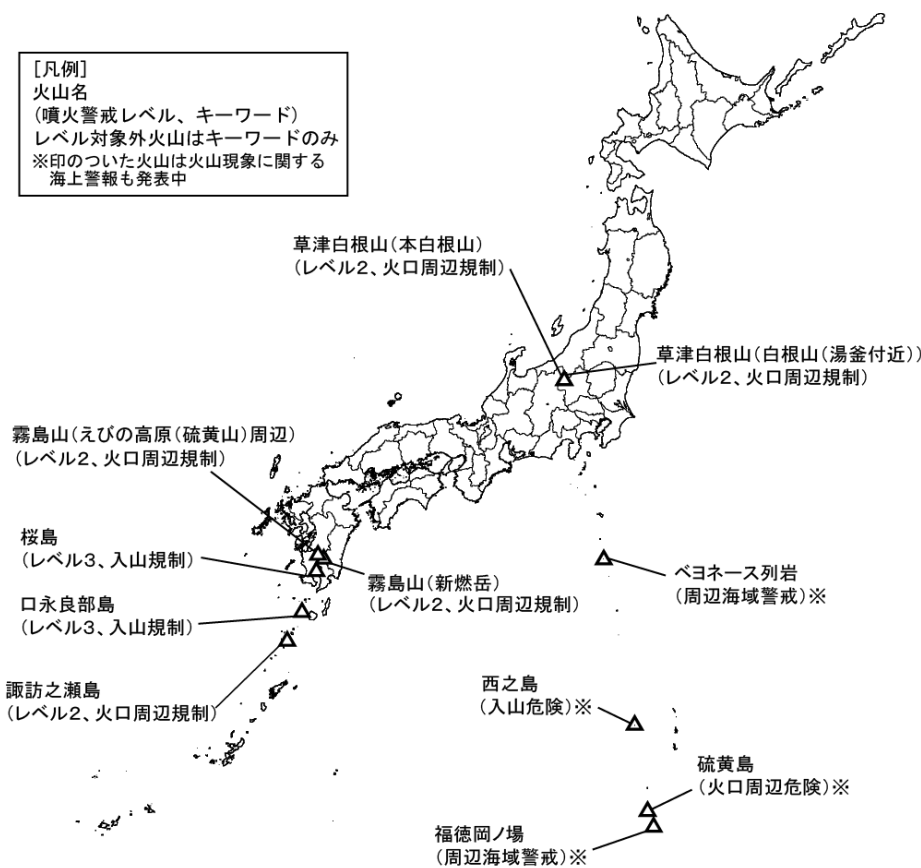


図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、警報・予報事項に変更はありません。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震が8月中旬頃からやや多い状態で経過し、9月8日から9日にかけて（期間外）増加がみられました。また、7月22日の火山性微動の発生以降、浄土平観測点に設置している傾斜計¹⁾では、西北西（大穴火口方向）上がりの地殻変動が継続しています。

これらのように、火山活動に高まりがみられますので、今後の火山情報に注意してください。

大穴火口付近では噴出現象が突発的に発生する可能性があります。また、大穴火口や旧火口周辺、硫黄平橋周辺では、噴気や火山ガスの噴出等がみられます。ヘルメットの携行や立ち入り規制等地元自治体の指示に従ってください。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

4月21日から急激に活発化した湯釜付近を震源とする火山性地震の活動は、5月に入り低下傾向にありましたが、5月下旬以降、火山性地震の発生頻度が高まり、7月頃から低下しつつも増減を繰り返しています。また、地震活動開始とほぼ同時期から湯釜周辺の傾斜計で観測されている地殻変動は、8月下旬頃から概ね停滞しています。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石²⁾が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

草津白根山（本白根山）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

本白根山では、火口付近の地震活動が継続しています。

1月23日と同様な噴火が発生する可能性は否定できません。本白根山の火口から概ね1kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

浅間山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕←30日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ

浅間山では、火山性地震はやや少ない状態となり、浅間山の西側の膨張を示すと考えられる地殻変動もみられていません。また、山頂火口からの噴煙や火山ガス（二酸化硫黄）の放出量³⁾も少ない状態となっています。これらのことから、浅間山の火山活動は低下しており、火口から500mを超える範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断し、30日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。ただし、火口から500mの範囲に影響を及ぼす程度のごく小規模な噴火の可能性があります。火山灰噴出や火山ガス等に注意してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

海上保安庁、第三管区海上保安本部によるこれまでの観測で、明神礁付近では火山活動によるとみられる変色水や気泡が時々観測されています。今後、小規模な海底噴火が発生する可能性がありますので、明神礁付近及び周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

7月12日に噴火が確認されましたが、7月下旬以降は確認されていません。18日に実施した第三管区海上保安本部による観測でも、噴火は認められませんでした。

2013年以降、噴火活動を繰り返しており、今後も噴火が再開する可能性があります。火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

硫黄島 [火口周辺警報 (火口周辺危険) 及び火山現象に関する海上警報]

火山性地震が9月8日 (期間外) から増加しています。また、GNSS⁴⁾ 連続観測では、地震活動と同時期から通常より大きな隆起が観測されています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域や沿岸では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場 [噴火警報 (周辺海域警戒) 及び火山現象に関する海上警報]

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物 (軽石等) に注意してください。

霧島山 (えびの高原 (硫黄山) 周辺) [火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

硫黄山の南側の火孔では、活発な噴気活動が続いています。硫黄山の西側500m付近では、5月下旬以降、噴気活動は弱まった状態が続いています。

硫黄山付近の火山性地震は、概ねやや多い状態で経過しました。また、浅い所を震源とする低周波地震⁵⁾ は引き続き時々発生しています。えびの高原周辺 (硫黄山以外) の火山性地震が、8月下旬に増加しました。

硫黄山の南側では、引き続き湯だまりを確認しましたが、8月下旬に湯だまりの大きさの縮小がみられました。現地調査では、硫黄山周辺の沢の水は、引き続き白濁していることを確認しました。

GNSS連続観測では、硫黄山近傍の基線で、6月上旬から伸びの傾向が続いています。霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びは緩やかに継続しており、火山活動の長期化やさらなる活発化の可能性もあります。

硫黄山では、火山活動がやや高まった状態が継続しており、ごく小規模な噴火の可能性もあります。えびの高原の硫黄山から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石 (火山れき⁶⁾) が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

霧島山 (新燃岳) [火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

新燃岳では6月28日以降、噴火は観測されていません。

火口直下を震源とする火山性地震は、26日に155回と一時的に増加するなど、概ねやや多い状態で経過しました。浅い所を震源とする低周波地震も時々発生しています。振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が時々発生しました。

また、新燃岳火口の北東側2.5km付近を震源とする火山性地震が引き続き発生しています。

GNSS連続観測では、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びは緩やかに継続しており、火山活動の長期化やさらなる活発化の可能性もあります。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2kmまで、火砕流⁷⁾ が概ね1kmまで達する噴火の可能性もあります。そのため、新燃岳火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石 (火山れき) が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。また、地元自治体等が発表する火山ガスの情報にも留意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

桜島 [火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制)]

桜島では、活発な噴火活動が継続しています。

南岳山頂火口では、引き続き噴火⁸⁾ (爆発的噴火⁹⁾ を含む) が発生しています。29日14時09分の噴火では、噴煙は火口縁上2,800mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で5合目 (南岳山頂火口より1,000mから1,300m) まで達しました。

桜島では、今後も南岳山頂火口を中心に、噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石 (火山れき⁶⁾) が遠方まで風に流されて降るため注意して

ください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】←15日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から4（避難準備）へ引上げ、29日に噴火警戒レベルを4（避難準備）から3（入山規制）へ引下げ

口永良部島では、5日から火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が増加し、15日に新岳の西側山麓付近のやや深い場所で火山性地震が増加しました。地震の規模は最大でマグニチュード1.9（暫定値）とやや大きなものでした。この火山性地震の震源は2015年5月の噴火前に発生した地震と概ね同じ場所であると推定され、この時と同様の経過をたどれば、今後、火山活動が更に高まり、居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する可能性があるかと判断したことから、15日10時30分に噴火警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から4（避難準備）に引き上げました。

16日以降は新岳の西側山麓付近のやや深い場所を震源とする火山性地震は観測されていません。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量に更なる増加は認められていません。GNSS連続観測では、口永良部島内の基線で顕著な変化は認められていません。16日以降に実施した山麓及び上空からの観測では、新岳火口及び新岳火口西側割れ目付近の噴煙や熱異常域の状況に特段の変化は認められませんでした。このように火山活動の更なる高まりは認められなかったことから、居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、29日10時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを4（避難準備）から3（入山規制）に引き下げました。

一方で、8月に入ってから、新岳火口付近のごく浅い場所を震源とする火山性地震が増減を繰り返し、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が多い状態で経過しているなど、火山活動が高まった状態となっていますので、新岳火口から概ね2kmに影響を及ぼす噴火の可能性があります。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳^{おたけ}火口では、噴火は観測されませんでした。

諏訪之瀬島では、長期にわたり噴火を繰り返していることから、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

（火山の順は活火山総覧（第4版）による）

- 1) 傾斜計とは、火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器です。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。1 μ rad（マイクロラジアン）は1km先が1mm上下するような変化量です。
- 2) 噴石は、その大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とはそれより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。
- 3) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた水蒸気や二酸化硫黄、硫化水素など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマが浅部へ上昇するとその放出量が増加します。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用しています。
- 4) GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
- 5) 火山性地震のうち、P波、S波の相が不明瞭で、火口周辺の比較的浅い場所で発生する地震と考えられ、主に1～3Hzの低周波成分が卓越した地震です。火道内の火山ガスの移動やマグマの発泡など火山性流体の動きで発生すると考えられています。火山によっては、過去の事例から、火山活動が活発化すると多発する傾向がある事が知ら

れています。

- 6) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現しています。
- 7) 火砕流とは、火山灰や岩塊、火山ガスや空気が一体となって急速に山体を流下する現象です。火砕流の速度は時速数十 km から時速百 km 以上、温度は数百℃にも達することがあります。
- 8) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的な噴火もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上 1,000m 以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 9) 霧島山・諏訪之瀬島では、火道内の爆発による地震を伴い、火口周辺の観測点で一定基準以上の空気の振動を観測した噴火を爆発的噴火としています。桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、气象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した噴火を爆発的噴火としています。

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ (平成30年8月31日現在)

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2016年3月23日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	雌阿寒岳	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2008年9月29日火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年10月17日噴火予報 (平常) 2008年11月17日火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年12月16日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日噴火予報 (レベル1、平常) 2015年7月28日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2015年11月13日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	大雪山	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常)
	十勝岳	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2008年12月16日噴火予報 (レベル1、平常) 2014年12月16日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2015年2月24日噴火予報 (レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2015年10月1日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	有珠山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2008年6月9日噴火予報 (レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (レベル1、平常)
	恵山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2016年3月23日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	岩木山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2016年7月26日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
東北地方	秋田焼山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2013年7月25日噴火予報 (レベル1、平常)
	八甲田山	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常)
	十和田	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常)
	岩手山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2009年10月27日噴火予報 (レベル1、平常)
	鳥海山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2018年3月27日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	栗駒山	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常)
	蔵王山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2015年4月13日火口周辺警報 (火口周辺危険) 2015年6月16日噴火予報 (活火山であることに留意) 2016年7月26日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意) 2018年1月30日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2018年3月6日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	吾妻山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (レベル1、平常) 2014年12月12日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2016年10月18日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	安達太良山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2009年3月31日噴火予報 (レベル1、平常)
	磐梯山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2009年3月31日噴火予報 (レベル1、平常)

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

	火山名	特別警報、警報及び 予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	草津白根山（本白根山）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2018年1月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年1月23日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	浅間山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
伊豆・小笠原諸島	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒）
	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山(新燃岳)	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月22日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日噴火予報(レベル1、平常) 2010年3月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月16日噴火予報(レベル1、平常) 2010年5月6日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年1月26日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2011年1月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年2月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年3月22日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2012年6月26日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2013年10月22日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年5月26日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2017年10月5日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年10月11日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2017年10月15日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2017年10月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年3月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年3月10日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年3月15日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年6月28日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	霧島山(御鉢)	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2018年2月9日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2018年3月15日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年2月20日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年7月14日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年8月28日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月19日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年3月10日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月24日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2010年9月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年10月13日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2012年3月12日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2012年3月21日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年8月15日噴火警報(レベル4、避難準備) 2015年9月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2015年11月25日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2016年2月5日火口周辺警報(レベル3、入山規制)
	薩摩硫黄島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2012年11月29日噴火予報(レベル1、平常) 2013年6月4日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2013年7月10日噴火予報(レベル1、平常) 2017年1月5日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年2月24日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2018年3月19日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2018年4月27日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

	火山名	特別警報、警報及び 予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・ 南西諸島	口永良部島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日噴火予報 (レベル1、平常) 2008年9月4日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月18日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日噴火予報 (レベル1、平常) 2009年9月27日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年10月30日噴火予報 (レベル1、平常) 2011年12月15日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2012年1月20日噴火予報 (レベル1、平常) 2014年8月3日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2014年8月7日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2015年5月29日噴火警報 (レベル5、避難) 2015年10月21日噴火警報 (レベル5、避難) 切替 2016年6月14日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2018年4月18日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2018年8月15日噴火警報 (レベル4、避難準備) 2018年8月29日火口周辺警報 (レベル3、入山規制)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)

注) 警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

(2) その他の活火山

以下の活火山（*印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、**印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

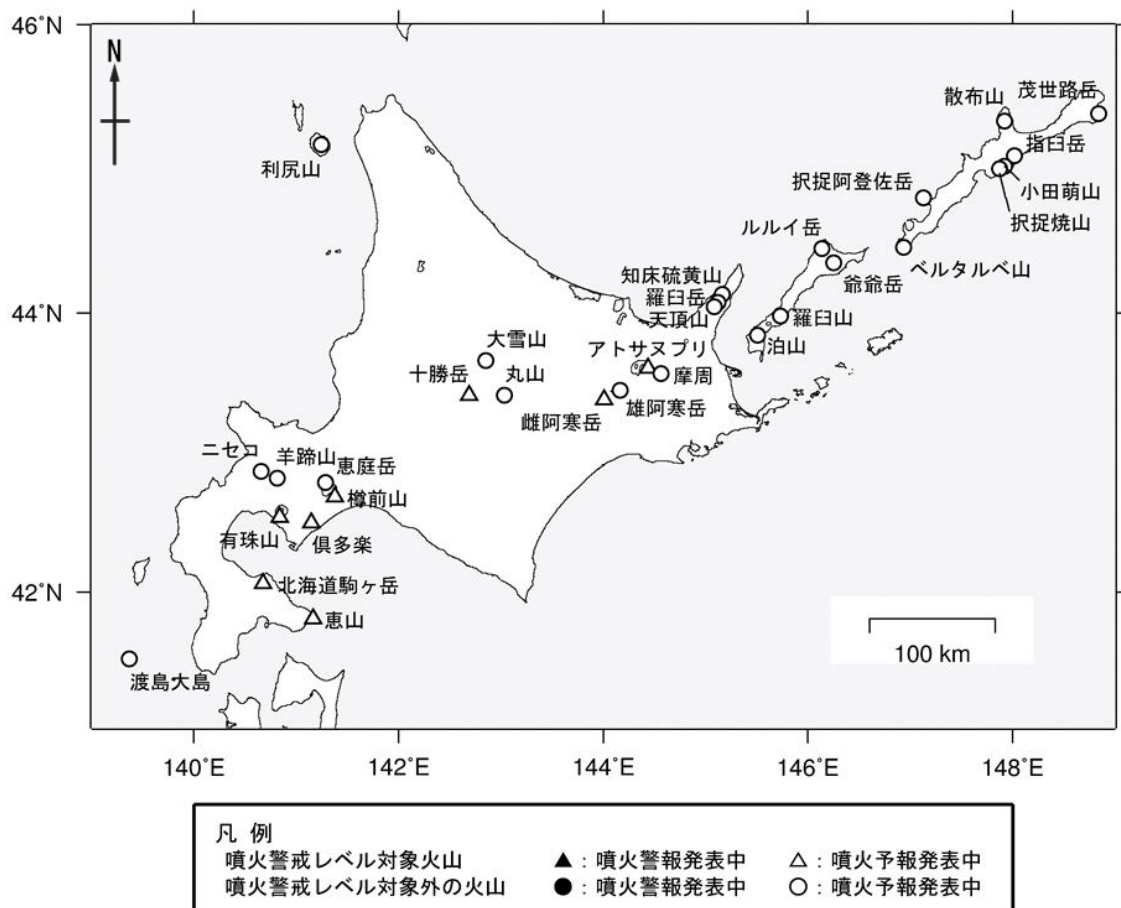
○北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（平成 30 年 8 月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（8月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所及び森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間も継続時間の短い火山性微動が観測されています。

十勝岳では、2006 年以降の山体浅部の膨張が継続する中で、噴煙高の高い状態、地熱域の拡大や温度上昇、地震の一時的な増加など、火山活動の活発化を示唆する現象を観測していますので、今後の活動の推移に注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

一方、山頂溶岩ドーム周辺では、1999年以降、高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○東北地方の火山活動

管内月間火山概況（平成30年8月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（8月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、栗駒山、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報事項の状況は以下のとおりで、予報事項に変更はありません。

恐山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

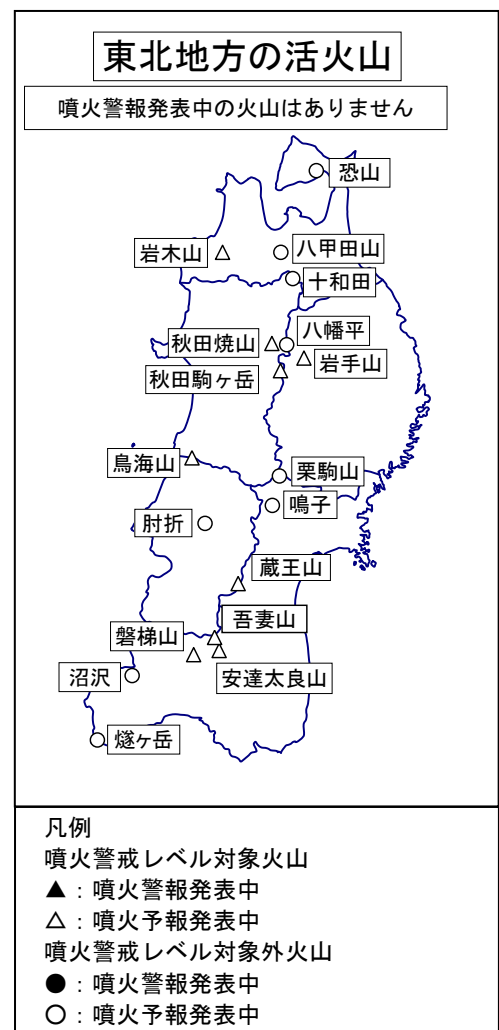
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

17日に振幅の小さな低周波地震¹⁾が発生しました。その後の地震活動に特段の変化はみられません。

秋田駒ヶ岳では、火山性地震の増加が時々みられ、2018年2月以降、火山性微動や低周波地震が発生していることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

また、女岳^{めだけ}では地熱活動が続いていますので、注意してください。



鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

鳴子〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

9月2日（期間外）に火山性微動が発生しました。その他の観測データに変化はなく、火山活動に特段の変化は認められませんでした。

蔵王山では、2013年以降、火山性地震や火山性微動が時々発生し、地殻変動に変化がみられるなど、火山活動が高まることがありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

馬の背カルデラ内の丸山沢や振子沢では噴気や火山ガスの噴出等がみられます。異変を感じた際には速やかにカルデラから離れてください。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震が8月中旬頃からやや多い状態で経過し、9月8日から9日にかけて（期間外）増加がみられました。また、7月22日の火山性微動の発生以降、浄土平観測点に設置している傾斜計²⁾では、西北西（大穴火口方向）上がりの地殻変動が継続しています。

これらのように、火山活動に高まりがみられますので、今後の火山情報に注意してください。

大穴火口付近では噴出現象が突発的に発生する可能性があります。また、大穴火口や旧火口周辺、硫黄平橋周辺では、噴気や火山ガスの噴出等がみられます。ヘルメットの携行や立ち入り規制等地元自治体の指示に従ってください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

1) 火山性地震のうち、P波、S波の相が不明瞭で、火口周辺の比較的浅い場所で発生する地震と考えられ、主に1～3 Hzの低周波成分が卓越した地震です。火道内の火山ガスの移動やマグマの発泡など火山性流体の動きで発生すると考えられています。火山によっては、過去の事例から、火山活動が活発化すると多発する傾向がある事が知られています。

2) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。

この管内月間火山概況は、仙台管区気象台のホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学、弘前大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政区・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

○関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

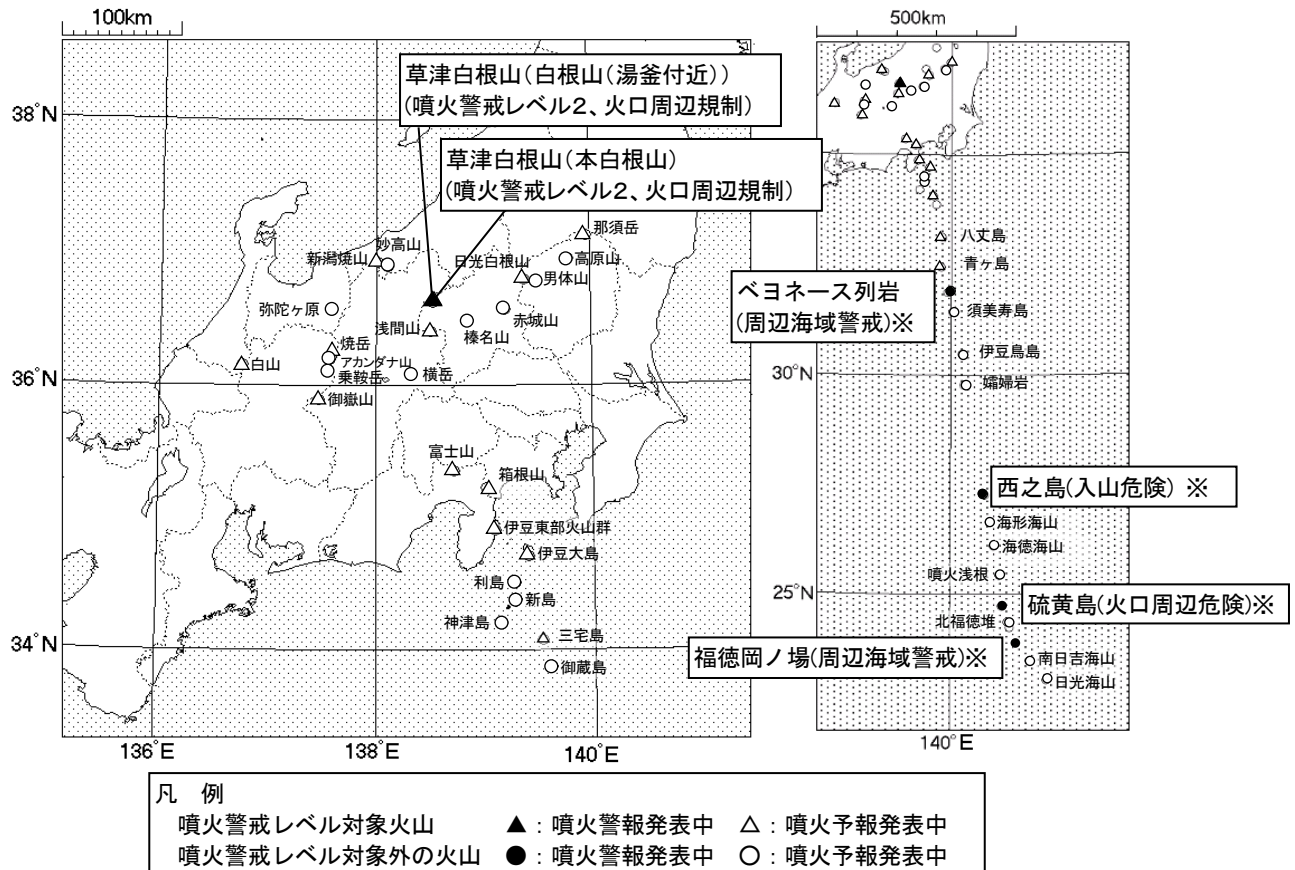
管内月間火山概況 (平成 30 年 8 月)

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況 (8月31日現在)

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル2 (火口周辺規制)	草津白根山 (白根山 (湯釜付近))、草津白根山 (本白根山)
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報 (周辺海域)	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1 (活火山であることに留意)	那須岳、日光白根山、浅間山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孺婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号: 平 29 情使、第 798 号)。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。浅間山では30日に、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

4月21日から急激に活発化した湯釜付近を震源とする火山性地震の活動は、5月に入り低下傾向にありましたが、5月下旬以降、火山性地震の発生頻度が高まり、7月頃から低下しつつも増減を繰り返しています。また、地震活動開始とほぼ同時期から湯釜周辺の傾斜計で観測されている地殻変動は、8月下旬頃から概ね停滞しています。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石¹⁾に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石¹⁾が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

草津白根山（本白根山）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

本白根山では、火口付近の地震活動が継続しています。

1月23日と同様な噴火が発生する可能性は否定できません。本白根山の火口から概ね1kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

浅間山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕 ←30日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ

浅間山では、火山性地震はやや少ない状態となり、浅間山の西側の膨張を示すと考えられる地殻変動もみられていません。また、山頂火口からの噴煙や火山ガス（二酸化硫黄）の放出量²⁾も少ない状態となっています。これらのことから、浅間山の火山活動は低下しており、火口から500mを超える範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断し、30日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。ただし、火口から500mの範囲に影響を及ぼす程度のごく小規模な噴火の可能性があります。火山灰噴出や火山ガス等に注意してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

噴煙活動及び地震活動は低下した状態が続いています。

しかしながら、新潟焼山はこれまでも噴気活動の活発化を繰り返しているため、今後の活動の推移には注意してください。山頂から半径1km以内（想定火口内）では、地元自治体等により立入規制が実施されています。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

弥陀ヶ原〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

立山地獄谷では熱活動が活発な状態が続いています。2012年6月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇が確認されていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

2017年8月上旬に、規模は小さいながらも浅部を震源とする低周波地震とともに噴気が観測されました。その後、低周波地震は観測されていませんが、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

乗鞍岳〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

噴煙活動や山頂直下付近の地震活動は緩やかな低下が続いており、火山活動の静穏化の傾向が続いています。

一方、2014 年に噴火が発生した火口列の一部の噴気孔では、引き続き噴気が勢いよく噴出しています。状況によっては、火山灰等のごく小規模な噴出が突発的に発生する可能性があります。

噴気活動の活発な噴気孔から概ね 500m の範囲では、突発的な火山灰等のごく小規模な噴出に注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に留意し、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調で、地殻変動観測でも特段の変化はみられていません。一方、大涌谷周辺の想定火口域では、噴気活動が活発なところがあります。大涌谷周辺の想定火口域では、噴気や火山ガスに引き続き注意してください。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地殻変動観測によると、短期的な膨張と収縮を繰り返しながら、長期的には地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いています。ただちに噴火の兆候は認められませんが、長期的には山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

新島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山ガス放出量は、2016 年 6 月以降は 1 日あたり数十トン以下に減少しており、少ない状態で経過しています。

主火口における噴煙活動が継続していることから、火口内では火山灰等が突発的に噴出する可能性がありますので、山頂火口内及び主火口から 500m 以内では火山灰噴出に警戒してください。

また、火山ガスの放出がわずかながら継続していることから、風下にあたる地域では火山ガスに注意してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

海上保安庁、第三管区海上保安本部によるこれまでの観測で、明神礁付近では火山活動によるとみられる変色水や気泡が時々観測されています。今後、小規模な海底噴火が発生する可能性がありますので、明神礁付近及び周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

7月12日に噴火が確認されましたが、7月下旬以降は確認されていません。18日に実施した第三管区海上保安本部による観測でも、噴火は認められませんでした。

2013年以降、噴火活動を繰り返しており、今後も噴火が再開する可能性が考えられます。火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

火山性地震が9月8日（期間外）から増加しています。また、GNSS³⁾ 連続観測では、地震活動と同時期から通常より大きな隆起が観測されています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域や沿岸では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 噴石は、その大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とはそれより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。
- 2) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた水蒸気や二酸化硫黄、硫化水素など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマが浅部へ上昇するとその放出量が増加します。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用しています。
- 3) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

○近畿・中国・四国地方の火山活動

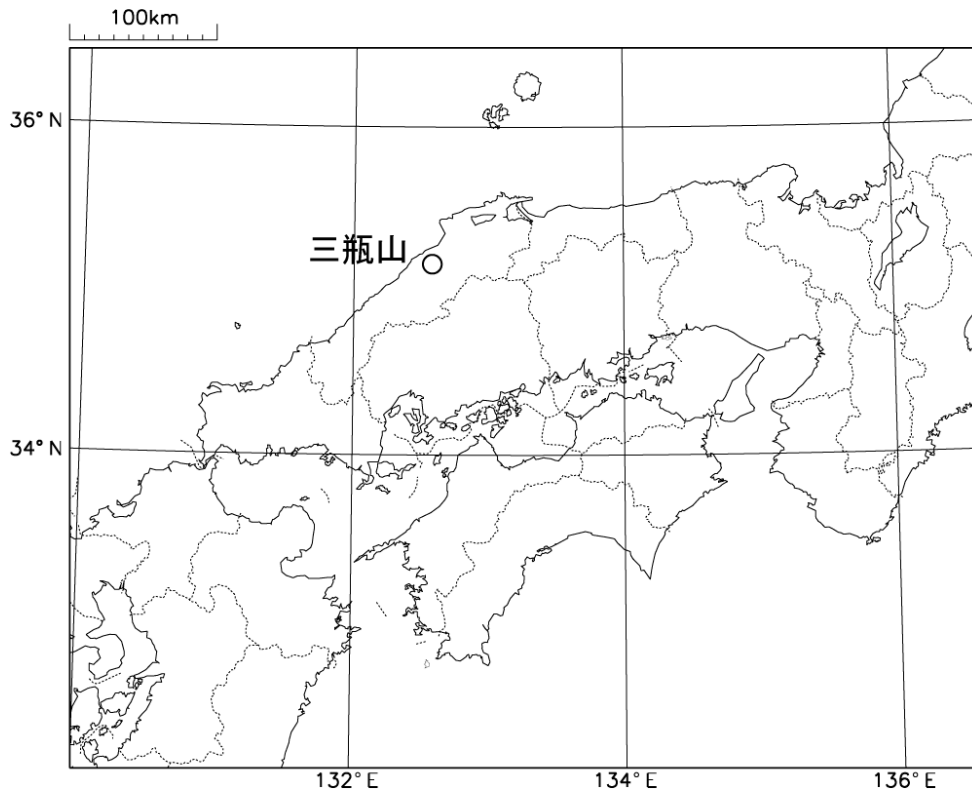
管内月間火山概況 (平成 30 年 8 月)

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

三瓶山〔噴火予報 (活火山であることに留意)〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号：平 29 情使、第 798 号)。

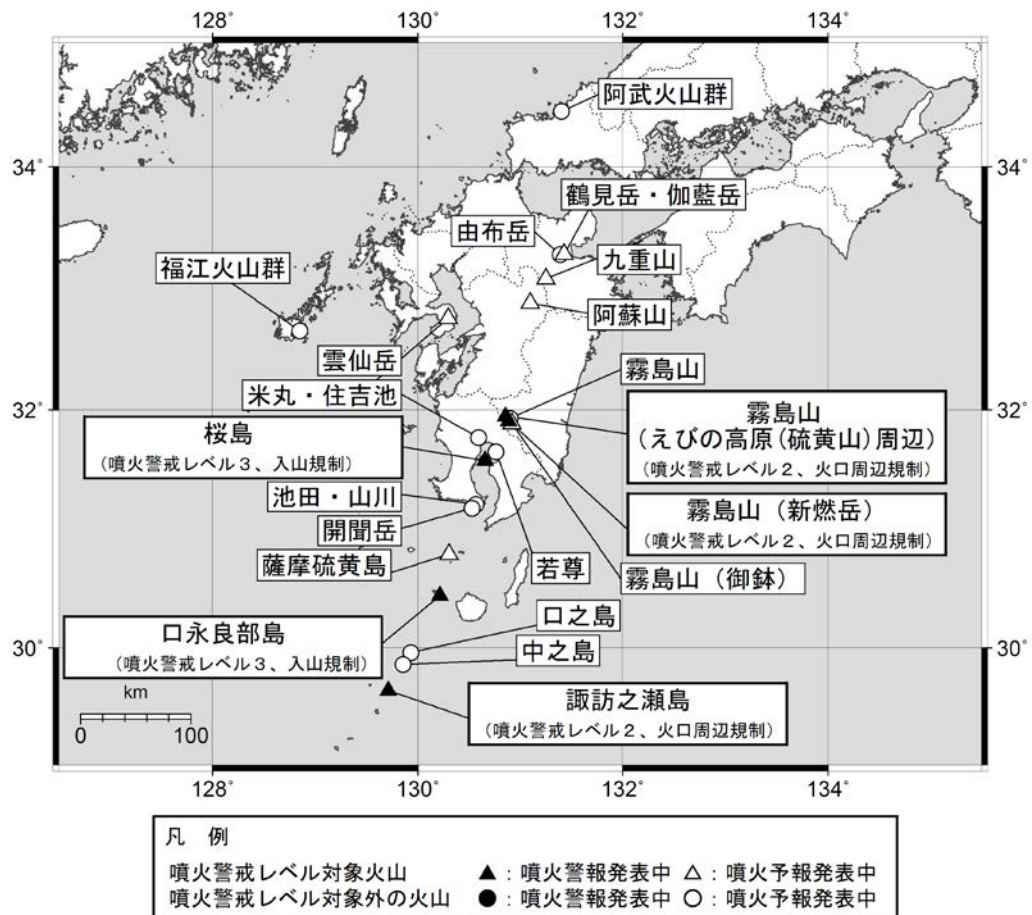
○九州地方の火山活動

管内月間火山概況 (平成 30 年 8 月)

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況 (8月31日現在)

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3 (入山規制)	桜島、口永良部島
	レベル2 (火口周辺規制)	霧島山 (えびの高原 (硫黄山) 周辺)、 霧島山 (新燃岳)、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1 (活火山であることに留意)	鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、 霧島山 (御鉢)、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、 霧島山、米丸・住吉池、 若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は福岡管区気象台ホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号：平 29 情使、第 798 号)。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

口永良部島では、15 日に噴火警報を発表し噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 4（避難準備）へ引上げました。また、29 日に火口周辺警報を発表し噴火警戒レベルを 4（避難準備）から 3（入山規制）へ引下げました。

その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、2017 年 6 月頃から B 型地震¹⁾ が時折発生しています。また、2014 年以降、硫黄山付近の噴気孔群地下の温度上昇を示唆する全磁力²⁾ の変化がみられています。これらのことから、わずかに火山活動が高まっている可能性があります。今後の火山活動に留意してください。

阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山性地震及び孤立型微動³⁾ は多い状態で経過し、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量⁴⁾ は概ねやや少ない状態で経過しました。その他の観測データに火山活動の高まりは認められませんでした。

火口内では土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010 年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ 1 ～ 2 km を震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

硫黄山の南側の火孔では、活発な噴気活動が続いています。硫黄山の西側 500m 付近では、5 月下旬以降、噴気活動は弱まった状態が続いています。

硫黄山付近の火山性地震は、概ねやや多い状態で経過しました。また、浅い所を震源とする低周波地震⁵⁾ は引き続き時々発生しています。えびの高原周辺（硫黄山以外）の火山性地震が、8 月下旬に増加しました。

硫黄山の南側では、引き続き湯だまりを確認しましたが、8 月下旬に湯だまりの大きさの縮小がみられました。現地調査では、硫黄山周辺の沢の水は、引き続き白濁していることを確認しました。

GNSS⁶⁾ 連続観測では、硫黄山近傍の基線で、6 月上旬から伸びの傾向が続いています。霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びは緩やかに継続しており、火山活動の長期化やさらなる活発化の可能性もあります。

硫黄山では、火山活動がやや高まった状態が継続しており、ごく小規模な噴火の可能性あります。えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石⁷⁾ に警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石⁷⁾（火山れき⁸⁾）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

霧島山（新燃岳） [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

新燃岳では 6 月 28 日以降、噴火は観測されていません。

火口直下を震源とする火山性地震は、26 日に 155 回と一時的に増加するなど、概ねやや多い状態で経過しました。浅い所を震源とする低周波地震も時々発生しています。振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が時々発生しました。

また、新燃岳火口の北東側 2.5km 付近を震源とする火山性地震が引き続き発生しています。

GNSS 連続観測では、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びは緩やか

に継続しており、火山活動の長期化やさらなる活発化の可能性もあります。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2 km まで、火砕流⁹⁾が概ね1 km まで達する噴火の可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2 km の範囲では警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。また、地元自治体等が発表する火山ガスの情報にも留意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

きりしまやま おはち
霧島山（御鉢）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

御鉢の火山活動に特段の変化はなく噴火の兆候は認められませんが、霧島山全体の火山活動が活発であることから、火口内で噴気や火山灰、火山ガス等の規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

さくらじま
桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

桜島では、活発な噴火活動が継続しています。

南岳山頂火口では、引き続き噴火¹⁰⁾（爆発的噴火¹¹⁾を含む）が発生しています。29日14時09分の噴火では、噴煙は火口縁上2,800mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で5合目（南岳山頂火口より1,000mから1,300m）まで達しました。

桜島では、今後も南岳山頂火口を中心に、噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

さつま いおうじま
薩摩 硫黄島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震は少ない状態でした。火山性微動は観測されていません。

火山活動に特段の変化はありませんが、硫黄岳山頂火口では噴煙活動が続いていますので、火山灰等が噴出する可能性があります。火口付近では火山ガスに注意してください。なお、地元自治体の実施している立入規制等に留意してください。

くちの えらぶじま
口永良部島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕 ←15日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から4（避難準備）へ引上げ、29日に噴火警戒レベルを4（避難準備）から3（入山規制）へ引下げ

口永良部島では、5日から火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が増加し、15日に新岳の西側山麓付近のやや深い場所で火山性地震が増加しました。地震の規模は最大でマグニチュード1.9（暫定値）とやや大きなものでした。この火山性地震の震源は2015年5月の噴火前に発生した地震と概ね同じ場所であると推定され、この時と同様の経過をたどれば、今後、火山活動が更に高まり、居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する可能性があるかと判断したことから、15日10時30分に噴火警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から4（避難準備）に引き上げました。

16日以降は新岳の西側山麓付近のやや深い場所を震源とする火山性地震は観測されていません。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量に更なる増加は認められていません。GNSS連続観測では、口永良部島島内の基線で顕著な変化は認められていません。16日以降に実施した山麓及び上空からの観測では、新岳火口及び新岳火口西側割れ目付近の噴煙や熱異常域の状況に特段の変化は認められませんでした。このように火山活動の更なる高まりは認められなかったことから、居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、29日10時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを4（避難準備）から3（入山規制）に引き下げました。

一方で、8月に入ってから、新岳火口付近のごく浅い場所を震源とする火山性地震が増減を繰り返し、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が多い状態で経過しているなど、火山活動が高まった状態となっていますので、新岳火口から概ね2 km に影響を及ぼす噴火の可能性があります。

新岳火口から概ね2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

おたけ

御岳 火口では、噴火は観測されませんでした。

諏訪之瀬島では、長期にわたり噴火を繰り返していることから、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 火山性地震のうち、P波、S波の相が不明瞭で、比較的周期が長く、火口周辺の比較的浅い場所で発生する地震と考えられています。火道内の火山ガスの移動やマグマの発泡など火山性流体の動きで発生すると考えられています。B型地震の増加は、山体浅部の火山活動の活発化を意味していることから発生状況には注意が必要です。
- 2) 火山体の南側で全磁力を観測した場合、全磁力値が減少すると火山体内部で温度上昇が、全磁力値が増加すると火山体内部で温度低下が生じていると推定されます。
- 3) 阿蘇山特有の微動で、火口直下のごく浅い場所で発生しており、周期 0.5～1.0 秒、継続時間 10 秒程度で、中岳西山腹観測点の南北動の振幅が $5 \mu\text{m/s}$ 以上のものを孤立型微動としています。通常、一日あたり 50～100 回発生しています。
- 4) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた二酸化硫黄、硫化水素や水蒸気など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマの蓄積の増加や浅部への上昇等でその放出量が増加します。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用しています。
- 5) 浅い場所を震源とする主に 1～3 Hz の低周波成分が卓越した火山性地震（B型地震）です。火山によっては、過去の事例から、火山活動が活発化すると多発する傾向がある事が知られています。
- 6) GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
- 7) 噴石については、その大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とはそれより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。
- 8) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現しています。
- 9) 火砕流とは、火山灰や岩塊、空気や水蒸気为一体となって急速に山体を流下する現象です。火砕流の速度は時速数十 km から時速百 km 以上、温度は数百℃にも達することがあります。
- 10) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的な噴火もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上 1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 11) 新燃岳・諏訪之瀬島では、火道内の爆発による地震を伴い、火口周辺の観測点で一定基準以上の空気の振動を観測した噴火を爆発的噴火としています。桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、気象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した噴火を爆発的噴火としています。

○沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況 (平成 30 年 8 月)

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

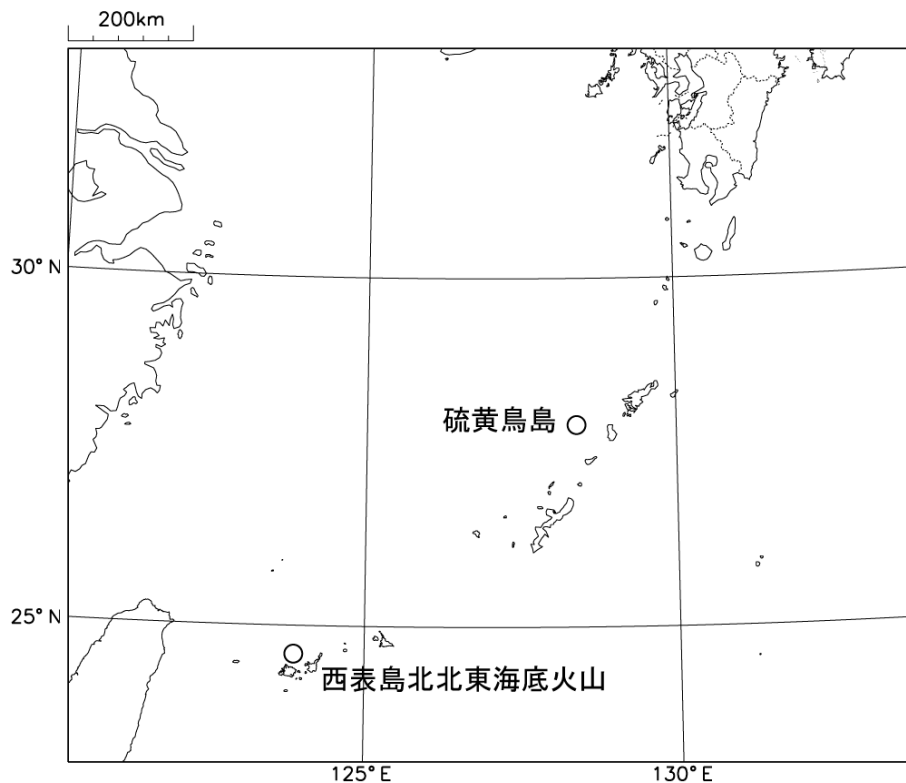
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

硫黄島 [噴火予報 (活火山であることに留意)]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山 [噴火予報 (活火山であることに留意)]

23 日に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

この資料は、第十一管区海上保安本部のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号：平 29 情使、第 798 号)。

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

表 平成30年8月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報		概 要
		種類、号数等	発表日時	
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第61号～69号	3日、6日、10日、 13日、17日、20日、 24日、27日、31日 16時00分	噴火の状況。噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
		降灰予報（速報）	5日 17時34分 26日 16時52分 28日 18時17分 29日 10時21分 29日 14時24分 31日 16時19分	噴火発生から1時間以内に予想される降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予想。
		降灰予報（詳細）	5日 17時43分 26日 17時09分 28日 18時29分 29日 10時33分 29日 14時35分 31日 16時32分	噴火発生から6時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第60号～61号	3日 16時00分 6日 16時00分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
		解説情報（臨時） 第62号～68号	8日 20時00分 9日 16時50分 10日～14日 16時00分	8日から増加した火山性地震の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
		火山活動解説資料	10日 16時30分	
	噴火警報 (噴火警戒レベル 4、避難準備)	噴火警報	15日 10時30分	2015年5月の噴火前（2015年1月）に発生した地震と概ね同じ場所が震源と推定される火山性地震が増加し、今後、火山活動が更に高まる可能性があるとの判断し、15日に噴火警報を発表し、噴火警戒レベルを4に引上げ。 噴煙、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
		解説情報 第69号～83号	15日 16時00分 16日 16時00分 17日 17時45分 17日 19時10分 18日～26日 16時00分 27日 16時20分 28日 16時00分	
		火山活動解説資料	15日 12時45分 18日 10時15分 24日 16時00分	
		火山現象に関する 海上警報	15日 10時40分	
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	火口周辺警報	29日 10時00分	火山活動の更なる高まりが認められていないことから、居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する可能性が低くなったと考えられることから、29日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3に引下げ。 噴煙、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
		火山活動解説資料	29日 10時00分	
		解説情報 第69号～83号	29日 16時00分 31日 16時00分	
		火山現象に関する 海上警報解除	29日 10時00分	

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

草津白根山 (白根山(湯釜付近))	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第100号～108号	3日、6日、10日、 13日、17日、20日、 24日、27日、31日 16時00分	熱活動、火山性地震等火山活動の状況。
草津白根山 (本白根山)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第100号～108号	3日、6日、10日、 13日、17日、20日、 24日、27日、31日 16時00分	噴気、火山性地震等火山活動の状況。
霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第68号～76号	3日、6日、10日、 13日、17日、20日、 24日、27日、31日 16時00分	噴気、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による熱異常域等の状況。
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第104号～114号	3日、6日、10日、 13日、17日、20日、 24日 16時00分 26日 09時10分 26日、27日、31日 16時00分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第4号～8号	3日、10日、17日、 24日、31日 16時00分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第62号～69号	3日、6日、10日、 13日、17日、20日、 24日、27日 16時00分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
	噴火予報(噴火警戒 レベル1、活火山で あることに留意)	噴火予報 火山活動解説資料	30日 11時00分 30日 11時00分	噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から 1(活火山であることに留意)に引下げ。
霧島山	噴火予報(活火山で あることに留意)	解説情報 第1号	29日 20時00分	29日に発生した大浪池の南西3km付近のごく浅いところが震源と推定される地震の状況。

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。草津白根山、霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)、霧島山(新燃岳)、桜島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。

●世界の主な地震

平成30年(2018年)8月に世界で発生したマグニチュード(M)6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

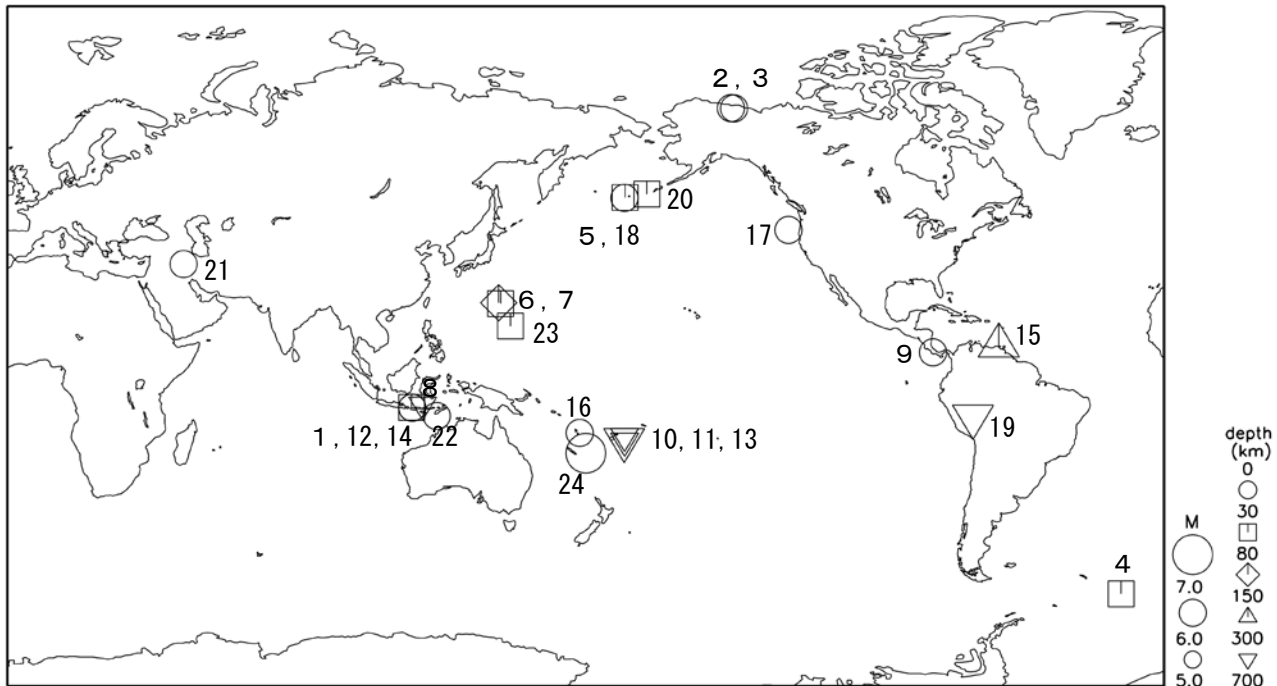


図1 平成30年(2018年)8月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 平成30年(2018年)8月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	05日20時46分	S08° 15.6'	E116° 26.2'	31			(6.9)	インドネシア スンバワ島付近	死者555人以上		○
2	12日23時58分	N69° 33.7'	W145° 18.0'	2	6.3*			アラスカ北部	MIはローカル		
3	13日06時15分	N69° 31.2'	W144° 21.6'	2	6.1*			アラスカ北部	マグニチュード		
4	14日12時29分	S58° 6.6'	W025° 15.5'	35			6.1	南サントイッチ諸島付近			
5	16日06時56分	N51° 25.3'	W178° 3.1'	20			6.6	アリューシャン列島アントリアノ諸島			
6	17日03時21分	N23° 27.8'	E143° 50.8'	44		6.3		硫黄島近海			
7	17日03時22分	N23° 41.9'	E143° 13.0'	11*		6.6	(6.4)	硫黄島近海		○	
8	18日00時35分	S07° 25.6'	E119° 50.0'	529			6.5	フロレス海			
9	18日08時22分	N08° 46.2'	W083° 9.2'	15			6.1	コスタリカ			
10	19日09時19分	S18° 6.8'	W178° 9.2'	600			(8.2)	フィジー諸島付近			○
11	19日09時23分	S18° 24.0'	W177° 60.0'	561	6.3			フィジー諸島付近			
12	19日13時10分	S08° 19.8'	E116° 35.9'	21			6.3	インドネシア スンバワ島付近			
13	19日13時28分	S16° 58.7'	W178° 2.0'	416			6.8	フィジー諸島付近			
14	19日23時56分	S08° 19.8'	E116° 37.9'	25			6.9	インドネシア スンバワ島付近	死者10人		
15	22日06時31分	N10° 51.3'	W062° 53.0'	154			(7.3)	ペネズエラ沿岸付近			○
16	22日07時32分	S16° 1.0'	E168° 9.2'	13			6.5	バヌアツ諸島			
17	22日18時31分	N43° 38.7'	W127° 36.2'	10			6.2	オレゴン沖			
18	23日12時35分	N51° 30.6'	W177° 52.9'	44			6.3	アリューシャン列島アントリアノ諸島			
19	24日18時04分	S11° 2.5'	W070° 49.0'	609			(7.1)	ペルー-ブラジル国境付近			○
20	26日01時50分	N52° 17.3'	W171° 11.1'	35			6.0	アリューシャン列島フォックスアイランド			
21	26日07時13分	N34° 39.8'	E046° 16.6'	10			6.0	イラン西部			
22	28日16時08分	S10° 51.6'	E124° 10.2'	9			6.2	インドネシア スマタラ島付近			
23	29日07時35分	N16° 45.6'	E146° 52.3'	60			6.4	マリアナ諸島		○	
24	29日12時51分	S22° 4.0'	E170° 3.0'	27			(7.1)	ローヤリティー諸島付近			○

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの”Earthquake Archive Search & URL Builder”(http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/)による(2018年9月3日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間[日本時間=協定世界時+9時間]である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報(NWPTA)(地震・火山月報(防災編)2005年5月号参照)を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。

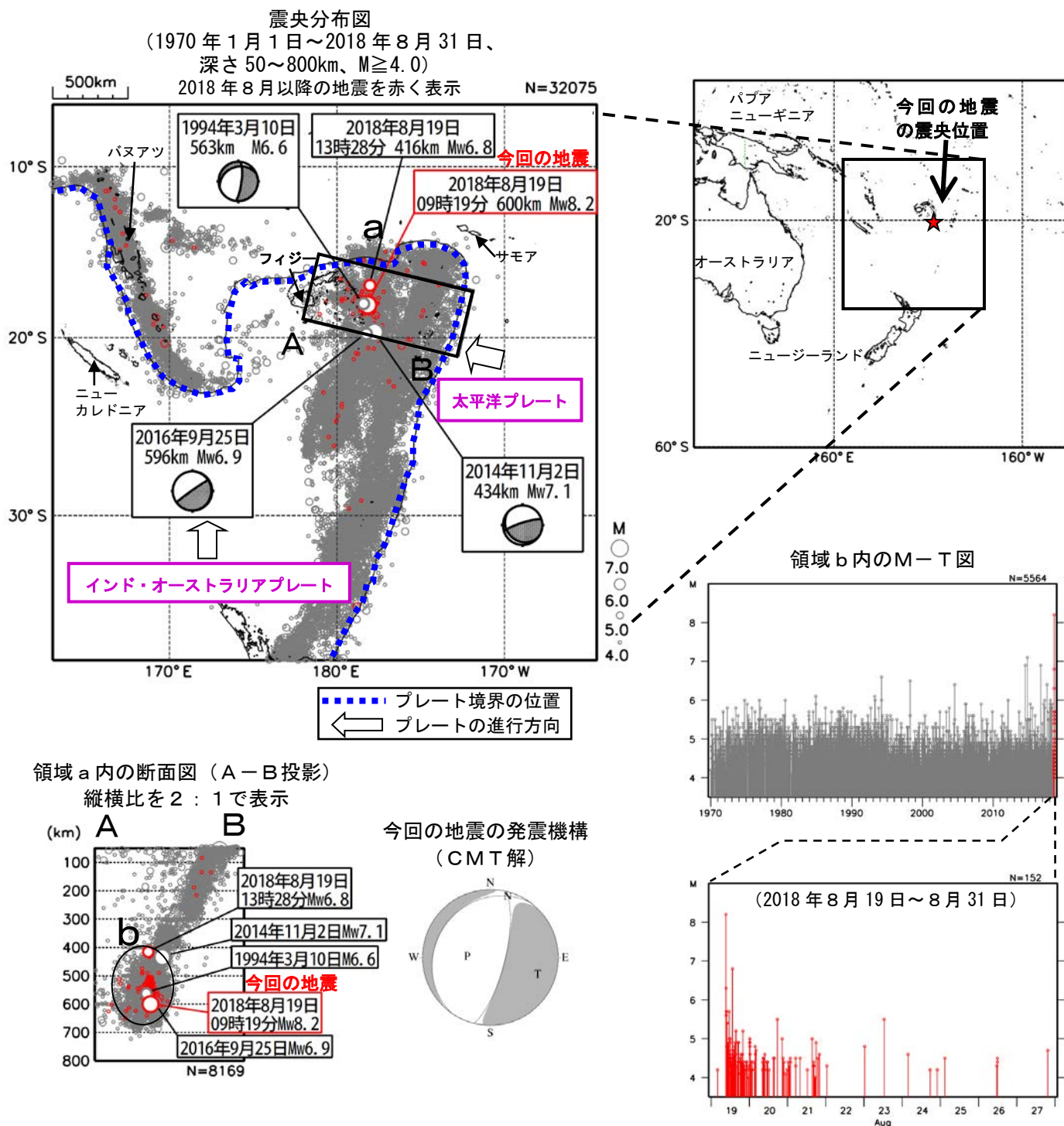
8月19日 フィジー諸島の地震

2018年8月19日09時19分(日本時間、以下同じ)にフィジー諸島の深さ600kmでMw8.2の地震が発生した。この地震の発震機構(気象庁によるCMT解)は、太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した地震である。

気象庁は、この地震に対して、同日09時45分に遠地震に関する情報(津波の心配なし)、同日10時07分に同情報(震源要素の訂正、津波の心配なし)を発表した。

今回の地震の震源付近(領域b)では、今回の地震の発生以降、地震活動が活発になり、同日13時28分にもMw6.8の地震が発生した。

1970年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震は度々発生しているものの、M8.0を超える地震は今回が初めてである。



※本資料中、今回の地震の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。また、1970年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2018年8月31日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)より引用。

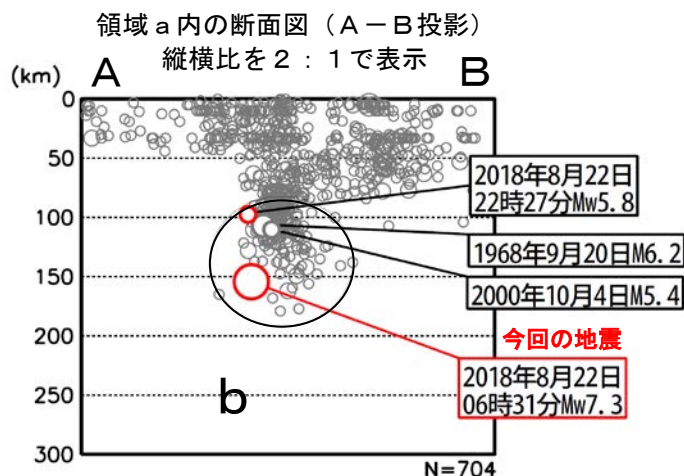
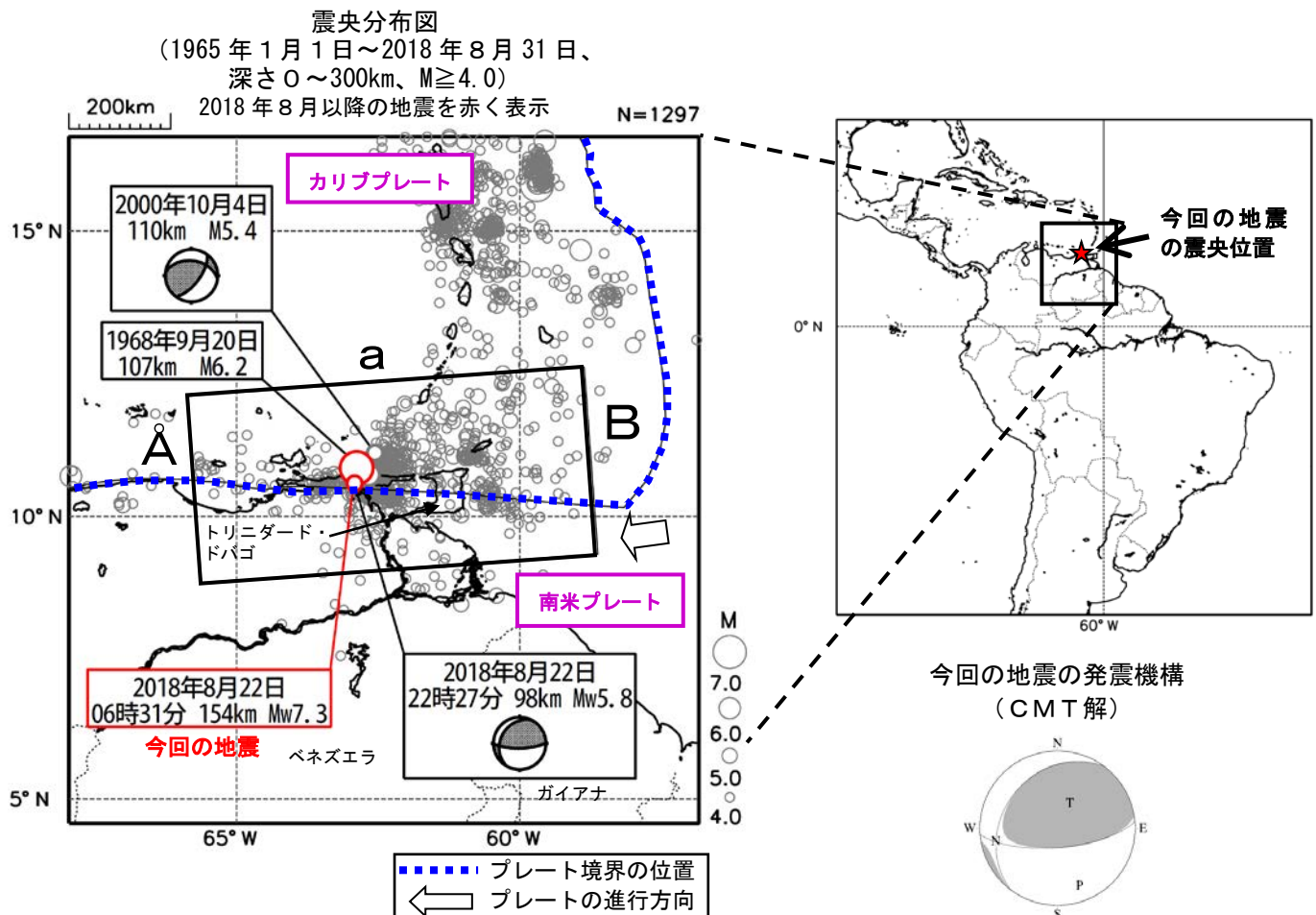
*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochimistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

8月22日 ベネズエラ沿岸の地震

2018年8月22日06時31分(日本時間、以下同じ)にベネズエラ沿岸の深さ154kmでMw7.3の地震が発生した。この付近には南米プレートとカリブプレートの境界があり、この地震は沈み込む南米プレートの内部で発生した。発震機構(気象庁によるCMT解)は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。気象庁は、この地震に対して、同日07時01分に遠地震に関する情報(津波の心配なし)を発表した。

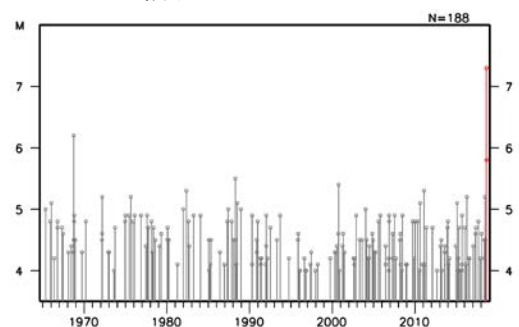
今回の地震の震源付近(領域b)では、今回の地震の発生以降、同日22時27分にMw5.8の地震が発生した。

1965年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震は時々発生しているものの、M7.0を超える地震は今回が初めてである。



断面図で震源が線状分布しているのは、震源の深さを10kmまたは33kmに固定して、震源を決定しているためである。

領域b内のM-T図



※本資料中、今回の地震の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。また、1965年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2018年8月31日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

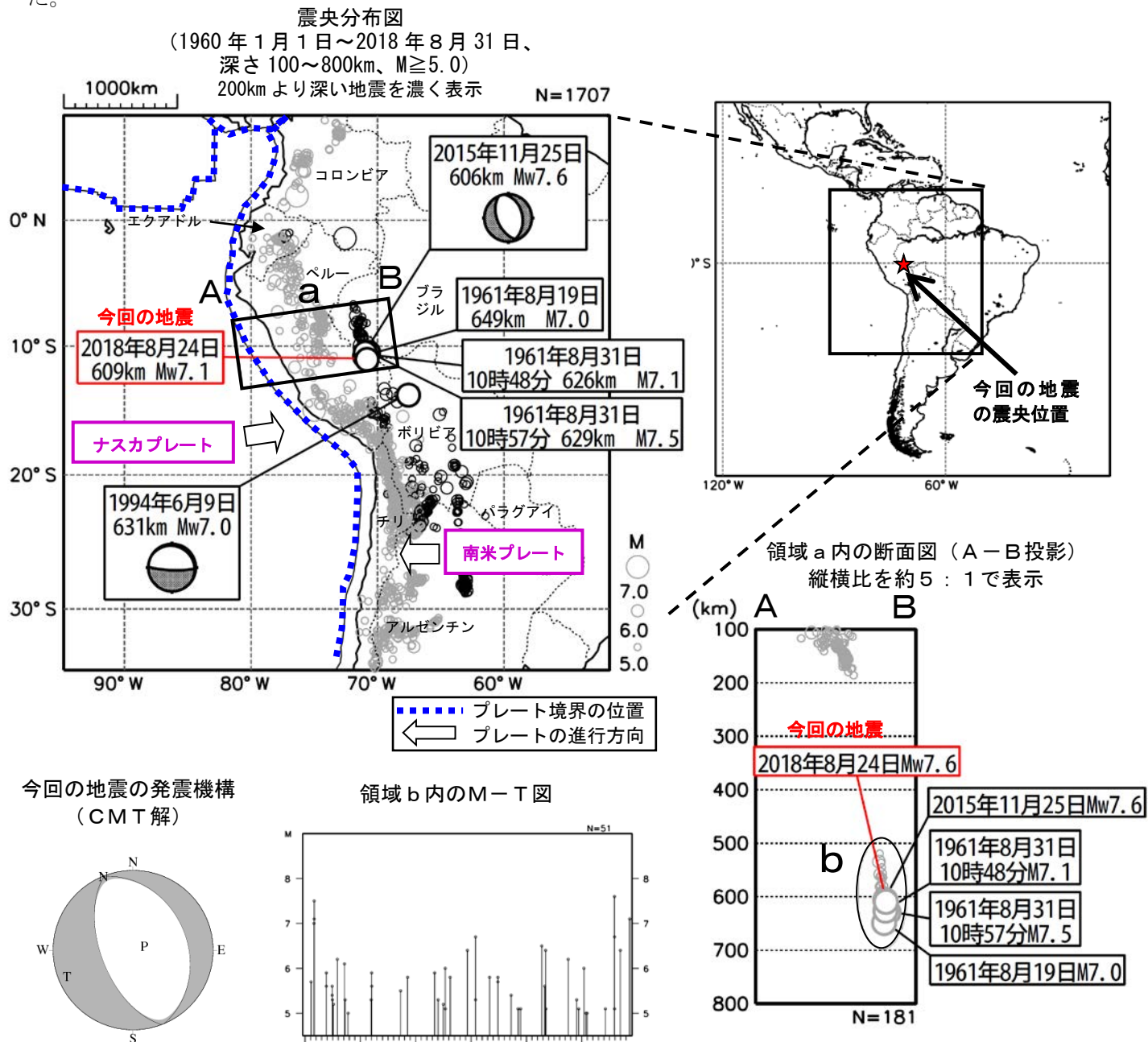
8月24日 ペルー／ブラジル国境の地震

2018年8月24日18時04分（日本時間、以下同じ）にペルー／ブラジル国境の深さ609kmでMw7.1の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、ナスカプレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型で、南米プレートの下に沈み込むナスカプレート内部で発生した地震である。

気象庁は、この地震に対して、同日18時31分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

1960年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M6.0以上の地震が度々発生している。今回の地震の震源付近では、1961年8月19日に深さ649kmでM7.0、同年8月31日にM7.1及びM7.5の地震が、ほぼ同じ場所で続けて発生している。また、2015年11月25日にもほぼ同じ場所でMw7.6の地震が発生した。

近隣のボリビアでは、1994年6月9日に深さ631kmでM7.0の地震が発生し、死者10人の被害が生じた。



※本資料中、今回の地震の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。また、1960年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2018年8月31日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）より引用。1994年6月9日の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

8月29日 ローヤリティー諸島南東方の地震

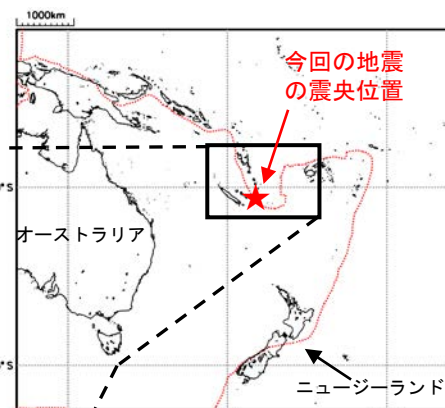
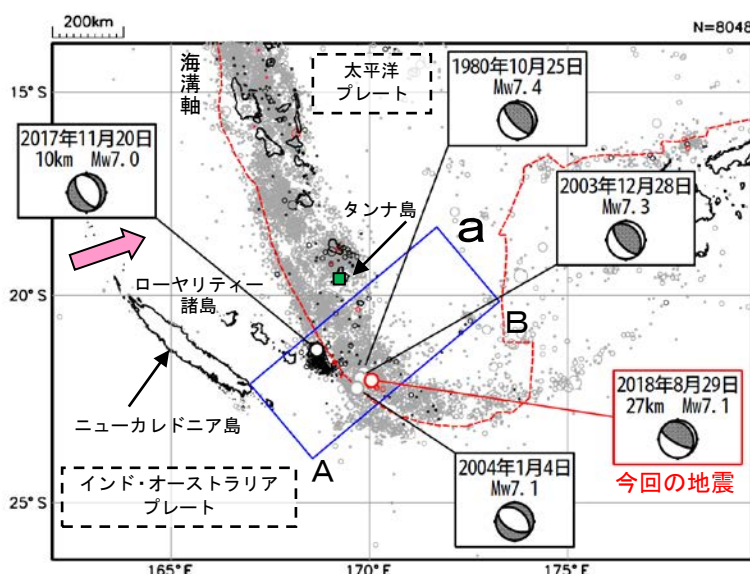
2018年8月29日12時51分(日本時間、以下同じ)にローヤリティー諸島南東方の深さ27kmでMw7.1の地震が発生した。この地震は発震機構(気象庁によるCMT解)が北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、インド・オーストラリアプレートと太平洋プレートの境界で発生した。気象庁は、この地震に対して29日13時11分に遠地地震に関する情報(日本への津波の影響なし)を発表した。この地震によりタンナ島(バヌアツ)のレナケルで27cmの津波を観測した。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震源周辺(領域b)では、インド・オーストラリアプレートの太平洋プレートへの沈み込みに伴い、M6.0以上の地震が時々発生するなど活発な地震活動がみられている。過去の活動をみると、2003年12月28日の地震(Mw7.3)前後で、海溝軸付近でまとまった地震活動がみられた。最近では、今回の地震の北西側で2017年11月20日にMw7.0の地震が発生するなど、10月終わりから11月にかけて地震活動が活発となった。

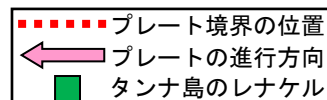
震央分布図

(1980年1月1日~2018年8月31日、
深さ0~300km、M $\geq$ 4.5)

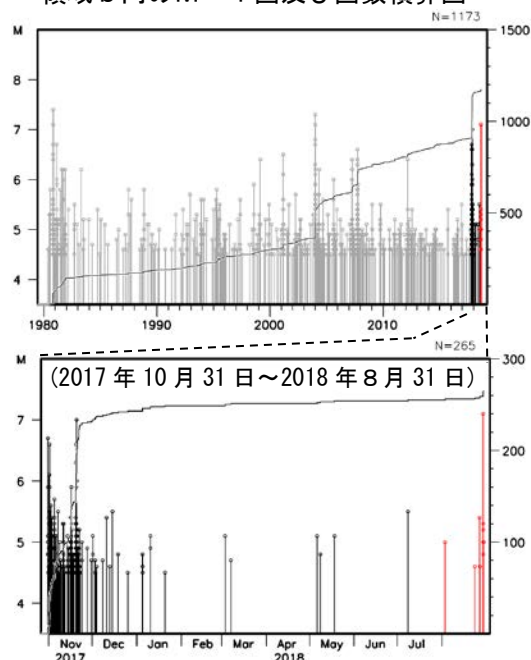
2017年10月以降の地震を濃く、2018年8月以降の地震を赤く表示



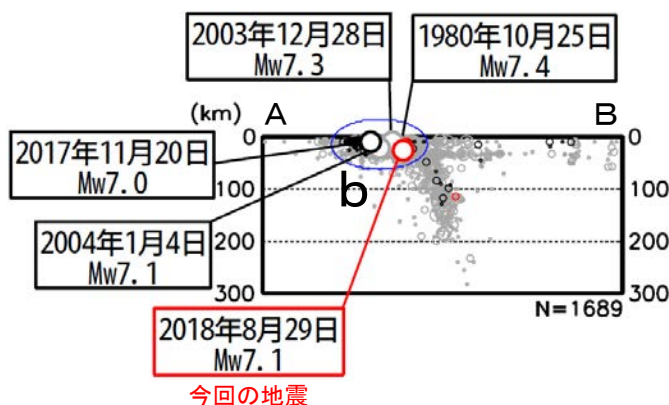
プレートの進行方向は、太平洋プレートを固定した場合の相対的な方向である。



領域b内のM-T図及び回数積算図



領域a内の断面図 (A-B投影)



断面図で震源が線状分布しているのは、震源の深さを10kmまたは33kmに固定して、震源を決定しているためである。

※本資料中、今回の地震及び2017年11月20日の地震の発震機構とMwは気象庁、その他の地震の発震機構とMwはGlobal CMTによる。その他の震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2018年8月31日現在)。津波の高さは、米国海洋大気庁(NOAA)による(2018年8月31日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird (2003) *より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

●世界の主な火山活動

平成30年(2018年)8月に被害を伴った噴火が報告された主な火山(日本を除く)*は以下のとおり。

今期間、被害を伴った噴火の報告はなかった。



図 平成30年(2018年)8月に被害を伴った噴火が発生した主な火山(日本を除く)*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report”(http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm)による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁:「火山観測指針(参考編)」による。

●特集. 2018年8月5日 インドネシア、スンバワの地震

(1) 概要

2018年8月5日20時46分(日本時間、以下同じ)にインドネシア、スンバワの深さ31kmでMw6.9の地震が発生した。この付近には、インド・オーストラリアプレートとユーラシアプレート(スンダプレート)の境界があるが、この地震は沈み込みに伴う地震ではなくスンダプレートの内部で発生した地震である。この地震は発震機構(気象庁によるCMT解)が南北方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

気象庁は、この地震に対して、同日21時19分に遠地震に関する情報(日本への津波の影響なし)を発表した。

この地震により、少なくとも死者555人の被害が生じた。今回の震央付近(領域a)では、同年7月29日にもMw6.4の地震が発生し、死者17人以上の被害が生じた。7月29日の地震の発生以降、地震活動が活発になり、今回の地震に続き、8月19日にもMw6.9の地震が発生し、死者10人の被害が生じた。

(8月29日現在、被害は国際連合人道問題調整事務所(OCHA)による)

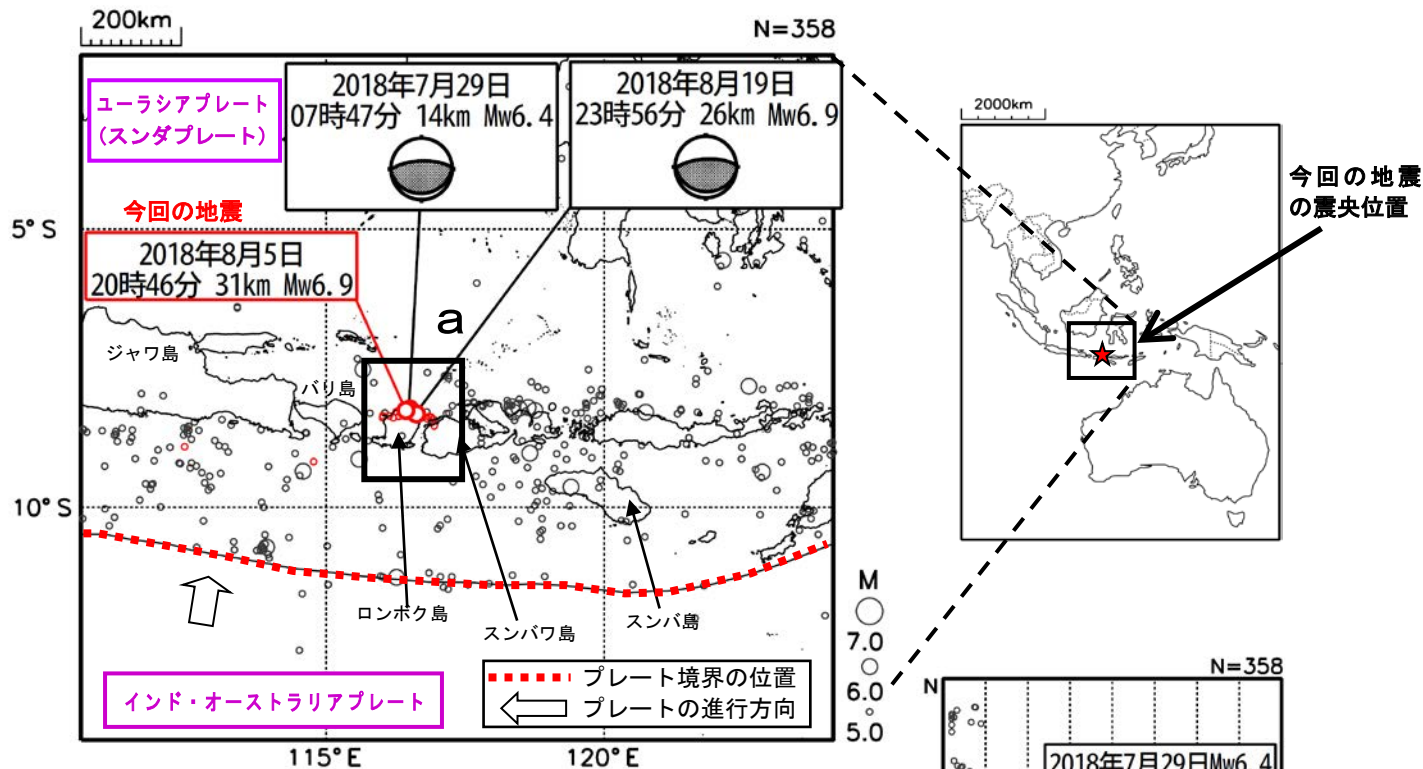


図1-1 震央分布図
(2000年1月1日～2018年8月31日、深さ0～400km、M≥5.0)
2018年7月29日以降の地震を赤く表示

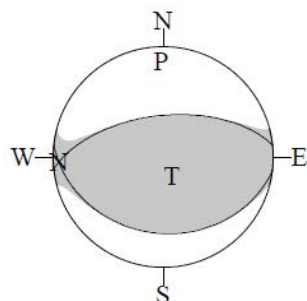


図1-3 今回の地震の発震機構
(気象庁によるCMT解)

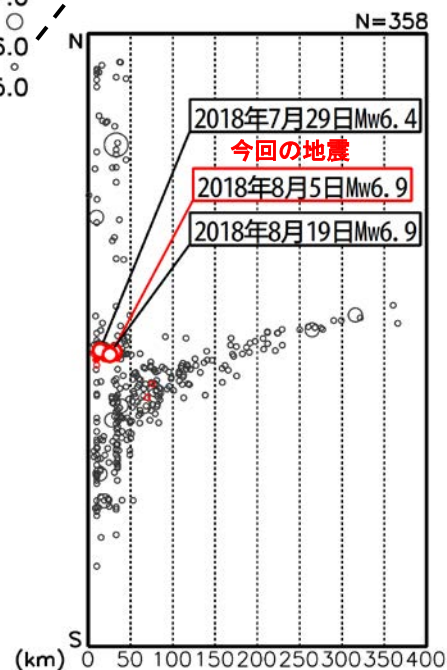


図1-2 図1-1の全領域の断面図
(南北投影)
縦横比を1:2として表示

※本資料中、今回の地震の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。また、1970年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2018年8月31日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

(2) 地震活動

ア. 今回の地震の発生場所の詳細と余震の発生状況

図2-1 領域a内の震央分布図
(2000年1月1日～2018年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)
2018年7月29日以降の地震を赤く表示
青色の▲は活火山を示す

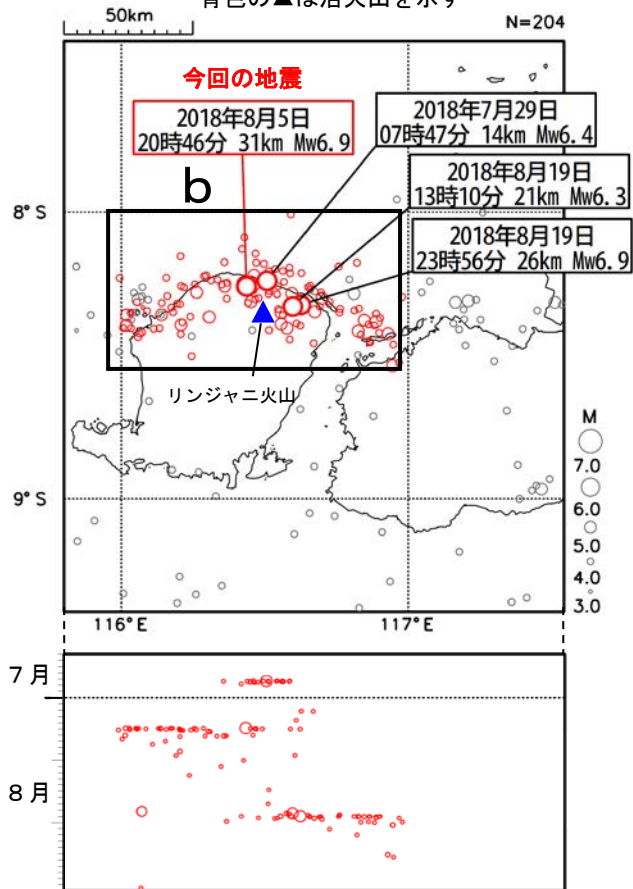


図2-2 領域a内の時空間分布図
(2018年7月25日～8月31日)

今回の地震の震央は、インドネシア中部の小スンダ列島ロンボク島北部にある。震央の南側にはリンジャニ火山がある。今回の地震のすぐ東側で、同年7月29日に Mw6.4 の地震が発生していた。さらに東側では8月19日に Mw6.0 以上の地震が2回発生した。

7月29日の Mw6.4 の地震の発生以降、8月31日までに発生した M3.0 以上の地震は、概ね今回の地震の震央を中心に東西方向に長さ約100km、幅約50kmの範囲に分布しており、今回の地震の発震機構 (CMT 解) から推定される断層面の走向と概ね調和的である。

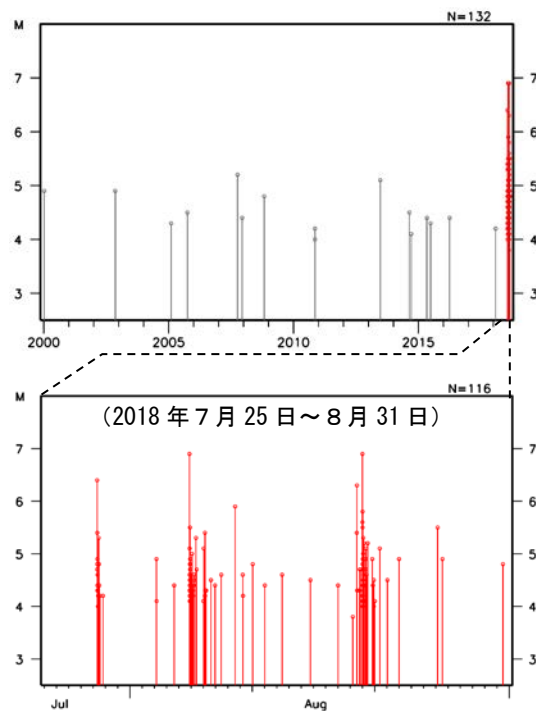


図2-3 領域b内のM-T図

イ. 過去に周辺で発生した主な地震

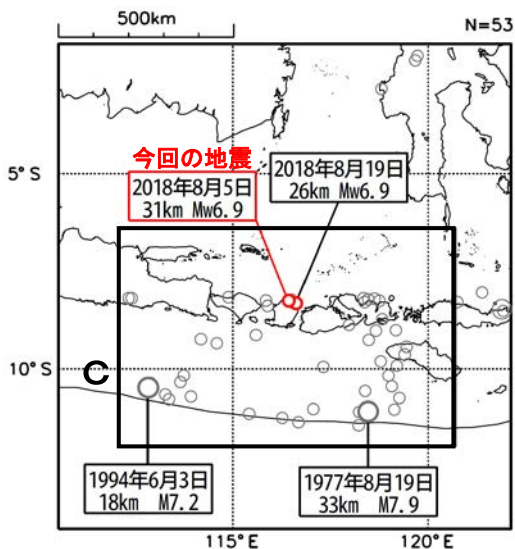
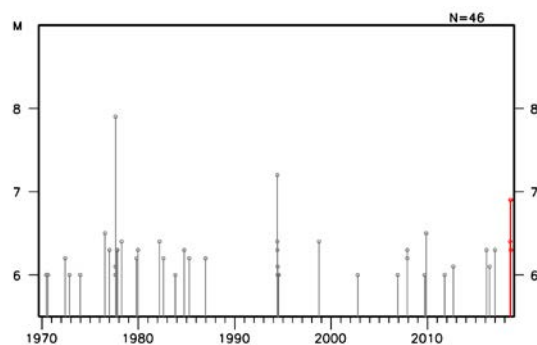


図2-3 震央分布図
(1970年1月1日～2018年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)
2018年7月29日以降の地震を赤く表示

1970年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域c) では、M6.0 以上の地震が度々発生している。1977年8月19日に Mw7.9 の地震が発生し、現地で死者189人の被害が生じた。また1994年6月3日には Mw7.2 の地震が発生し、死者277人の被害が発生した。



領域c内のM-T図

※本資料中、1977年8月19日の地震及び1994年6月3日の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。

●付録1. 震度1以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報(カタログ編) [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度(平成25年12月 地震・火山月報(防災編)の付録2参照)を記す。なお、*のついてる地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、(注)を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「D」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 02 07	熊本県阿蘇地方 熊本県 2 阿蘇市一の宮町*=1.5 1 南阿蘇村中松=1.1 阿蘇市内牧*=0.9 菊池市旭志*=0.8	32° 59.1' N	131° 04.7' E	9km	M: 2.8
2	1 04 00	長野県南部 長野県 2 長野高森町下市田*=1.5 1 飯田市上郷黒田*=1.2 飯田市南信濃*=1.2 泰阜村梨久保=1.0 喬木村役場*=1.0 飯田市高羽町=0.5	35° 23.4' N	137° 56.6' E	12km	M: 3.1
3	1 07 13	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村諏訪之瀬島*=0.6	29° 35.8' N	129° 45.7' E	0km	M: 2.1
4	1 07 21	宮古島近海 沖縄県 2 宮古島市上野支所*=1.5 1 宮古島市下地*=1.3 宮古島市城辺福北=1.2 宮古島市伊良部長浜*=0.8 宮古島市城辺福西*=0.6 宮古島市伊良部国仲=0.5 宮古島市平良西里*=0.5	24° 43.1' N	125° 24.0' E	47km	M: 3.6
5	1 13 01	福島県浜通り 茨城県 2 笠間市石井*=1.5 日立市助川小学校*=1.5 1 水戸市内原町*=1.3 東海村東海*=1.3 常陸大宮市山方*=1.3 大子町池田*=1.2 笠間市中央*=1.2 土浦市常名=1.2 桜川市羽田*=1.2 笠間市笠間*=1.1 筑西市門井*=1.1 日立市十王町友部*=1.1 城里町小勝*=1.0 石岡市柿岡=1.0 笠間市下郷*=1.0 常陸大宮市野口*=1.0 水戸市千波町*=0.9 常陸太田市高柿町*=0.9 常陸大宮市上小瀬*=0.9 ひたちなか市南神敷台*=0.9 筑西市舟生=0.8 小美玉市上玉里*=0.8 桜川市岩瀬*=0.8 鉾田市汲上*=0.8 小美玉市小川*=0.8 常陸太田市町屋町=0.7 かすみがうら市上土田*=0.7 行方市麻生*=0.7 小美玉市堅倉*=0.7 桜川市真壁*=0.7 石岡市若宮*=0.7 取手市寺田*=0.7 日立市役所*=0.7 つくば市研究学園*=0.6 つくば市小茎*=0.6 土浦市藤沢*=0.6 鉾田市造谷*=0.6 城里町石塚*=0.6 常陸大宮市北町*=0.6 水戸市金町=0.6 つくば市天王台*=0.5 北茨城市磯原町*=0.5 ひたちなか市東石川*=0.5 稲敷市江戸崎町*=0.5 栃木県 2 市貝町市塙*=1.6 1 那須烏山市中央=1.0 益子町益子=0.7 宇都宮市中里町*=0.5 茂木町茂木*=0.5 栃木那珂川町馬頭*=0.5 福島県 1 棚倉町棚倉中居野=1.0 矢祭町戸塚*=0.9 浅川町浅川*=0.8 いわき市錦町*=0.5 群馬県 1 桐生市黒保根町*=0.5 渋川市赤城町*=0.5	37° 00.7' N	140° 50.4' E	95km	M: 3.8
6	1 15 32	大阪府北部 大阪府 1 枚方市大垣内*=0.5	34° 49.9' N	135° 37.1' E	10km	M: 2.6
7	2 12 04	伊豆大島近海 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=0.8	34° 48.1' N	139° 17.5' E	8km	M: 2.3
8	2 12 11	伊豆大島近海 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=0.9	34° 48.1' N	139° 18.1' E	10km	M: 2.5
9	2 15 57	和歌山県北部 和歌山県 1 御坊市菌=0.9	33° 55.6' N	135° 13.0' E	8km	M: 2.3
10	2 16 14	沖縄本島近海 沖縄県 1 国頭村辺土名*=0.7	26° 47.3' N	128° 25.3' E	30km	M: 3.0
11	2 17 52	オホーツク海南部 青森県 1 階上町道仏*=0.6	45° 58.5' N	146° 27.9' E	341km	M: 4.4
12	2 21 08	伊豆大島近海 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=1.3	34° 48.1' N	139° 18.1' E	10km	M: 2.8
13	3 03 52	伊豆大島近海 静岡県 2 東伊豆町奈良本*=1.8	34° 47.9' N	139° 18.0' E	10km	M: 2.7
14	3 10 30	岩手県沖 青森県 1 階上町道仏*=0.7 八戸市内丸*=0.5	40° 17.6' N	142° 17.2' E	38km	M: 3.6

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
15	3 21 30	千葉県東方沖 千葉県	35° 32.8' N	141° 03.3' E	35km	M: 3.7
16	3 23 39	陸奥湾 青森県	40° 56.2' N	141° 12.7' E	9km	M: 3.2
17	4 05 05	福島県沖 福島県	36° 52.5' N	141° 18.4' E	34km	M: 4.0
18	4 09 44	大阪府北部 京都府	34° 54.6' N	135° 34.8' E	12km	M: 2.5
19	4 11 34	日高地方中部 北海道	42° 26.3' N	142° 33.3' E	0km	M: 2.9
20	5 06 25	栃木県北部 栃木県	36° 48.4' N	139° 37.1' E	7km	M: 2.6
21	5 16 41	栃木県南部 栃木県	36° 24.8' N	139° 47.1' E	88km	M: 3.7
22	5 17 44	青森県東方沖 青森県	41° 29.8' N	142° 00.7' E	62km	M: 4.2
23	6 05 48	紀伊水道 和歌山県	33° 52.0' N	135° 09.6' E	50km	M: 3.1
24	6 07 50	三陸沖 青森県 岩手県	40° 14.2' N	143° 31.1' E	11km	M: 4.6
25	6 19 56	千葉県東方沖 茨城県 千葉県	35° 33.1' N	141° 02.8' E	37km	M: 4.5
26	7 05 10	千葉県北西部 千葉県	35° 33.6' N	140° 10.3' E	73km	M: 4.2

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		東京都 2 芝山町小池※=1.0 野田市鶴奉※=1.0 八千代市大和田新田※=1.0 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷※=1.0 白井市復※=1.0 木更津市富士見※=1.0 旭市南堀之内※=1.0 南房総市富浦町青木※=1.0 山武市殿台※=1.0 東金市東新宿=1.0 富津市下飯野※=0.8 習志野市鷺沼※=0.8 館山市北条※=0.8 鴨川市横渚※=0.7 館山市長須賀=0.7 勝浦市墨名=0.7 長柄町大津倉=0.6 浦安市日の出=0.5 木更津市太田=0.5 成田市名古屋=0.5 勝浦市新官 ※=0.5 香取市佐原平田=0.5 1 八王子市堀之内※=1.5 1 東京渋谷区本町※=1.4 調布市西つつじヶ丘※=1.4 小平市小川町※=1.4 国分寺市戸倉=1.3 東京練馬区豊玉北※=1.2 東村山市本町※=1.1 東京杉並区桃井※=1.1 東京足立区神明南※=1.0 町田市忠生※=1.0 東京千代田区大手町=1.0 東京中野区中野※=1.0 東京北区西ヶ原※=1.0 東京世田谷区三軒茶屋※=0.9 東京北区神谷※=0.9 日野市神明※=0.9 東大和市中央※=0.8 多摩市関戸※=0.8 東京足立区伊興※=0.8 東京世田谷区世田谷※=0.8 国分寺市本多※=0.8 西東京市中町※=0.8 東京葛飾区立石※=0.7 東京江戸川区中央=0.7 東京江戸川区鹿骨※=0.7 町田市森野※=0.7 東京新宿区上落合※=0.7 東京新宿区百人町※=0.7 東京国際空港=0.7 東京大田区本羽田※=0.7 東京大田区多摩川※=0.7 東京世田谷区成城※=0.7 東京荒川区東尾久※=0.7 多摩市鶴牧※=0.6 東京江戸川区船堀※=0.6 東京渋谷区宇田川町※=0.6 東京中央区勝どき※=0.6 小金井市本町※=0.6 東京文京区大塚※=0.6 東京江東区越中島※=0.6 東京品川区平塚※=0.6 東京練馬区東大泉※=0.6 東京千代田区富士見※=0.5 三鷹市野崎※=0.5 東京港区海岸=0.5 東京新宿区西新宿=0.5 東京杉並区高井戸※=0.5 東京目黒区中央町※=0.5 茨城県 1 坂東市岩井=1.1 筑西市舟生=0.9 笠間市石井※=0.8 取手市寺田※=0.8 石岡市柿岡=0.6 土浦市常名=0.5 稲敷市江戸崎甲※=0.5 栃木県 1 市貝町市塙※=1.0 真岡市石島※=1.0 益子町益子=0.6 群馬県 1 渋川市赤城町※=0.6 埼玉県 1 草加市高砂※=1.2 春日部市粕壁※=0.9 吉川市きよみ野※=0.9 三郷市中央※=0.8 幸手市東※=0.8 川越市旭町=0.8 さいたま緑区中尾※=0.8 白岡市千駄野※=0.7 八潮市中央※=0.7 春日部市金崎※=0.7 春日部市谷原新田※=0.7 狭山市入間川※=0.7 宮代町笠原※=0.7 さいたま北区宮原※=0.7 さいたま大宮区天沼町※=0.7 久喜市下早見=0.7 朝霞市本町※=0.6 新座市野火止※=0.6 さいたま浦和区高砂=0.6 川口市三ツ和※=0.6 久喜市青葉※=0.5 さいたま見沼区堀崎※=0.5 さいたま南区別所※=0.5 加須市騎西※=0.5 神奈川県 1 横浜神奈川区広台太田町※=1.4 横浜神奈川区神大寺※=1.3 横浜港北区日吉本町※=1.3 横浜緑区十日市場町※=1.3 横浜青葉区市ケ尾町※=1.3 横浜保土ヶ谷区上菅田町※=1.2 横浜旭区川井宿町※=1.2 横浜青葉区榎が丘※=1.2 三浦市城山町※=1.1 愛川町角田※=1.1 相模原中央区上溝※=1.1 横浜鶴見区鶴見※=1.0 横浜港南区丸山台東部※=1.0 横浜瀬谷区中屋敷※=1.0 横浜瀬谷区三ツ境※=1.0 相模原緑区中野※=1.0 相模原緑区久保沢※=1.0 相模原緑区橋本※=1.0 横須賀市光の丘=0.9 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.9 湯河原町中央=0.9 横浜旭区今宿東町※=0.9 横浜鶴見区末広町※=0.9 横浜中区山手町=0.9 相模原中央区水郷田名 ※=0.8 箱根町湯本※=0.7 秦野市曽屋=0.5 山梨県 1 富士河口湖町長浜※=1.0 富士河口湖町船津=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本※=1.2 富士宮市野中※=1.0 伊豆市中伊豆グラウンド=0.9 伊豆の国市長岡※=0.7 沼津市戸田※=0.7 富士宮市弓沢町=0.7 熱海市網代=0.6				
27	7 09 00	茨城県南部 茨城県 1 土浦市常名=0.6	35° 55.8' N	140° 06.5' E	61km	M: 3.3
28	7 09 29	和歌山県北部 和歌山県 1 紀の川市粉河=0.5	34° 15.3' N	135° 25.8' E	7km	M: 1.8
29	7 11 01	和歌山県北部 和歌山県 1 紀の川市粉河=0.5	34° 15.3' N	135° 25.7' E	7km	M: 1.7
30	8 00 12	三陸沖 宮城県 3 石巻市桃生町※=2.6 2 南三陸町志津川=1.9 大崎市田尻※=1.9 気仙沼市笹が陣※=1.8 気仙沼市唐桑町※=1.7 涌谷町新町裏=1.7 気仙沼市赤岩=1.7 大崎市古川大崎=1.6 栗原市若柳※=1.5 登米市豊里町※=1.5 登米市迫町※=1.5 岩沼市桜※=1.5 1 登米市中田町=1.4 大崎市古川三日町=1.4 名取市増田※=1.4 蔵王町円田※=1.4 宮城川崎町前川※=1.4 東松島市矢本※=1.4 栗原市志波姫※=1.3 大崎市古川北町※=1.3 大崎市松山※=1.3 丸森町鳥屋※=1.3 石巻市大街道南※=1.3 石巻市北上町※=1.3 石巻市前谷地※=1.3 女川町女川浜※=1.3 栗原市栗駒=1.3 栗原市築館※=1.3 栗原市高清水※=1.2 亙理町下小路※=1.2 栗原市金成※=1.2 栗原市一迫※=1.2 登米市米山町※=1.2 宮城美里町北浦※=1.2 宮城美里町木間塚※=1.2 気仙沼市本吉町津谷※=1.2 仙台青葉区作並※=1.1 大崎市鳴子※=1.1 大崎市鹿島台※=1.1 栗原市瀬峰※=1.1 大衡村大衡※=1.1 角田市角田※=1.0 色麻町四蔵※=1.0 仙台北区将監※=0.9 石巻市泉町=0.9 宮城加美町中新田※=0.9 大河原町新南※=0.9 栗原市鶯沢※=0.9 東松島市小野※=0.9 松島町高城=0.9 山元町浅生原※=0.9 登米市東和町※=0.9 仙台宮城野区苦竹※=0.9 気仙沼市本吉町西川内=0.8 栗原市花山※=0.8 石巻市相野谷※=0.8 登米市石越町※=0.8 大崎市岩出山※=0.8 仙台空港=0.8 仙台宮城野区五輪=0.8 仙台青葉区大倉=0.7 南三陸町歌津※=0.7 大郷町粕川※=0.7 登米市登米町※=0.7 大和町吉岡※=0.6 仙台若林区遠見塚※=0.6 柴田町船岡=0.5 石巻市大瓜=0.5 白石市亙理町※=0.5 青森県 2 階上町道仏※=1.5 1 青森南部町苦米地※=1.2 八戸市南郷※=1.2 五戸町古館=1.1 八戸市湊町=1.1 東通村砂子又沢内※=1.0 七戸町森ノ上※=0.9 八戸市内丸※=0.8 野辺地町野辺地※=0.7 東北町上北南※=0.7 三戸町在府小路町※=0.7 岩手県 2 一関市千厩町※=1.7 花巻市東和町※=1.6 矢巾町南矢幅※=1.5 一関市藤沢町※=1.5 奥州市江刺※=1.5 北上市相去町※=1.5 1 釜石市中妻町※=1.4 住田町世田米※=1.4 盛岡市山王町=1.4 盛岡市浜民※=1.4 花巻市大迫町=1.4	37° 54.9' N	143° 56.3' E	50km	M: 5.6

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		奥州市前沢＊=1.4 盛岡市薮川＊=1.3 花巻市石鳥谷町＊=1.3 遠野市宮守町＊=1.3 金ケ崎町西根＊=1.3 平泉町平泉＊=1.3 大船渡市大船渡町=1.3 奥州市胆沢＊=1.3 一関市室根町＊=1.2 花巻市材木町＊=1.2 北上市柳原町=1.2 遠野市青笹町＊=1.2 八幡平市田頭＊=1.1 盛岡市馬場町＊=1.1 奥州市衣川＊=1.1 西和賀町沢内川舟＊=1.0 西和賀町沢内太田＊=1.0 宮古市田老＊=1.0 二戸市浄法寺町＊=1.0 山田町大沢＊=1.0 紫波町紫波中央駅前＊=1.0 一関市竹山町＊=1.0 一関市花泉町＊=1.0 一関市東山町＊=1.0 滝沢市鶴飼＊=1.0 一関市大東町=0.9 宮古市五月町＊=0.8 宮古市区界＊=0.8 陸前高田市高田町＊=0.8 奥州市水沢佐倉河＊=0.7 大船渡市猪川町=0.7 軽米町軽米＊=0.7 西和賀町川尻＊=0.7 大船渡市盛町＊=0.6 久慈市枝成沢=0.6 八幡平市大更=0.6 釜石市只越町=0.6 宮古市川井＊=0.6 九戸村伊保内＊=0.5 雫石町千刈田=0.5 葛巻町葛巻元木=0.5 奥州市水沢大鐘町=0.5 花巻市大迫総合支所＊=0.5 茨城県 2 笠間市石井＊=1.5 1 水戸市内原町＊=1.2 筑西市舟生=1.2 桜川市真壁＊=1.2 土浦市常名=1.1 土浦市藤沢＊=1.1 坂東市山＊=1.1 笠間市中央＊=1.0 石岡市柿岡=1.0 筑西市門井＊=1.0 桜川市岩瀬＊=1.0 笠間市笠間＊=0.9 東海村東海＊=0.9 大子町池田＊=0.9 城里町小勝＊=0.9 小美玉市小川＊=0.9 桜川市羽田＊=0.9 ひたちなか市南神敷台＊=0.8 常陸大宮市野口＊=0.8 小美玉市堅倉＊=0.8 つくば市天王台＊=0.8 つくば市研究学園＊=0.8 日立市助川小学校＊=0.8 笠間市下郷＊=0.8 美浦村受領＊=0.7 筑西市下中山＊=0.7 かすみがうら市上土田＊=0.7 常陸大宮市山方＊=0.7 常陸大宮市上小瀬＊=0.7 小美玉市上玉里＊=0.7 水戸市金町=0.6 取手市寺田＊=0.6 常陸大宮市北町＊=0.6 城里町石塚＊=0.6 坂東市岩井=0.5 稲敷市江戸崎甲＊=0.5 かすみがうら市大和田＊=0.5 鉾田市鉾田=0.5 北海道 1 函館市泊町＊=1.0 根室市瑤瑤瑠＊=0.5 安平町追分柏が丘＊=0.5 標茶町塘路＊=0.5 根室市牧の内＊=0.5 秋田県 1 大仙市刈和野＊=1.0 大仙市北長野＊=1.0 大仙市高梨＊=0.9 大仙市大曲花園町＊=0.7 大仙市神宮寺＊=0.6 仙北市角館町東勝楽丁=0.6 大仙市太田町太田＊=0.6 仙北市西木町上桧木内＊=0.5 仙北市角館町小勝田＊=0.5 山形県 1 尾花沢市若葉町＊=0.9 中山町長崎＊=0.8 米沢市林泉寺＊=0.6 新庄市東谷地田町=0.5 舟形町舟形＊=0.5 戸沢村古口＊=0.5 大石町緑町＊=0.5 福島県 1 古殿町松川新桑原＊=1.4 相馬市中村＊=1.4 白河市新白河＊=1.3 浪江町幾世橋=1.3 福島伊達市霊山町＊=1.2 いわき市三和町=1.2 檜葉町北田＊=1.2 玉川村小高＊=1.1 田村市大越町＊=1.1 双葉町両竹＊=1.1 国見町藤田＊=1.1 田村市船引町=1.0 鏡石町不時沼＊=1.0 天栄村下松本＊=1.0 新地町谷地小屋＊=0.9 郡山市湖南町＊=0.9 須賀川市岩瀬支所＊=0.9 二本松市油井＊=0.9 田村市都路町＊=0.9 泉崎村泉崎＊=0.8 田村市常葉町＊=0.8 福島市松木町=0.8 本宮市本宮＊=0.8 須賀川市八幡山＊=0.8 飯館村伊丹沢＊=0.8 南相馬市鹿島区西町＊=0.8 川俣町五百田＊=0.8 棚倉町棚倉中居野=0.7 小野町小野新町＊=0.7 福島市桜木町＊=0.7 いわき市平四ツ波＊=0.7 福島広野町下北迫大谷地原＊=0.7 大玉村南小屋=0.7 川内村上川内早渡＊=0.7 葛尾村落合落合＊=0.6 福島伊達市梁川町＊=0.6 郡山市朝日=0.6 富岡町本岡＊=0.6 白河市郭内=0.6 二本松市針道＊=0.5 大玉村玉井＊=0.5 石川町長久保＊=0.5 南相馬市原町区高見町＊=0.5 浅川町浅川＊=0.5 二本松市金色＊=0.5 栃木県 1 真岡市石島＊=1.4 大田原市湯津上＊=1.2 宇都宮市明保野町=1.0 足利市大正町＊=1.0 那須烏山市中央=0.9 益子町益子=0.8 真岡市田町＊=0.7 群馬県 1 渋川市赤城町＊=1.0 桐生市黒保根町＊=0.8 千代田町赤岩＊=0.8 邑楽町中野＊=0.8 大泉町日の出＊=0.7 沼田市西倉内町=0.6 前橋市富士見町＊=0.6 伊勢崎市今泉町＊=0.6 伊勢崎市西久保町＊=0.6 太田市粕川町＊=0.6 沼田市白沢町＊=0.5 桐生市元宿町＊=0.5 桐生市新里町＊=0.5 埼玉県 1 久喜市下早見=0.9 宮代町笠原＊=0.9 久喜市鷺宮＊=0.8 春日部市谷原新田＊=0.8 行田市本丸＊=0.7 加須市大利根＊=0.7 吉見町下細谷＊=0.7 春日部市金崎＊=0.7 幸手市東＊=0.7 行田市南河原＊=0.6 東松山市松葉町＊=0.6 熊谷市江南＊=0.5 嵐山町杉山＊=0.5 埼玉美里町木部＊=0.5 さいたま見沼区堀崎＊=0.5 千葉県 1 野田市鶴奉＊=1.1 東京都 1 東京杉並区高井戸＊=0.6 神奈川県 1 川崎宮前区宮前平＊=0.5				
31	8 06 04	千葉県東方沖 千葉県	35° 45.0' N	140° 52.7' E	10km	M: 3.4
		1 銚子市川口町=0.9 銚子市若宮町＊=0.7				
32	8 18 07	福島県沖 宮城県	37° 11.4' N	141° 11.7' E	21km	M: 4.9
		3 大崎市田尻＊=2.8 岩沼市桜＊=2.5 大崎市古川三日町=2.5 2 大崎市松山＊=2.4 宮城川崎町前川＊=2.4 石巻市桃生町＊=2.4 蔵王町円田＊=2.3 涌谷町新町裏=2.3 山元町浅生原＊=2.3 仙台青葉区作並＊=2.3 色麻町四竈＊=2.3 大崎市古川大崎=2.2 宮城加美町中新田＊=2.2 東松島市矢本＊=2.2 角田市角田＊=2.2 大崎市古川北町＊=2.1 宮城美里町木間塚＊=2.1 名取市増田＊=2.1 大崎市三本木＊=2.0 仙台北区将監＊=2.0 大河原町新南＊=2.0 塩竈市旭町＊=2.0 登米市米山町＊=2.0 大衡村大衡＊=2.0 亘理町下小路＊=2.0 登米市迫町＊=2.0 松島町高城=1.9 宮城美里町北浦＊=1.9 仙台青葉区大倉=1.9 村田町村田＊=1.9 仙台若林区遠見塚＊=1.9 仙台太白区山田＊=1.8 大崎市鹿島台＊=1.8 石巻市前谷地＊=1.8 白石市亘理町＊=1.8 栗原市清水＊=1.8 登米市中田町=1.8 丸森町鳥屋＊=1.8 仙台宮城野区五輪=1.7 丸森町上滝=1.7 柴田町船岡=1.7 仙台空港=1.7 東松島市小野＊=1.7 石巻市大街道南＊=1.7 大郷町粕川＊=1.6 栗原市若柳＊=1.6 栗原市築館＊=1.6 仙台宮城野区苦竹＊=1.6 仙台青葉区雨宮＊=1.5 富谷市富谷＊=1.5 仙台青葉区落合＊=1.5 利府町利府＊=1.5 栗原市瀬峰＊=1.5 1 栗原市一迫＊=1.4 登米市豊里町＊=1.4 南三陸町志津川=1.4 大崎市岩出山＊=1.4 宮城加美町小野田＊=1.3 栗原市志波姫＊=1.3 七ヶ浜町東宮浜＊=1.3 大和町吉岡＊=1.3 宮城加美町宮崎＊=1.2 石巻市泉町=1.2 石巻市北上町＊=1.2 石巻市相野谷＊=1.2 栗原市栗駒=1.1 気仙沼市笹が陣＊=1.1 栗原市金成＊=1.1 登米市東和町＊=1.1 多賀城市中央＊=1.1 気仙沼市赤岩=1.1 登米市登米町＊=1.1 大崎市鳴子＊=1.0 登米市石越町＊=1.0 女川町女川浜＊=0.9 登米市津山町＊=0.8				

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		山形県	栗原市花山*0.8 気仙沼市唐桑町*0.7 3 米沢市アルカディア*2.6 米沢市林泉寺*2.5 2 上山市河崎*2.3 米沢市金池*2.1 高島町高島*2.0 米沢市駅前=2.0 南陽市三間通*1.9 山形川西町上小松*1.7 村山市中央*1.7 山辺町緑ヶ丘*1.7 中山町長崎*1.7 西川町大井沢*1.7 山形朝日町宮宿*1.7 長井市ままの上*1.6 天童市老野森*1.6 東根市中央*1.6			
		福島県	1 河北町谷地=1.4 大石田町緑町*1.4 尾花沢市若葉町*1.2 白鷹町黒鴨=1.2 河北町役場*1.1 山形小国町岩井沢=1.1 飯豊町椿*1.1 山形小国町小国小坂町*1.0 戸沢村古口*1.0 飯豊町上原*1.0 山形市薬師町*0.9 舟形町舟形*0.9 山形市緑町=0.9 新庄市東谷地田町=0.8 最上町向町*0.8 山形市旅籠町*0.8 寒河江市西根*0.8 大蔵村清水*0.8 大江町左沢*0.8 寒河江市中央*0.7 鶴岡市温海川=0.6 庄内町狩川*0.6 3 白河市新白河*3.4 天栄村下松本*3.4 檜葉町北田*3.4 富岡町本岡*3.3 相馬市中村*3.2 玉川村小高*3.2 田村市滝根町*3.2 須賀川市岩瀬支所*3.0 福島広野町下北迫大谷地原*3.0 川内村上川内早渡*3.0 泉崎村泉崎*2.9 鏡石町不時沼*2.9 双葉町両竹*2.9 川内村上川内小山平*2.8 田村市大越町*2.8 大熊町野上*2.8 浪江町幾世橋=2.8 南相馬市鹿島区西町*2.8 いわき市三和町=2.7 郡山市開成*2.7 浅川町浅川*2.7 南相馬市鹿島区栴窪=2.7 福島広野町下北迫苗代替*2.7 白河市郭内=2.6 郡山市朝日=2.6 中島村滑津*2.6 白河市表郷*2.6 小野町小野新町*2.6 二本松市金色*2.6 二本松市針道*2.6 本宮市白岩*2.6 大玉村南小屋=2.6 郡山市湖南町*2.6 田村市船引町=2.5 須賀川市八幡町*2.5 田村市常葉町*2.5 田村市都路町*2.5 福島伊達市霊山町*2.5 本宮市本宮*2.5 葛尾村落合落合*2.5 新地町谷地小屋*2.5 飯館村伊丹沢*2.5 国見町藤田*2.5 須賀川市八幡山*2.5 2 白河市東*2.4 川俣町五百田*2.4 棚倉町棚倉中居野=2.4 南相馬市小高区*2.4 猪苗代町千代田*2.4 会津美里町新鶴庁舎*2.4 白河市大信*2.3 二本松市油井*2.3 大玉村玉井*2.3 西郷村熊倉*2.3 矢吹町一本木*2.3 石川町長久保*2.3 平田村永田*2.3 古殿町松川新桑原*2.3 喜多方市高郷町*2.3 西会津町登世島*2.3 福島市飯野町*2.2 小野町中通*2.2 会津若松市東栄町*2.2 喜多方市塩川町*2.2 桑折町東大隅*2.2 湯川村清水田*2.2 福島伊達市梁川町*2.1 南相馬市原町区高見町*2.1 会津若松市北会津町*2.1 須賀川市長沼支所*2.1 下郷町高隣*2.1 下郷町塩生*2.1 磐梯町磐梯*2.1 福島市五老内町*2.1 会津坂下町市中三番甲*2.1 白河市八幡小路*2.1 柳津町柳津*2.1 福島伊達市前川原*2.1 会津若松市材木町=2.0 福島市桜木町*2.0 西会津町野沢=2.0 猪苗代町城南=2.0 いわき市小浜=2.0 川内村下川内=2.0 南相馬市原町区三島町=2.0 福島伊達市保原町*1.9 福島伊達市月館町*1.9 いわき市平梅本*1.9 三春町大町*1.8 南相馬市原町区本町*1.8 いわき市平四ツ波*1.8 福島市松木町=1.8 喜多方市山都町*1.7 天栄村湯本支所*1.7 いわき市錦町*1.7 会津美里町高田庁舎*1.7 喜多方市御清水*1.6 会津美里町本郷庁舎*1.6 矢祭町戸塚*1.5 1 棚倉町棚倉館ヶ丘*1.4 古殿町松川横川=1.4 福島昭和村下中津川*1.3 塙町塙*1.3 会津若松市河東町*1.3 柳津町大成沢=1.3 二本松市小浜*1.2 鮎川村赤坂中野*1.2 三島町宮下*1.2 南会津町田島=1.2 喜多方市松山町*1.1 北塩原村北山*1.1 矢祭町東館*1.1 南会津町界*0.9 南会津町滝原*0.9 只見町黒谷*0.6 福島金山町川口*0.5 岩手県 2 一関市千厩町*1.6 一関市花泉町*1.6 1 矢巾町南矢幅*1.2 一関市室根町*1.2 一関市藤沢町*1.2 平泉町平泉*1.2 奥州市衣川*1.1 奥州市前沢*0.9 盛岡市藪川*0.9 北上市相去町*0.9 一関市竹山町*0.9 北上市柳原町=0.7 花巻市石鳥谷町*0.6 住田町世田米*0.6 宮古市田老*0.6 遠野市青笹町*0.6 大船渡市大船渡町=0.6 一関市東山町*0.6 盛岡市山王町=0.5 茨城県 2 東海村東海*1.6 1 日立市助川小学校*1.4 日立市十王町友部*1.4 笠間市石井*1.4 那珂市福田*1.3 城里町小勝*1.3 鉾田市汲上*1.3 常陸太田市金井町*1.2 高萩市安良川*1.2 笠間市中央*1.2 大子町池田*1.2 常陸大宮市山方*1.1 常陸大宮市野口*1.1 水戸市内原町*1.1 常陸太田市高柿町*1.1 高萩市本町*1.1 北茨城市磯原町*1.1 北茨城市中郷町*1.1 笠間市笠間*1.0 ひたちなか市南神敷台*1.0 常陸大宮市北町*1.0 常陸大宮市上小瀬*1.0 小美玉市上玉里*1.0 土浦市常名=1.0 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 潮来市堀之内=0.9 筑西市舟生=0.9 桜川市真壁*0.9 日立市役所*0.9 那珂市瓜連*0.9 城里町石塚*0.9 小美玉市小川*0.8 小美玉市堅倉*0.8 石岡市柿岡=0.8 茨城鹿嶋市宮中*0.8 水戸市千波町*0.8 筑西市門井*0.8 桜川市岩瀬*0.8 桜川市羽田*0.8 笠間市下郷*0.7 かすみがうら市上土田*0.7 水戸市金町=0.7 ひたちなか市東石川*0.7 稲敷市江戸崎甲*0.6 常陸大宮市中富町=0.6 鉾田市鉾田=0.6 常陸大宮市高部*0.6 つくば市天王台*0.6 常陸太田市町田町*0.5 取手市寺田*0.5 城里町阿波山*0.5 栃木県 2 那須町寺子*1.9 大田原市湯津上*1.7 那須塩原市塩原庁舎*1.7 日光市今市本町*1.5 那須塩原市中塩原*1.5 1 宇都宮市明保野町=1.4 那須塩原市あたご町*1.3 高根沢町石末*1.3 大田原市本町*1.2 那須塩原市鍋掛*1.2 宇都宮市中里町*1.2 日光市鬼怒川温泉大原*1.1 真岡市石島*1.1 市貝町市塙*1.1 芳賀町祖母井*1.1 那須烏山市中央=1.1 栃木那珂川町小川*1.0 矢板市本町*1.0 那須塩原市臺沼=1.0 那須塩原市共墾社*1.0 栃木那珂川町馬頭*0.9 日光市芹沼*0.9 益子町益子=0.9 日光市瀬川=0.8 大田原市黒羽田町=0.8 鹿沼市今宮町*0.8 栃木さくら市喜連川*0.8 真岡市田町*0.6 日光市藤原庁舎*0.5 新潟県 2 阿賀町鹿瀬中学校*1.9 阿賀町鹿瀬支所*1.6 阿賀町豊川*1.6 加茂市幸町*1.5 燕市秋葉町*1.5 1 田上町原ヶ崎新田*1.4 阿賀町津川*1.4 新潟秋葉区新津東町*1.4 見附市昭和町*1.3 五泉市太田*1.3 弥彦村矢作*1.3 阿賀野市岡山町*1.2 阿賀野市姥ヶ橋*1.2 新潟南区白根*1.2 長岡市小島谷*1.1 長岡市中之島*1.1 新発田市住田*1.1 燕市分水桜町*1.1 長岡市上岩井*1.0 阿賀野市かがやき*1.0 三条市西裏館*0.8 魚沼市須原*0.8 燕市吉田西太田*0.8 新潟西区寺尾東*0.8 長岡市寺泊敦ヶ曽根*0.7			

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		長岡市与板町与板※=0.7 三条市新堀※=0.7 新潟中央区美咲町=0.7 出雲崎町米田=0.7 村上市府屋※=0.6 五泉市村松乙=0.6 阿賀野市山崎※=0.6 新潟空港=0.6 新潟江南区泉町※=0.6 新潟西蒲区役所=0.6 南魚沼市六日町=0.5 長岡市寺泊一里塚※=0.5 五泉市愛宕甲※=0.5 関川村下関※=0.5 1 階上町道仏※=0.7 1 渋川市赤城町※=0.9 邑楽町中野※=0.5 1 香取市役所※=1.0 香取市佐原平田=0.7				
33	9 01 07	有明海 熊本県	32° 47.6' N	130° 32.2' E	11km	M: 3.0 1 熊本西区春日=1.1 玉名市天水町※=0.8 熊本北区植木町※=0.8 玉名市横島町※=0.5
34	9 01 18	有明海 長崎県 熊本県	32° 47.5' N	130° 32.1' E	11km	M: 2.8 1 島原市有明町※=0.6 1 熊本西区春日=0.6
35	9 04 09	薩摩半島西方沖 鹿児島県	31° 54.2' N	129° 54.5' E	11km	M: 3.2 2 薩摩川内市上甕町※=1.7 薩摩川内市里町※=1.7
36	9 17 15	鳥取県中部 鳥取県	35° 25.7' N	133° 49.3' E	10km	M: 3.0 1 北栄町土下※=1.3 湯梨浜町龍島※=1.0 北栄町由良宿※=0.8
37	9 17 32	富山湾 石川県	37° 10.9' N	137° 05.1' E	15km	M: 3.2 1 七尾市能登島向田町※=1.1 穴水町大町※=1.1 七尾市本府中町=0.9
38	9 23 14	北海道東方沖 北海道	43° 07.4' N	147° 08.4' E	38km	M: 4.7 1 根室市落石東※=1.3 根室市瑤瑤※=1.0 別海町常盤=0.5
39	10 05 18	宮古島近海 沖縄県	24° 45.2' N	125° 04.8' E	22km	M: 3.3 1 宮古島市伊良部長浜※=1.4 宮古島市伊良部国仲=1.3 宮古島市下地※=0.8 宮古島市平良下里=0.5
40	10 08 27	福島県沖 福島県	37° 00.2' N	141° 27.9' E	51km	M: 3.8 2 双葉町両竹※=1.7 川内村上川内早渡※=1.5 福島広野町下北迫大谷地原※=1.5 1 浪江町幾世橋=1.2 富岡町本岡※=1.1 大熊町野上※=1.0 川内村上川内小山平※=1.0 川内村下川内=0.9 檜葉町北田※=0.8 田村市都路町※=0.8 田村市滝根町※=0.8 葛尾村落合落合※=0.8 いわき市三和町=0.6
41	10 21 18	駿河湾 静岡県	34° 52.8' N	138° 22.8' E	22km	M: 4.4 3 静岡駿河区曲金=2.9 牧之原市静波※=2.7 2 焼津市宗高※=2.4 静岡葵区駒形通※=2.2 藤枝市岡部町岡部※=2.1 静岡葵区追手町県庁※=2.1 静岡葵区追手町市役所※=2.1 河津町田中※=2.0 下田市中※=2.0 南伊豆町下賀茂※=1.9 吉田町住吉※=1.9 松崎町江奈※=1.9 東伊豆町奈良本※=1.9 焼津市本町※=1.9 静岡菊川市赤土※=1.9 御前崎市御前崎=1.8 藤枝市岡出山※=1.8 西伊豆町仁科※=1.7 島田市中央町=1.7 伊豆の国市長岡※=1.6 西伊豆町一色※=1.5 牧之原市鬼女新田=1.5 1 熱海市網代=1.4 西伊豆町字久須※=1.4 藤枝市瀬戸新屋※=1.4 富士宮市野中※=1.3 長泉町中土狩※=1.3 島田市金谷代官町※=1.3 東伊豆町稲取※=1.3 伊豆の国市田京※=1.2 静岡清水区千歳町=1.2 川根本町東藤川※=1.2 三島市東本町=1.1 富士市吉永※=1.1 函南町平井※=1.1 伊豆市中伊豆グラウンド=1.1 伊豆の国市四日町※=1.1 沼津市戸田※=1.1 袋井市浅名※=1.1 沼津市高島本町※=1.0 掛川市西大淵※=1.0 掛川市三俣※=1.0 南伊豆町入間※=1.0 御前崎市池新田※=1.0 島田市川根町家山=1.0 掛川市長谷※=0.9 袋井市新屋=0.9 下田市加増野=0.9 熱海市泉※=0.9 静岡菊川市堀之内※=0.9 熱海市中央町※=0.9 沼津市御幸町※=0.8 静岡葵区梅ヶ島※=0.7 富士市大淵※=0.7 静岡清水町堂庭※=0.7 湖西市新居町浜名※=0.6 静岡清水区蒲原新栄※=0.6 掛川市篠場=0.6 南伊豆町石廊崎=0.5 富士宮市弓沢町=0.5 東京都 神奈川県 山梨県 長野県 愛知県 1 神津島村金長=0.6 新島村大原=0.6 神津島村役場※=0.5 1 湯河原町中央=1.1 相模原緑区中野※=0.8 山北町山北※=0.5 1 山梨南部町栄小学校※=0.5 富士河口湖町船津=0.5 1 泰阜村役場※=1.1 阿南町東条※=0.7 下條村睦沢※=0.5 1 新城市矢部=1.1
42	10 22 03	駿河湾 静岡県	34° 52.4' N	138° 23.3' E	22km	M: 2.6 1 静岡駿河区曲金=0.5
43	10 22 28	駿河湾 静岡県	34° 52.9' N	138° 22.9' E	21km	M: 2.5 1 静岡駿河区曲金=0.7
44	10 22 51	釧路地方中南部 北海道	43° 29.3' N	144° 05.3' E	3km	M: 2.1 1 釧路市阿寒町阿寒湖温泉※=0.8
45	11 06 11	福島県沖 福島県	37° 09.4' N	141° 11.7' E	20km	M: 5.0 4 檜葉町北田※=3.5 3 天栄村下松本※=3.1 相馬市中村※=3.0 福島広野町下北迫大谷地原※=3.0 富岡町本岡※=3.0 須賀川市岩瀬支所※=2.9 川内村上川内早渡※=2.9 双葉町両竹※=2.9 泉崎村泉崎※=2.7 白河市新白河※=2.7 玉川村小高※=2.6 浅川町浅川※=2.6 田村市大越町※=2.6 田村市都路町※=2.6 田村市滝根町※=2.6 いわき市小名浜=2.6 鏡石町不時沼※=2.6 川内村上川内小山平※=2.6

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		中島村滑津※=2.6 棚倉町棚倉中居野=2.6 浪江町幾世橋=2.6 新地町谷地小屋※=2.6 福島広野町下北迫苗代替※=2.5 南相馬市鹿島区栢窪=2.5 2 郡山市開成※=2.4 白河市東※=2.4 須賀川市八幡町※=2.4 桑折町東大隅※=2.4 国見町藤田※=2.4 川俣町五百田※=2.4 古殿町松川新桑原※=2.4 田村市船引町=2.4 田村市常葉町※=2.4 いわき市三和町=2.4 大熊町野上※=2.4 喜多方市塩川町※=2.4 猪苗代町千代田※=2.4 福島市五老内町※=2.3 郡山市朝日=2.3 小野町中通※=2.3 郡山市湖南町※=2.3 本宮市本宮※=2.3 白河市表郷※=2.3 いわき市平梅本※=2.3 南相馬市鹿島区西町※=2.3 二本松市針道※=2.3 白河市郭内=2.2 福島伊達市霊山町※=2.2 大玉村南小屋=2.2 須賀川市八幡山※=2.2 飯館村伊丹沢※=2.2 小野町小野新町※=2.2 磐梯町磐梯※=2.2 会津美里町新鶴庁舎※=2.2 川内村下川内=2.1 平田村永田※=2.1 本宮市白岩※=2.1 西会津町登世島※=2.1 いわき市平四ツ波※=2.1 湯川村清水田※=2.1 いわき市錦町※=2.1 二本松市金色※=2.0 二本松市油井※=2.0 葛尾村落合落合※=2.0 白河市大信※=2.0 南相馬市原町区高見町※=2.0 福島伊達市前川原※=2.0 南相馬市小高区※=2.0 福島伊達市梁川町※=2.0 福島市松木町=2.0 須賀川市長沼支所※=2.0 猪苗代町城南=2.0 大玉村玉井※=2.0 矢吹町一本木※=2.0 福島市桜木町※=1.9 南相馬市原町区三島町=1.9 福島伊達市保原町※=1.9 西郷村熊倉※=1.9 会津若松市東栄町※=1.9 福島伊達市月舘町※=1.9 矢祭町戸塚※=1.9 石川町長久保※=1.9 会津坂下町市中三番甲※=1.9 柳津町柳津※=1.8 古殿町松川横川=1.8 喜多方市高郷町※=1.8 福島市飯野町※=1.8 会津若松市材木町=1.7 白河市八幡小路※=1.7 会津若松市北会津町※=1.6 喜多方市御清水※=1.6 西会津町野沢=1.6 矢祭町東館※=1.6 南相馬市原町区本町※=1.6 下郷町高蔭※=1.5 下郷町塩生※=1.5 鮫川村赤坂中野※=1.5 天栄村湯本支所※=1.5 1 三春町大町※=1.4 喜多方市山都町※=1.4 会津美里町本郷庁舎※=1.4 塙町塙※=1.3 会津美里町高田庁舎※=1.3 棚倉町棚倉館ヶ丘※=1.3 会津若松市河東町※=1.2 北塩原村北山※=1.0 南会津町滝原※=0.9 福島昭和村下中津川※=0.9 喜多方市松山町※=0.8 二本松市小浜※=0.8 南会津町田島=0.8 三島町宮下※=0.7 柳津町大成沢=0.6 南会津町界※=0.5 3 大崎市田尻※=2.9 山元町浅生原※=2.6 仙台青葉区作並※=2.6 岩沼市桜※=2.5 大崎市古川三日町=2.5 2 宮城美里町木間塚※=2.4 名取市増田※=2.4 蔵王町円田※=2.4 塩竈市旭町※=2.4 石巻市桃生町※=2.3 涌谷町新町裏=2.3 七ヶ宿町関※=2.3 宮城川崎町前川※=2.3 色麻町四竈※=2.2 大崎市松山※=2.2 宮城加美町中新田※=2.2 仙台泉区将監※=2.2 松島町高城=2.1 亘理町下小路※=2.1 大崎市古川北町※=2.1 東松島市矢本※=2.1 仙台若林区遠見塚※=2.0 登米市米山町※=2.0 登米市迫町※=2.0 南三陸町志津川=1.9 丸森町鳥屋※=1.9 大衡村大衡※=1.9 角田市角田※=1.9 仙台青葉区大倉=1.9 大崎市古川大崎=1.8 仙台宮城野区五輪=1.8 仙台空港=1.8 東松島市小野※=1.8 大河原町新南※=1.8 石巻市大街道南※=1.8 石巻市前谷地※=1.8 村田町村田※=1.7 宮城美里町北浦※=1.7 大郷町粕川※=1.7 栗原市若柳※=1.7 富谷市富谷※=1.7 大崎市鹿島台※=1.7 白石市亘理町※=1.7 栗原市高清水※=1.7 仙台宮城野区苦竹※=1.7 登米市豊里町※=1.6 栗原市築館※=1.6 利府町利府※=1.6 仙台青葉区落合※=1.6 栗原市一迫※=1.6 丸森町上滝=1.6 登米市中田町=1.6 柴田町船岡=1.5 大和町吉岡※=1.5 大崎市三本木※=1.5 1 気仙沼市赤岩=1.4 栗原市瀬峰※=1.4 栗原市志波姫※=1.4 登米市登米町※=1.4 大崎市岩出山※=1.4 仙台青葉区雨宮※=1.4 仙台太白区山田※=1.4 石巻市北上町※=1.4 七ヶ浜町東宮浜※=1.4 宮城加美町小野田※=1.3 石巻市泉町=1.3 栗原市花山※=1.1 石巻市相野谷※=1.1 登米市石越町※=1.1 女川町女川浜※=1.1 宮城加美町宮崎※=1.1 大崎市鳴子※=1.0 登米市東和町※=1.0 栗原市栗駒=1.0 気仙沼市笹が陣※=1.0 多賀城市中央※=0.9 登米市津山町※=0.8 気仙沼市唐桑町※=0.8 栗原市金成※=0.8 栗原市鶯沢※=0.8				
		2 米沢市アルカディア=2.4 米沢市林泉寺※=2.4 山形川西町上小松※=1.9 上山市河崎※=1.9 米沢市金池※=1.9 米沢市駅前=1.8 山辺町緑ヶ丘※=1.8 南陽市三間通※=1.7 東根市中央※=1.7 中山町長崎※=1.7 山形朝日町宮宿※=1.6 天童市老野森※=1.6 高畠町高畠※=1.6 村山市中央※=1.5 西川町大井沢※=1.5 1 河北町谷地=1.4 長井市ままの上※=1.4 大石田町緑町※=1.3 尾花沢市若葉町※=1.2 河北町役場※=1.2 山形小国町小国小坂町※=1.1 白鷹町黒鴨=1.1 飯豊町椿※=1.1 戸沢村古口※=1.1 山形小国町岩井沢=1.0 鶴岡市温海川=0.9 舟形町舟形※=0.9 飯豊町上原※=0.9 山形市薬師町※=0.9 寒河江市西根※=0.9 寒河江市中央※=0.8 大江町左沢※=0.8 山形市緑町=0.7 最上町向町※=0.7 大蔵村清水※=0.7 新庄市東谷地田町=0.6 山形市旅籠町※=0.6 西川町海味※=0.5 2 大子町池田※=2.0 日立市助川小学校※=1.9 北茨城市磯原町※=1.9 北茨城市中郷町※=1.9 笠間市石井※=1.9 東海村東海※=1.9 城里町小勝※=1.9 高萩市安良川※=1.7 日立市役所※=1.6 常陸大宮市上小瀬※=1.6 常陸大宮市北町※=1.5 土浦市常名=1.5 日立市十王町友部※=1.5 常陸太田市大中町※=1.5 高萩市本町※=1.5 1 水戸市内原町※=1.4 常陸太田市金井町※=1.4 常陸太田市高柿町※=1.4 笠間市中央※=1.4 笠間市笠間※=1.4 ひたちなか市南神敷台※=1.4 常陸大宮市山方※=1.4 石岡市柿岡=1.3 桜川市岩瀬※=1.3 桜川市羽田※=1.3 筑西市門井※=1.2 水戸市金町=1.2 笠間市下郷※=1.2 常総市新石下※=1.2 水戸市千波町※=1.2 ひたちなか市東石川※=1.2 常陸大宮市野口※=1.2 那珂市福田※=1.2 城里町石塚※=1.2 小美玉市小川※=1.2 小美玉市堅倉※=1.2 稲敷市江戸崎甲※=1.2 石岡市若宮※=1.1 筑西市舟生=1.1 鉾田市汲上※=1.1 小美玉市上玉里※=1.0 取手市寺田※=1.0 茨城鹿嶋市宮中※=1.0 常陸大宮市高部※=1.0 かすみがうら市上土田※=1.0 桜川市真壁※=1.0 那珂市瓜連※=1.0 行方市麻生※=0.9 土浦市藤沢※=0.9 茨城町小堤※=0.9 つくば市研究学園※=0.9 茨城鹿嶋市鉾形=0.9 常陸太田市町屋町=0.9 常陸太田市町田町※=0.9 常陸大宮市中富町=0.8 石岡市八郷※=0.8 常総市水海道諏訪町※=0.8 龍ヶ崎市役所※=0.8 つくば市天王台※=0.8 つくば市小莖※=0.8 潮来市堀之内=0.8 美浦村受領※=0.8 稲敷市伊佐津※=0.8 城里町阿波山※=0.8 かすみがうら市大和田※=0.8 鉾田市鉾田=0.7 稲敷市須賀津※=0.7 行方市山田※=0.7 潮来市辻※=0.7 下妻市鬼怒※=0.7 坂東市山※=0.7 下妻市本城町※=0.6 土浦市田中※=0.6 鉾田市造谷※=0.6 牛久市中央※=0.6 ひたちなか市山ノ上町=0.5 阿見町中央※=0.5 坂東市役所※=0.5				
		2 那須町寺子※=1.9 日光市今市本町※=1.8 大田原市湯津上※=1.8 宇都宮市明保野町=1.7 鹿沼市晃望台※=1.6 大田原市本町※=1.5 宇都宮市中里町※=1.5 1 矢板市本町※=1.4 那須塩原市あたご町※=1.4 那須塩原市塩原庁舎※=1.4 芳賀町祖母井※=1.4 那須塩原市鍋掛※=1.3 市貝町市塙※=1.3 高根沢町石末※=1.3 那須烏山市中央=1.3				

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		日光市鬼怒川温泉大原*＝1.2 那須塩原市中塩原*＝1.2 栃木那珂川町小川*＝1.2 益子町益子＝1.1 栃木那珂川町馬頭*＝1.1 那須塩原市碓沼＝1.0 那須塩原市共壺社*＝1.0 鹿沼市今宮町*＝1.0 鹿沼市口栗野*＝1.0 真岡市石島*＝1.0 日光市瀬川＝1.0 栃木市岩舟町静*＝0.9 真岡市田町*＝0.9 栃木さくら市喜連川*＝0.9 那須烏山市大金*＝0.9 日光市芹沼*＝0.9 大田原市黒羽田町＝0.9 塩谷町玉生*＝0.9 茂木町茂木*＝0.8 日光市藤原庁舎*＝0.8 下野市石橋*＝0.8 下野市笹原*＝0.8 栃木市旭町＝0.7 下野市田中*＝0.7 宇都宮市旭*＝0.6 那須烏山市役所*＝0.5 新潟県 2 阿賀町鹿瀬中学校*＝1.9 阿賀町鹿瀬支所*＝1.6 1 阿賀町豊川*＝1.3 阿賀町津川*＝1.3 新潟秋葉区新津東町*＝1.3 阿賀野市岡山町*＝1.2 五泉市太田*＝1.0 阿賀野市姥ヶ橋*＝1.0 阿賀野市かがやき*＝1.0 加茂市幸町*＝0.9 田上町原ヶ崎新田*＝0.9 燕市秋葉町*＝0.9 長岡市中之島*＝0.8 見附市昭和町*＝0.8 新発田市本町*＝0.8 新発田市住田*＝0.8 新発田市中央町*＝0.8 村上市岩船駅前*＝0.8 長岡市小島谷*＝0.7 長岡市山古志竹沢*＝0.7 村上市府屋*＝0.7 弥彦村矢作*＝0.7 阿賀野市山崎*＝0.7 新潟南区白根*＝0.7 新潟西区寺尾東*＝0.7 村上市山口*＝0.6 燕市分水桜町*＝0.6 長岡市上岩井*＝0.6 新潟中央区美咲町＝0.6 関川村下関*＝0.5 長岡市与板町与板*＝0.5 胎内市新和町＝0.5 新潟空港＝0.5 新発田市乙次*＝0.5 岩手県 1 一関市花泉町*＝1.4 一関市室根町*＝1.3 一関市千厩町*＝1.3 一関市藤沢町*＝1.1 矢巾町南矢幅*＝1.1 盛岡市薮川*＝1.1 奥州市衣川*＝1.0 平泉町平泉*＝1.0 住田町世田米*＝0.8 北上市相去町*＝0.8 大船渡市大船渡町＝0.7 一関市東山町*＝0.7 北上市柳原町＝0.7 一関市竹山町*＝0.6 花巻市石鳥谷町*＝0.6 遠野市青笹町*＝0.5 盛岡市山王町＝0.5 奥州市水沢大鐘町＝0.5 宮古市田老*＝0.5 群馬県 1 渋川市赤城町*＝1.0 渋川市吹屋*＝0.9 桐生市黒保根町*＝0.8 沼田市西倉内町＝0.7 沼田市利根町*＝0.7 邑楽町中野*＝0.6 前橋市鼻毛石町*＝0.5 桐生市元宿町*＝0.5 伊勢崎市西久保町*＝0.5 埼玉県 1 宮代町笠原*＝0.9 春日部市粕壁*＝0.6 春日部市金崎*＝0.6 加須市大利根*＝0.6 久喜市下早見＝0.5 千葉県 1 香取市佐原平田＝0.8 香取市役所*＝0.8 香取市仁良*＝0.8 野田市鶴奉*＝0.8 柏市旭町＝0.7 八千代市大和田新田*＝0.7 白井市復*＝0.7 香取市佐原諏訪台*＝0.7 芝山町小池*＝0.6 山武市埴谷*＝0.6 野田市東宝珠花*＝0.6 成田市名古屋＝0.6 栄町安食台*＝0.6 成田国際空港＝0.5 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*＝0.5				
46	11 06 50	福島県沖 福島県	37° 09.6' N	141° 11.2' E	20km	M: 3.6
		1 檜葉町北田*＝0.6				
47	11 08 03	宮城県沖 宮城県	38° 25.4' N	142° 06.7' E	46km	M: 4.0
		2 南三陸町志津川＝2.0 1 気仙沼市唐桑町*＝1.3 女川町女川浜*＝1.3 登米市東和町*＝1.1 東松島市矢本*＝0.8 大崎市田尻*＝0.8 登米市迫町*＝0.7 石巻市桃生町*＝0.7 登米市中田町＝0.7 気仙沼市笹が陣*＝0.7 石巻市大街道南*＝0.6 石巻市泉町＝0.5 南三陸町歌津*＝0.5 大崎市古川三日町＝0.5 栗原市栗駒＝0.5 岩手県 1 一関市藤沢町*＝0.7 大船渡市大船渡町＝0.6 一関市花泉町*＝0.5				
48	11 14 18	千葉県東方沖 千葉県	35° 20.3' N	141° 10.9' E	37km	M: 4.5
		1 銚子市川口町＝0.5				
49	11 19 32	福島県会津 福島県	37° 03.1' N	139° 28.2' E	8km	M: 2.9
		2 檜枝岐村上河原*＝1.5				
50	11 20 52	福井県嶺北 福井県 岐阜県	35° 55.1' N	136° 44.8' E	8km	M: 2.7
		1 大野市貝皿*＝1.1 大野市朝日*＝1.0 1 郡上市白鳥町長滝*＝0.6				
51	12 11 28	茨城県北部 茨城県	36° 42.8' N	140° 36.5' E	8km	M: 2.6
		1 高萩市安良川*＝0.9				
52	12 19 21	北海道東方沖 北海道	43° 58.1' N	147° 20.7' E	93km	M: 4.0
		1 根室市落石東*＝0.6 根室市瑤瑤瑁*＝0.5				
53	12 20 21	富山県西部 富山県	36° 29.0' N	137° 01.3' E	9km	M: 2.5
		1 南砺市利賀村上百瀬*＝0.7				
54	13 00 33	浦河沖 北海道	42° 02.1' N	142° 36.0' E	61km	M: 3.6
		1 新ひだか町三石旭町*＝0.7 新ひだか町静内山手町＝0.6				
55	13 05 21	福島県沖 福島県	37° 15.7' N	141° 13.5' E	37km	M: 3.8
		2 富岡町本岡*＝2.4 檜葉町北田*＝2.1 浪江町幾世橋＝1.8 田村市都路町*＝1.5 田村市大越町*＝1.5 1 小野町小野新町*＝1.4 川内村上川内早渡*＝1.4 福島広野町下北迫大谷地原*＝1.3 川内村下川内＝1.3 いわき市平四ツ波*＝1.3 田村市滝根町*＝1.2 双葉町両竹*＝1.2 南相馬市小高区*＝1.1 白河市新白河*＝1.0 田村市常葉町*＝1.0 川俣町五百田*＝1.0 川内村上川内小山平*＝0.9 小野町中通*＝0.9 田村市船引町＝0.8 玉川村小高*＝0.8 いわき市三和町＝0.7 大熊町野上*＝0.7 南相馬市原町区高見町*＝0.5 茨城県 1 日立市助川小学校*＝0.5				
56	13 08 26	岩手県沖 岩手県	39° 06.6' N	142° 07.1' E	45km	M: 3.5
		1 大船渡市大船渡町＝1.1 釜石市只越町＝1.0 釜石市中妻町*＝0.9 大船渡市猪川町＝0.8 住田町世田米*＝0.7 陸前高田市高田町*＝0.6 一関市室根町*＝0.5				

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
57	14 01 19	宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=0.5 気仙沼市唐桑町*=0.5				
		宮古島北西沖 25° 50.1' N 125° 11.6' E 103km M: 4.4				
		沖縄県 1 宮古島市下地*=0.9				
58	14 08 23	熊本県熊本地方 32° 43.0' N 130° 48.5' E 14km M: 2.8				
		熊本県 1 山都町浜町*=1.0 益城町惣領=0.6 西原村小森*=0.6 熊本美里町永富*=0.5 菊池市旭志*=0.5 熊本東区佐土原*=0.5 熊本西区春日=0.5				
59	14 10 42	和歌山県北部 33° 53.2' N 135° 17.4' E 11km M: 3.2				
		和歌山県 1 湯浅町青木*=0.8 みなべ町芝*=0.7 御坊市菌=0.6 日高川町土生*=0.6				
60	14 12 35	千葉県東方沖 35° 11.7' N 140° 32.9' E 59km M: 4.7				
		千葉県 3 長南町長南*=2.7 勝浦市墨名=2.6 勝浦市新官*=2.5 2 いすみ市国府台*=2.4 鴨川市横渚*=2.3 君津市久留里市場*=2.3 館山市長須賀=2.3 睦沢町下之郷*=2.2 横芝光町栗山*=2.2 大網白里市大網*=2.2 大多喜町大多喜*=2.2 市原市姉崎*=2.2 一宮町一宮=2.1 館山市北条*=2.1 山武市殿台*=2.1 山武市松尾町五反田*=2.0 鴨川市八色=2.0 横芝光町富川*=2.0 九十九里町片貝*=1.9 茂原市道表*=1.9 千葉中央区都町*=1.9 千葉緑区おゆみ野*=1.9 山武市松尾町富士見台=1.9 東金市日吉台*=1.9 木更津市富士見*=1.8 東金市東新宿=1.8 東金市東岩崎*=1.8 山武市蓮沼ニ*=1.8 千葉中央区中央港=1.8 いすみ市岬町長者*=1.8 千葉中央区千葉市役所*=1.8 君津市久保*=1.7 千葉若葉区小倉台*=1.7 いすみ市大原*=1.7 芝山町小池*=1.7 千葉美浜区ひび野=1.7 長生村本郷*=1.7 山武市埴谷*=1.7 旭市南堀之内*=1.6 山武市蓮沼ハ*=1.6 南房総市谷向*=1.6 多古町多古=1.5 1 神崎町神崎本宿*=1.4 香取市仁良*=1.4 鴨川市内浦=1.4 南房総市白浜町白浜*=1.4 南房総市岩糸*=1.4 千葉花見川区花島町*=1.3 千葉稲毛区園生町*=1.3 千葉美浜区稲毛海岸*=1.3 松戸市西馬橋*=1.3 成田国際空港=1.3 成田市松子*=1.3 四街道市鹿渡*=1.3 鴨川市天津*=1.3 南房総市富浦町青木*=1.3 白子町関*=1.3 長柄町桜谷*=1.3 香取市羽根川*=1.3 富津市下飯野*=1.2 御宿町須賀*=1.2 鋸南町下佐久間*=1.2 南房総市上堀=1.2 香取市役所*=1.2 市原市国分寺台中央*=1.2 木更津市太田=1.2 匝瑳市八日市場ハ*=1.2 旭市萩園*=1.1 浦安市日の出=1.1 浦安市猫実*=1.1 富里市七栄*=1.1 長柄町大津倉=1.1 袖ヶ浦市坂戸市場*=1.1 匝瑳市今泉*=1.1 成田市役所*=1.1 旭市高生*=1.1 千葉佐倉市海誠寺町*=1.0 南房総市和田町*=1.0 習志野市鷺沼*=1.0 八千代市大和田新田*=1.0 香取市佐原平田=1.0 白井市復*=0.9 旭市ニ*=0.9 成田市名古屋=0.9 柏市旭町=0.9 香取市佐原諏訪台*=0.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=0.9 八街市八街*=0.9 栄町安食台*=0.8				
		茨城県 2 稲敷市結佐*=1.5 1 取手市井野*=1.3 稲敷市須賀津*=1.2 神栖市溝口*=1.2 坂東市岩井=1.1 稲敷市伊佐津*=1.1 茨城鹿嶋市鉢形=1.0 筑西市舟生=1.0 稲敷市江戸崎甲*=0.9 潮来市堀之内=0.9 笠間市石井*=0.7 石岡市柿岡=0.7 取手市寺田*=0.7 土浦市常名=0.5				
		神奈川県 2 横浜神奈川区神大寺*=1.8 横浜中区山手町=1.8 横浜戸塚区鳥が丘*=1.7 横浜中区山下町*=1.5 横浜栄区小菅ヶ谷*=1.5 三浦市城山町*=1.5 湯河原町中央=1.5 1 横浜港北区日吉本町*=1.4 横浜神奈川区広台太田町*=1.3 横須賀市光の丘=1.3 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=1.2 横浜港南区丸山台東部*=1.2 横浜緑区鴨居*=1.2 川崎宮前区宮前平*=1.2 中井町比奈窪*=1.2 横浜磯子区磯子*=1.1 横浜都筑区池辺町*=1.1 川崎宮前区野川*=1.1 逗子市桜山*=1.1 横浜金沢区白帆*=1.0 横浜緑区十日市場町*=1.0 横浜瀬谷区三ツ境*=1.0 横浜青葉区榎が丘*=1.0 川崎中原区小杉町*=1.0 藤沢市長後*=1.0 横浜旭区川井宿町*=0.9 鎌倉市御成町*=0.9 藤沢市朝日町*=0.9 大和市下鶴間*=0.9 横浜青葉区市ヶ尾町*=0.8 川崎中原区小杉陣屋町=0.8 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.8 秦野市曽屋=0.8 横須賀市坂本町*=0.6				
		静岡県 2 伊豆市中伊豆グラウンド=1.6 1 東伊豆町奈良本*=1.4 伊豆の国市長岡*=0.9 河津町田中*=0.8 富士宮市野中*=0.8 富士宮市弓沢町=0.6 東伊豆町稲取*=0.5 熱海市網代=0.5				
		埼玉県 1 加須市大利根*=1.4 吉川市きよみ野*=1.4 草加市高砂*=1.3 春日部市谷原新田*=1.3 さいたま緑区中尾*=1.2 宮代町笠原*=1.2 さいたま大宮区天沼町*=1.1 さいたま南区別所*=1.1 久喜市菖蒲*=1.0 川口市三ツ和*=1.0 春日部市粕壁*=1.0 久喜市青葉*=0.9 越谷市越ヶ谷*=0.9 八潮市中央*=0.9 富士見市鶴馬*=0.9 三郷市中央*=0.9 幸手市東*=0.9 久喜市栗橋*=0.9 さいたま中央区下落合*=0.9 鴻巣市吹上富士見*=0.9 久喜市下早見=0.9 熊谷市大里*=0.8 白岡市千駄野*=0.8 さいたま見沼区堀崎*=0.8 久喜市鷺宮*=0.8 春日部市金崎*=0.8 川島町下八ツ林*=0.7 松伏町松伏*=0.7 鴻巣市中央*=0.7 さいたま浦和区高砂=0.7 加須市騎西*=0.6 さいたま大宮区大門*=0.6 志木市中宗岡*=0.6 さいたま北区宮原*=0.6 狭山市入間川*=0.5				
		東京都 1 東京千代田区大手町=1.3 東京中央区勝どき*=1.1 東京練馬区豊玉北*=1.1 東京足立区神明南*=1.1 東京大田区多摩川*=1.0 伊豆大島町差木地=1.0 伊豆大島町波浮港*=1.0 東京港区海岸=0.9 東京品川区平塚*=0.9 調布市西つつじヶ丘*=0.8 東京利島村東山=0.8 東京江東区越中島*=0.8 東京品川区北品川*=0.8 東京大田区本羽田*=0.8 東京渋谷区宇田川町*=0.8 東京渋谷区本町*=0.8 東京北区神谷*=0.8 東京板橋区高島平*=0.8 東京世田谷区成城*=0.7 東京新宿区上落合*=0.7 東京江東区枝川*=0.7 東京葛飾区立石*=0.7 東京江戸川区船堀*=0.7 八王子市堀之内*=0.7 町田市忠生*=0.7 国分寺市本多*=0.7 東京国際空港=0.7 東京荒川区荒川*=0.6 東京荒川区東尾久*=0.6 日野市神明*=0.6 東和市中中央*=0.6 東京練馬区東大泉*=0.6 東京目黒区中央町*=0.6 東京足立区伊興*=0.6 東京江戸川区中央=0.6 東京北区西ヶ原*=0.6 東京江戸川区鹿骨*=0.5 東京港区白金*=0.5				
61	14 18 31	熊本県熊本地方 32° 35.4' N 130° 41.1' E 8km M: 2.5				
		熊本県 1 宇城市豊野町*=1.1 宇城市不知火町*=0.8 甲佐町豊内*=0.6 八代市鏡町*=0.5				

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
62	14 20 51	静岡県西部 愛知県 3 新城市矢部=2.9 2 豊橋市向山=2.4 田原市赤羽根町*=1.9 西尾市西幡豆町*=1.8 豊田市大沼町*=1.7 新城市乗本=1.7 幸田町菱池*=1.7 西尾市吉良町*=1.6 蒲郡市御幸町*=1.6 田原市田原町*=1.6 高浜市稗田町*=1.5 愛知美浜町河和*=1.5 1 新城市長篠*=1.4 設楽町田口*=1.4 豊根村下黒川*=1.4 西尾市矢曾根町*=1.4 新城市作手高里松風呂*=1.3 蒲郡市水竹町*=1.3 東栄町本郷*=1.2 豊田市長興寺*=1.2 安城市和泉町*=1.2 西尾市一色町=1.2 阿久比町卯坂*=1.2 東浦町緒川*=1.2 豊川市御津町*=1.1 安城市横山町*=1.1 豊根村富山*=1.1 豊田市稲武町*=1.0 豊川市小坂井町*=1.0 刈谷市寿町*=1.0 豊田市大洞町=1.0 常滑市新開町=1.0 大府市中央町*=1.0 豊田市藤岡飯野町*=1.0 岡崎市若宮町=0.9 半田市東洋町*=0.9 豊橋市東松山町*=0.9 豊田市坂上町*=0.9 豊田市畝部西町*=0.9 豊田市百々町*=0.9 豊田市小渡町*=0.8 田原市福江町=0.8 碧南市松本町*=0.8 豊田市小坂町*=0.8 東郷町春木*=0.8 豊川市一宮町*=0.8 豊田市小坂本町=0.7 日進市蟹甲町*=0.7 豊田市足助町*=0.7 岡崎市樫山町*=0.7 東海市加木屋町*=0.7 愛知みよし市三好町*=0.7 名古屋守山区下志段味*=0.6 名古屋緑区有松町*=0.6 豊川市赤坂町*=0.6 名古屋瑞穂区塩入町*=0.6 長久手市岩作城の内*=0.6 一宮市千秋=0.5 知立市弘法*=0.5 豊明市沓掛町*=0.5 名古屋港区金城ふ頭*=0.5 田原市石神町=0.5 名古屋名東区名東本町*=0.5 武豊町長尾山*=0.5 清須市清洲*=0.5 長野県 2 売木村役場*=2.2 1 平谷村役場*=1.4 下條村睦沢*=0.9 泰阜村役場*=0.8 天龍村清水*=0.6 阿南町東条*=0.6 根羽村役場*=0.6 阿智村浪合*=0.6 岐阜県 2 恵那市上矢作町*=2.4 1 恵那市山岡町*=1.0 土岐市泉町*=0.8 土岐市肥田*=0.8 中津川市福岡*=0.5 瑞浪市上平町*=0.5 静岡県 1 浜松天竜区佐久間町*=1.9 浜松西区雄踏*=1.7 浜松中区元城町*=1.5 磐田市森岡*=1.5 1 浜松東区流通元町*=1.4 浜松北区細江町*=1.4 浜松北区引佐町*=1.4 浜松天竜区二俣町鹿島*=1.4 浜松中区三組町*=1.3 湖西市吉美*=1.3 浜松北区三ヶ日町=1.3 磐田市福田*=1.2 浜松天竜区春野町*=1.2 浜松南区江之島町*=1.2 湖西市新居町浜名*=1.1 磐田市岡*=1.1 浜松天竜区龍山町*=1.1 浜松中区高丘東=1.0 静岡森町森*=0.8 掛川市長谷*=0.8 袋井市浅名*=0.8 浜松西区舞阪町*=0.8 袋井市新屋=0.6 浜松天竜区水窪町*=0.6 伊豆市伊豆グラウンド=0.5	34° 45.1' N	137° 29.8' E	37km	M: 3.9
63	15 17 56	福島県沖 福島県 1 白河市新白河*=0.5 福島広野町下北迫大谷地原*=0.5	37° 10.6' N	141° 14.2' E	20km	M: 4.0
64	16 16 25	宮城県沖 岩手県 2 一関市室根町*=1.5 1 一関市千厩町*=1.4 大船渡市猪川町=1.0 一関市藤沢町*=0.9 一関市大東町=0.8 大船渡市大船渡町=0.8 住田町世田米*=0.8 宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=1.4 気仙沼市唐桑町*=1.3 南三陸町志津川=1.0 大崎市田尻*=0.8 石巻市北上町*=0.8 登米市東和町*=0.7 気仙沼市赤岩=0.7 石巻市泉町=0.6 南三陸町歌津*=0.6	38° 51.2' N	142° 03.2' E	46km	M: 3.8
65	16 16 29	青森県三八上北地方 青森県 1 三戸町在府小路町*=0.7	40° 19.3' N	141° 12.4' E	9km	M: 2.3
66	16 19 00	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町*=0.9 一関市室根町*=0.9 釜石市中妻町*=0.8 住田町世田米*=0.8 一関市藤沢町*=0.6 釜石市只越町=0.6 宮城県 1 気仙沼市唐桑町*=0.7	38° 43.3' N	142° 10.6' E	40km	M: 3.8
67	16 19 44	宮城県沖 宮城県 2 気仙沼市唐桑町*=1.5 1 石巻市北上町*=1.4 石巻市桃生町*=1.3 気仙沼市笹が陣*=1.1 気仙沼市赤岩=1.0 南三陸町志津川=0.7 南三陸町歌津*=0.5 岩手県 1 一関市千厩町*=1.2 住田町世田米*=1.2 一関市大東町=1.2 陸前高田市高田町*=1.1 一関市室根町*=1.1 釜石市中妻町*=1.0 大船渡市猪川町=0.9 釜石市只越町=0.8 一関市東山町*=0.7 大船渡市大船渡町=0.6	38° 37.0' N	141° 53.9' E	48km	M: 3.9
68	17 00 48	静岡県西部 岐阜県 1 恵那市上矢作町*=0.9 愛知県 1 新城市矢部=0.7 新城市乗本=0.6	34° 44.6' N	137° 31.4' E	35km	M: 2.9
69	17 03 23	硫黄島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.8	23° 41.9' N	143° 13.0' E	93km	M: 6.6
70	17 17 50	岩手県沖 青森県 1 階上町道仏*=1.0 八戸市内丸*=0.8 岩手県 1 軽米町軽米*=0.6	40° 19.1' N	142° 10.6' E	54km	M: 3.6
71	18 04 51	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 水俣市陣内*=1.3 球磨村渡*=1.3 天草市河浦町*=0.9 水俣市牧ノ内*=0.8 上天草市姫戸町*=0.7 芦北町芦北=0.7 津奈木町小津奈木*=0.7 上天草市龍ヶ岳町*=0.6 鹿児島県 1 鹿児島出水市野田町*=1.4 長島町獅子島*=1.0 長島町鷹巣*=0.9 長島町伊唐島*=0.9	32° 16.8' N	130° 23.4' E	12km	M: 3.2

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
72	18 07 19	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 水俣市陣内*=1.0	32° 12.3' N	130° 21.7' E	7km	M: 2.4
73	18 15 39	岩手県内陸北部 岩手県 2 二戸市浄法寺町*=2.0 1 九戸村伊保内*=0.8 八幡平市叭田*=0.5	40° 09.3' N	141° 10.6' E	11km	M: 3.2
74	19 02 12	三重県南部 三重県 1 尾鷲市南浦*=0.5	34° 05.1' N	136° 10.2' E	3km	M: 2.0
75	19 15 13	兵庫県南東部 京都府 1 京都西京区大枝*=0.8 亀岡市安町=0.7 大山崎町円明寺*=0.5 大阪府 1 能勢町今西*=1.2 大阪旭区大宮*=1.2 豊中市曽根南町*=0.9 吹田市内本町*=0.9 大阪北区茶屋町*=0.9 大阪東淀川区柴島*=0.8 大阪東淀川区北江口*=0.8 大阪都島区都島本通*=0.7 守口市京阪本通*=0.7 箕面市箕面=0.7 大阪国際空港=0.6 能勢町役場*=0.5 兵庫県 1 西宮市名塩*=1.4 西宮市平木*=1.1 宝塚市東洋町*=1.1 三田市下里*=0.9 神戸北区藤原台南町*=0.7 西宮市宮前町=0.7	34° 49.9' N	135° 23.9' E	11km	M: 3.3
76	19 20 00	静岡県伊豆地方 静岡県 1 南伊豆町入間*=0.9	34° 38.2' N	138° 48.6' E	4km	M: 1.8
77	19 20 48	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町*=0.8 宮城県 1 石巻市大街道南*=1.1 石巻市桃生町*=1.1 女川町女川浜*=1.0 石巻市泉町=0.9 気仙沼市唐桑町*=0.7 気仙沼市笹が陣*=0.5 東松島市矢本*=0.5 南三陸町志津川=0.5	38° 19.2' N	141° 37.9' E	54km	M: 3.6
78	20 03 09	宮城県北部 岩手県 3 一関市室根町*=2.6 一関市千厩町*=2.6 2 一関市藤沢町*=2.2 一関市東山町*=2.1 陸前高田市高田町*=2.0 一関市花泉町*=2.0 一関市大東町=1.9 釜石市中妻町*=1.8 住田町世田米*=1.8 奥州市前沢*=1.8 大船渡市猪川町=1.8 大船渡市大船渡町=1.8 1 花巻市大迫町=1.4 花巻市東和町*=1.4 遠野市青笹町*=1.4 一関市川崎町*=1.4 平泉町平泉*=1.4 釜石市只越町=1.3 北上市相去町*=1.3 盛岡市薮川*=1.2 遠野市宮守町*=1.2 奥州市江刺*=1.2 奥州市胆沢*=1.2 花巻市石鳥谷町*=1.1 大船渡市盛町*=1.1 宮古市区界*=1.1 奥州市衣川*=1.1 宮古市田老*=1.1 矢巾町南矢幅*=1.1 普代村銅屋*=1.1 金ヶ崎町西根*=1.1 盛岡市山王町=1.0 宮古市川井*=1.0 山田町大沢*=0.9 山田町八幡町=0.9 花巻市大迫総合支所*=0.9 花巻市材木町*=0.9 八幡平市田頭*=0.8 北上市柳原町=0.8 奥州市水沢佐倉河*=0.8 盛岡市洺民*=0.8 盛岡市馬場町*=0.7 宮古市五月町*=0.7 宮古市茂市*=0.7 一関市竹山町*=0.6 奥州市水沢大鐘町=0.6 宮古市鉄ヶ崎=0.5 宮城県 3 石巻市桃生町*=2.7 2 石巻市北上町*=2.3 気仙沼市唐桑町*=2.2 東松島市小野*=2.2 登米市中田町=2.1 登米市石越町*=2.1 南三陸町志津川=2.1 涌谷町新町裏=2.1 大崎市田尻*=2.0 気仙沼市笹が陣*=2.0 登米市豊里町*=2.0 女川町女川浜*=2.0 登米市東和町*=1.9 栗原市瀬峰*=1.7 気仙沼市赤岩=1.6 南三陸町歌津*=1.6 気仙沼市本吉町津谷*=1.6 栗原市高清水*=1.6 栗原市若柳*=1.6 登米市津山町*=1.6 栗原市築館*=1.5 石巻市相野谷*=1.5 塩竈市旭町*=1.5 東松島市矢本*=1.5 気仙沼市本吉町西川内=1.5 石巻市大街道南*=1.5 1 宮城美里町北浦*=1.4 仙台空港=1.4 石巻市泉町=1.4 多賀城市中央*=1.4 松島町高城=1.4 大崎市鹿島台*=1.3 名取市増田*=1.3 栗原市志波姫*=1.3 石巻市前谷地*=1.3 宮城美里町木間塚*=1.3 大郷町柏川*=1.3 仙台宮城野区苦竹*=1.2 登米市登米町*=1.2 石巻市鮎川浜*=1.2 栗原市栗駒=1.2 栗原市一迫*=1.1 登米市米山町*=1.1 登米市迫町*=1.1 栗原市鶯沢*=1.0 大崎市松山*=1.0 石巻市大瓜=1.0 栗原市花山*=1.0 石巻市雄勝町*=1.0 岩沼市桜*=1.0 亘理町下小路*=1.0 大衡村大衡*=1.0 蔵王町円田*=0.9 大崎市鳴子*=0.9 利府町利府*=0.8 七ヶ浜町東宮浜*=0.8 栗原市金成*=0.7 大崎市古川三日町=0.7 大崎市古川大崎=0.7 大崎市古川北町*=0.7 宮城川崎町前川*=0.7 山元町浅生原*=0.6 青森県 1 階上町道仏*=0.9 秋田県 1 由利本荘市前郷*=0.5 山形県 1 西川町大井沢*=1.0 尾花沢市若葉町*=0.7 大蔵村清水*=0.5 福島県 1 新地町谷地小屋*=1.0 相馬市中村*=0.9 南相馬市原町区三島町=0.5	38° 32.8' N	141° 01.2' E	105km	M: 4.2
79	20 19 45	西表島付近 沖縄県 2 竹富町大原=2.1 1 竹富町船浮=1.2 竹富町上原*=0.9 竹富町黒島=0.6 竹富町波照間=0.6	24° 13.9' N	123° 50.8' E	17km	M: 4.4
80	20 20 36	長野県北部 長野県 1 須坂市須坂*=1.4 長野市豊野町豊野*=1.0 山ノ内町消防署*=1.0 信濃町柏原東裏*=0.6 長野市箱清水=0.5	36° 36.6' N	138° 21.9' E	2km	M: 2.9
81	21 02 36	岩手県内陸南部 岩手県 1 住田町世田米*=0.6	39° 27.5' N	141° 13.8' E	125km	M: 3.5
82	21 02 47	茨城県南部 茨城県 2 小美玉市小川*=2.1 小美玉市上玉里*=2.1 土浦市藤沢*=2.1 つくば市小荻*=2.1 つくばみらい市福田*=2.1 坂東市馬立*=2.0 牛久市中央*=2.0 土浦市常名=2.0	36° 02.7' N	139° 53.0' E	42km	M: 4.0

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模	
		常総市水海道諏訪町*=1.8 取手市寺田*=1.8 土浦市田中*=1.6 常総市新石下*=1.6 石岡市柿岡=1.6 石岡市若宮*=1.6 水戸市内原町*=1.5 かすみがうら市上土田*=1.5 守谷市大柏*=1.5 1 笠間市下郷*=1.4 つくば市天王台*=1.4 坂東市岩井=1.4 坂東市役所*=1.4 筑西市舟生=1.3 かすみがうら市大和田*=1.3 鉾田市汲上*=1.3 つくばみらい市加藤*=1.3 下妻市鬼怒*=1.3 笠間市中央*=1.3 笠間市石井*=1.3 石岡市八郷*=1.3 稲敷市江戸崎甲*=1.3 行方市玉造*=1.2 鉾田市鉾田=1.2 阿見町中央*=1.2 城里町小勝*=1.2 つくば市研究学園*=1.1 茨城鹿嶋市鉢形=1.1 坂東市山*=1.1 美浦村受領*=1.1 笠間市笠間*=1.0 小美玉市堅倉*=1.0 茨城古河市仁連*=1.0 行方市麻生*=1.0 桜川市真壁*=1.0 茨城町小堤*=1.0 下妻市本城町*=1.0 桜川市羽田*=0.9 取手市藤代*=0.9 桜川市岩瀬*=0.9 筑西市門井*=0.9 龍ヶ崎市役所*=0.8 八千代町菅谷*=0.8 稲敷市伊佐津*=0.8 鉾田市造谷*=0.8 稲敷市須賀津*=0.7 ひたちなか市南神敷台*=0.7 取手市井野*=0.7 常陸大宮市上小瀬*=0.7 稲敷市役所*=0.7 茨城鹿嶋市宮中*=0.7 行方市山田*=0.6 城里町石塚*=0.6 水戸市千波町*=0.6 水戸市金町=0.6 稲敷市結佐*=0.5 茨城古河市下大野*=0.5 利根町布川=0.5 栃木県 2 下野市笹原*=1.5 1 下野市田中*=1.4 真岡市石島*=1.2 宇都宮市明保野町=1.1 栃木市旭町=0.9 栃木市岩舟町静*=0.7 栃木市藤岡町藤岡*=0.6 佐野市高砂町*=0.6 茂木町茂木*=0.6 真岡市田町*=0.5 埼玉県 2 川口市中青木分室*=1.7 春日部市粕壁*=1.6 1 春日部市金崎*=1.4 吉川市きよみ野*=1.3 宮代町笠原*=1.3 八潮市中央*=1.2 さいたま浦和区高砂=1.1 川口市青木*=1.1 三郷市中央*=1.1 さいたま見沼区堀崎*=1.1 久喜市下早見=1.0 さいたま南区別所*=1.0 草加市高砂*=1.0 川口市三ツ和*=0.9 春日部市谷原新田*=0.9 さいたま緑区中尾*=0.9 戸田市上戸田*=0.8 越谷市越ヶ谷*=0.8 松伏町松伏*=0.7 さいたま大宮区天沼町*=0.7 さいたま中央区下落合*=0.7 蕨市中央*=0.7 和光市広沢*=0.7 久喜市鷲宮*=0.6 幸手市東*=0.6 さいたま北区宮原*=0.6 加須市騎西*=0.6 さいたま浦和区常盤*=0.5 加須市大利根*=0.5 さいたま西区指扇*=0.5 白岡市千駄野*=0.5 久喜市青葉*=0.5 千葉県 2 野田市鶴奉*=2.1 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=2.0 柏市旭町=1.8 1 柏市柏*=1.4 柏市大島田*=1.4 白井市復*=1.4 習志野市鷺沼*=1.3 松戸市西馬橋*=1.1 野田市東宝珠花*=1.1 流山市平和台*=1.0 八千代市大和田新田*=1.0 成田市中台*=1.0 千葉花見川区花島町*=0.9 松戸市根本*=0.8 船橋市湊町*=0.7 成田市名古屋=0.7 印西市大森*=0.7 栄町安食台*=0.7 我孫子市我孫子*=0.6 印西市美瀬*=0.6 成田国際空港=0.6 多古町多古=0.5 芝山町小池*=0.5 香取市役所*=0.5 香取市仁良*=0.5 浦安市日の出=0.5 東京都 1 東京中野区江古田*=1.3 東京足立区伊興*=1.3 東京足立区神明南*=1.2 東京千代田区大手町=1.1 東京文京区大塚*=1.1 東京中野区中野*=1.1 東京練馬区豊玉北*=1.1 小平市小川町*=1.0 東京渋谷区本町*=0.9 東京北区神谷*=0.9 東京葛飾区立石*=0.9 調布市西つつじヶ丘*=0.9 東京新宿区上落合*=0.8 東京江戸川区中央=0.8 東京杉並区桃井*=0.7 東京杉並区高井戸*=0.7 東京北区西ヶ原*=0.7 東京練馬区光が丘*=0.7 東京荒川区東尾久*=0.6 東京千代田区富士見*=0.6 東京中央区勝どき*=0.6 東京江東区森下*=0.6 東京世田谷区三軒茶屋*=0.6 東京板橋区高島平*=0.5 東京中央区築地*=0.5 東京目黒区中央町*=0.5 東大和市中央*=0.5 東京世田谷区成城*=0.5 東京渋谷区宇田川町*=0.5 神奈川県 1 横浜神奈川区神大寺*=1.3 川崎宮前区宮前平*=1.1 横浜緑区十日市場町*=1.0 川崎中原区小杉町*=0.8 横浜青葉区市ケ尾町*=0.7 川崎川崎区宮前町*=0.6 川崎中原区小杉陣屋町=0.5					
83	21 09 13	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 53.3' N	142° 06.5' E	45km	M: 3.8 1 大船渡市猪川町=1.1 一関市室根町*=1.0 一関市千厩町*=0.9 住田町世田米*=0.7 一関市藤沢町*=0.6 大船渡市大船渡町=0.5 1 気仙沼市笹が陣*=1.4 気仙沼市唐桑町*=1.3 登米市東和町*=0.9 南三陸町志津川=0.5 大崎市田尻*=0.5 石巻市北上町*=0.5	
84	21 12 34	根室半島南東沖 北海道	43° 07.0' N	145° 35.7' E	55km	M: 3.7 1 浜中町霧多布*=1.3 中標津町丸山*=1.3 根室市瑤瑤瑠*=1.2 根室市厚床*=1.1 根室市牧の内*=1.1 標津町北2条*=0.9 別海町本別海*=0.8	
85	21 15 45	駿河湾 栃木県	34° 39.7' N	138° 18.0' E	253km	M: 3.6 1 宇都宮市明保野町=0.6	
86	21 16 35	東京湾 神奈川県	35° 28.8' N	139° 42.9' E	21km	M: 2.5 1 横浜中区山手町=1.1 川崎川崎区宮前町*=0.9 横浜港南区丸山台東部*=0.5	
87	21 16 46	八丈島東方沖 東京都	32° 53.7' N	140° 42.6' E	58km	M: 4.5 1 八丈町富士グラウンド*=0.9 八丈町三根=0.5	
88	21 22 54	千葉県南部 千葉県	35° 08.9' N	140° 15.4' E	13km	M: 2.9 1 勝浦市墨名=0.5	
89	21 23 01	千葉県南部 千葉県	35° 08.9' N	140° 15.3' E	13km	M: 3.2 1 勝浦市新宮*=1.3 勝浦市墨名=1.2 鴨川市内浦=1.0 館山市長須賀=0.6 君津市久留里市場*=0.5	
90	22 05 46	茨城県北部 茨城県	36° 42.4' N	140° 34.2' E	90km	M: 3.2 1 水戸市千波町*=0.7 城里町小勝*=0.7 日立市助川小学校*=0.6 ひたちなか市東石川*=0.6 常陸大宮市北町*=0.6 水戸市内原町*=0.6 笠間市石井*=0.5	

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
91	22 18 23	熊本県熊本地方 熊本県 4 熊本西区春日=3.9 3 宇城市松橋町=3.3 宇土市浦田町*=3.2 宇城市不知火町*=3.2 宇城市豊野町*=3.2 熊本南区富合町*=3.0 玉名市天水町*=2.9 上天草市大矢野町=2.8 嘉島町上島*=2.6 八代市鏡町*=2.5 熊本中央区大江*=2.5 2 宇城市三角町*=2.3 氷川町島地*=2.3 天草市五和町*=2.3 熊本東区佐土原*=2.2 熊本南区域南町*=2.2 玉名市横島町*=2.2 西原村小森*=2.1 熊本北区植木町*=2.1 上天草市松島町*=2.1 八代市千丁町*=2.0 和水町江田*=1.9 山鹿市鹿央町*=1.9 益城町惣領=1.8 玉名市岱明町*=1.8 上天草市姫戸町*=1.8 八代市松江城町*=1.8 合志市御代志*=1.7 熊本美里町馬場*=1.7 玉東町木葉*=1.7 甲佐町豊内*=1.6 氷川町宮原*=1.6 合志市竹迫*=1.6 熊本美里町永富*=1.6 天草市有明町*=1.6 菊池市旭志*=1.6 山鹿市鹿本町*=1.5 八代市坂本町*=1.5 1 八代市泉支所*=1.4 荒尾市宮内出目*=1.4 山鹿市菊鹿町*=1.4 長洲町長洲*=1.4 玉名市中尾*=1.3 菊池市泗水町*=1.3 八代市平山新町=1.3 菊陽町久保田*=1.3 芦北町芦北=1.3 天草市倉岳町*=1.3 天草市河浦町*=1.2 山都町浜町*=1.1 水上村岩野*=1.1 天草市天草町*=1.1 南阿蘇村河陽*=1.1 大津町引水*=1.0 玉名市築地=1.0 水俣市牧ノ内*=1.0 熊本高森町高森*=1.0 苓北町志岐*=1.0 山鹿市老人福祉センター*=1.0 菊池市隈府*=1.0 八代市東陽町*=1.0 上天草市龍ヶ岳町*=0.9 天草市牛深町=0.9 人吉市蟹作町*=0.9 天草市栖本町*=0.9 球磨村渡*=0.9 八代市泉町=0.9 御船町御船*=0.8 芦北町田浦町*=0.8 菊池市七城町*=0.8 五木村甲*=0.8 人吉市西間下町=0.7 天草市本町=0.7 多良木町上球磨消防署*=0.7 あさぎり町岡原*=0.6 水俣市陣内*=0.6 錦町一武*=0.5 福岡県 2 みやま市高田町*=1.5 1 大牟田市昭和町*=1.3 柳川市三橋町*=1.3 柳川市大和町*=1.2 大牟田市笹林=1.2 柳川市本町*=1.2 大牟田市有明町*=1.1 大川市酒見*=1.1 朝倉市堤*=0.7 久留米市津福本町=0.7 長崎県 2 雲仙市小浜町雲仙=2.1 島原市有明町*=1.8 南島原市北有馬町*=1.8 南島原市深江町*=1.7 雲仙市国見町=1.6 雲仙市雲仙出張所*=1.5 南島原市布津町*=1.5 1 南島原市口之津町*=1.4 南島原市加津佐町*=1.4 諫早市多良見町*=1.3 南島原市西有家町*=1.2 雲仙市小浜町北本町*=1.1 南島原市有家町*=1.0 大村市玖島*=1.0 雲仙市瑞穂町*=1.0 島原市下折橋町*=0.9 長崎市元町*=0.9 南島原市南有馬町*=0.8 諫早市東小路町=0.5 鹿児島県 2 長島町伊唐島*=1.7 長島町鷹巣*=1.5 1 長島町獅子島*=1.3 霧島市横川町中ノ*=0.8 伊佐市大口鳥巣*=0.8 薩摩川内市中郷=0.6 阿久根市鶴見町*=0.5 薩摩川内市上願町*=0.5 佐賀県 1 佐賀市川副*=1.2 小城市芦刈*=1.0 白石町有明*=0.9 佐賀市東与賀*=0.9 上峰町坊所*=0.8 佐賀市駅前中央=0.8 佐賀市久保田*=0.7 みやき町三根*=0.6 佐賀市諸富*=0.6 宮崎県 1 西都市上の宮*=1.1 小林市真方=0.9 川南町川南*=0.7 小林市野尻町東麓*=0.6 高千穂町三田井=0.5	32° 42.8' N	130° 39.7' E	12km	M: 4.1
92	22 23 40	長野県中部 長野県 1 松本市安曇*=0.5	36° 10.5' N	137° 45.8' E	5km	M: 1.9
93	23 00 06	青森県東方沖 北海道 2 函館市泊町*=1.8 函館市新浜町*=1.8 1 新冠町北星町*=1.4 様似町栄町*=1.3 厚真町鹿沼=1.2 新ひだか町静内山手町=1.2 浦河町潮見=1.2 浦河町築地*=1.2 安平町早来北進*=1.2 えりも町えりも岬*=1.1 函館市日ノ浜町*=1.1 江別市緑町*=1.0 むかわ町穂別*=0.9 千歳市若草*=0.9 千歳市支笏湖温泉*=0.9 新ひだか町三石旭町*=0.9 函館市美原=0.9 木古内町木古内*=0.8 浦河町野深=0.7 白老町大町=0.7 日高地方日高町門別*=0.7 新千歳空港=0.7 壮瞥町滝之町*=0.7 安平町追分柏が丘*=0.7 鹿部町宮浜*=0.6 登別市桜木町*=0.5 胆振伊達市大滝区本町*=0.5 苫小牧市末広町=0.5 青森県 2 野辺地町野辺地*=2.2 七戸町森ノ上*=2.1 八戸市南郷*=1.9 野辺地町田沢沢*=1.9 東北町上北南*=1.9 東通村砂子又沢内*=1.9 五戸町古館=1.7 階上町道仏*=1.7 平内町小湊=1.7 七戸町七戸*=1.6 青森南部町苫米地*=1.6 八戸市湊町=1.5 むつ市大畑町中島*=1.5 八戸市内丸*=1.5 1 東北町塔ノ沢山*=1.4 むつ市金曲=1.4 むつ市金谷*=1.4 五戸町倉石中市*=1.3 外ヶ浜町蟹田*=1.2 むつ市川内町*=1.2 六ヶ所村尾駁=1.1 大間町大間*=1.1 東通村砂子又蒲谷地=1.1 青森南部町沖田面*=1.1 おいらせ町中下田*=1.1 十和田市奥瀬*=1.0 三沢市桜町*=1.0 平内町東田沢*=1.0 十和田市西十二番町*=0.9 六戸町大落瀬*=0.9 横浜町林ノ脇*=0.9 十和田市西二番町*=0.9 青森市花園=0.8 三戸町在府小路町*=0.8 おいらせ町上明堂*=0.8 蓬田村蓬田*=0.7 六ヶ所村出戸=0.7 青森市中央*=0.7 つがる市柏*=0.6 東通村尻屋*=0.6 東通村白糠*=0.6 むつ市大畑町奥葉研=0.5 岩手県 1 二戸市浄法寺町*=1.3 盛岡市薮川*=1.2 軽米町軽米*=1.1 八幡平市田頭*=0.9 久慈市枝成沢=0.7 盛岡市山王町=0.5 二戸市福岡=0.5	41° 18.9' N	142° 39.0' E	35km	M: 4.9
94	23 02 43	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=0.5	32° 42.7' N	130° 39.6' E	11km	M: 1.8
95	23 03 31	熊本県熊本地方 熊本県 2 八代市坂本町*=1.9	32° 26.5' N	130° 40.6' E	6km	M: 2.3
96	24 05 52	青森県東方沖 青森県 1 東通村砂子又沢内*=1.2 階上町道仏*=0.8	41° 33.4' N	142° 04.3' E	63km	M: 3.5
97	24 12 47	福島県沖 福島県 1 檜葉町北田*=0.7	37° 46.2' N	141° 48.5' E	40km	M: 3.7

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
98	24 12 47	根室地方南部 北海道	43° 13.8' N	145° 18.4' E	100km	M: 3.4
		1 根室市厚床*=0.9				
99	24 13 34	紀伊水道 和歌山県	34° 12.7' N	135° 08.9' E	6km	M: 2.8
		1 和歌山市一番丁*=1.2 和歌山市男野芝丁=0.5				
100	24 20 48	熊本県熊本地方 熊本県	32° 45.6' N	130° 43.5' E	10km	M: 2.4
		1 熊本中央区大江*=0.9 熊本西区春日=0.8 熊本東区佐土原*=0.6				
101	24 23 15	青森県東方沖 青森県	41° 05.6' N	142° 37.5' E	32km	M: 5.1
		3 七戸町森ノ上*=3.0 八戸市南郷*=2.7 五戸町古館=2.7 五戸町倉石中市*=2.7 青森南部町苦米地*=2.7 階上町道仏*=2.5 おいらせ町中下田*=2.5				
		2 八戸市湊町=2.4 八戸市内丸*=2.4 野辺地町野辺地*=2.4 東北町上北南*=2.2 東北町塔ノ沢山*=2.2 おいらせ町上明堂*=2.2 平内町小湊=2.2 野辺地町田狭沢*=2.2 三戸町在府小路町*=2.1 青森南部町沖田面*=2.1 七戸町七戸*=2.0 六戸町犬落瀬*=2.0 三沢市桜町*=1.9 横浜町林ノ脇*=1.8 外ヶ浜町蟹田*=1.8 東通村砂子又沢内*=1.7 横浜町寺下*=1.7 むつ市金谷*=1.6 むつ市川内町*=1.6 むつ市金曲=1.6 平内町東田沢*=1.5 青森市中央*=1.5 青森市花園=1.5 むつ市大畑町中島*=1.5 新郷村戸来*=1.5				
		1 十和田市西十二番町*=1.4 十和田市奥瀬*=1.4 田子町田子*=1.4 五所川原市敷島町*=1.3 十和田市西二番町*=1.3 中泊町中里*=1.2 八戸市島守=1.2 つがる市木造*=1.2 つがる市柏*=1.2 つがる市車力町*=1.2 六ヶ所村尾駁=1.2 つがる市稲垣町*=1.2 東通村砂子又蒲谷地=1.2 藤崎町水木*=1.1 蓬田村蓬田*=1.1 青森市浪岡*=1.1 鶴田町鶴田*=1.0 大間町大間*=1.0 五所川原市金木町*=1.0 田舎館村田舎館*=0.9 むつ市脇野沢*=0.9 藤崎町西豊田*=0.9 五所川原市相内*=0.9 東通村白糠*=0.8 佐井村長後*=0.8 六ヶ所村出戸=0.8 七戸町北天間館=0.8 板柳町板柳*=0.7 黒石市市ノ町*=0.7 鰺ヶ沢町本町=0.7 つがる市森田町*=0.7 平川市猿賀*=0.6 むつ市大畑町奥薬研=0.5 東通村尻屋*=0.5 弘前市弥生=0.5				
		岩手県				
		3 盛岡市薮川*=2.5				
		2 二戸市浄法寺町*=2.4 盛岡市洪民*=2.3 軽米町軽米*=2.3 八幡平市田頭*=2.2 矢巾町南矢幅*=2.2 八幡平市野駄*=2.0 滝沢市鶴飼*=1.9 一戸町高善寺*=1.8 八幡平市大更=1.8 盛岡市山王町=1.8 二戸市福岡=1.8 岩手町五日市*=1.8 花巻市東和町*=1.8 二戸市石切所*=1.7 久慈市枝成沢=1.7 岩手洋野町種市=1.7 九戸村伊保内*=1.6 紫波町紫波中央駅前*=1.6 八幡平市叭田*=1.6 花巻市材木町*=1.6 宮古市田老*=1.5 普代村銅屋*=1.5 野田村野田*=1.5 花巻市石鳥谷町*=1.5 一関市千厩町*=1.5				
		1 北上市柳原町=1.4 奥州市江刺*=1.4 奥州市胆沢*=1.4 北上市相去町*=1.3 遠野市青笹町*=1.3 花巻市大迫町=1.3 釜石市中妻町*=1.2 葛巻町葛巻元木=1.2 宮古市五月町*=1.2 岩手洋野町大野*=1.2 宮古市川井*=1.1 盛岡市馬場町*=1.1 遠野市宮守町*=1.0 宮古市区界*=1.0 久慈市川崎町=1.0 久慈市長内町*=0.9 雫石町千刈田=0.9 奥州市水沢大鐘町=0.9 奥州市水沢佐倉河*=0.9 西和賀町沢内川舟*=0.8 住田町世田米*=0.7 一関市室根町*=0.7 山田町八幡町=0.7 山田町大沢*=0.7 大船渡市大船渡町=0.6				
		北海道				
		2 函館市新浜町*=2.2 函館市泊町*=1.7				
		1 函館市日ノ浜町*=1.3 様似町栄町*=1.1 木古内町木古内*=0.8 浦河町潮見=0.8 函館市美原=0.8 えりも町えりも岬*=0.7 浦河町築地*=0.6 厚真町鹿沼=0.6 七飯町桜町=0.6 新ひだか町静内山手町=0.5				
		宮城県				
		1 石巻市桃生町*=1.4 登米市登米町*=1.3 登米市迫町*=1.3 登米市米山町*=1.2 栗原市若柳*=1.1 登米市中田町=1.1 栗原市一迫*=0.9 南三陸町志津川=0.9 大崎市古川三日町=0.9 石巻市相野谷*=0.9 石巻市前谷地*=0.9 東松島市矢本*=0.9 宮城美里町木間塚*=0.8 大崎市古川北町*=0.8 大崎市松山*=0.8 大崎市田尻*=0.8 栗原市栗駒=0.8 松島町高城=0.8 気仙沼市唐桑町*=0.7 大河原町新南*=0.7 石巻市大街道南*=0.7 栗原市築館*=0.7 栗原市志波姫*=0.7 気仙沼市赤岩=0.7 気仙沼市笹が陣*=0.7 栗原市高清水*=0.6 岩沼市桜*=0.6				
		秋田県				
		1 鹿角市花輪*=1.4 大館市桜町*=0.9 横手市大雄*=0.9 大仙市高梨*=0.9 井川町北川尻*=0.8 大館市比内町扇田*=0.8 北秋田市新田目*=0.8 小坂町小坂砂森*=0.7 北秋田市花園町=0.7 大館市早口*=0.6 大仙市大曲花園町*=0.6 三種町豊岡*=0.6				
102	25 00 00	京都府南部 京都府	35° 08.3' N	135° 41.2' E	6km	M: 3.3
		3 京都右京区京北周山町*=2.9				
		2 京都中京区西ノ京=1.5				
		1 京都上京区藪ノ内町*=1.1 京都中京区河原町御池*=1.1 京都右京区嵯峨嵯原*=1.0 京都北区中川*=0.9 京都上京区今出川御前*=0.9 京都伏見区向島*=0.9 南丹市園部町小桜町*=0.8 京都下京区河原町塩小路*=0.7 京都西京区大枝*=0.7 京都左京区大原*=0.7 京都左京区田中*=0.6 京都左京区鞍馬*=0.6 亀岡市安町=0.6 京都北区紫竹*=0.6 京都東山区清水*=0.5 京都左京区花脊*=0.5 京都山科区安朱川向町*=0.5				
		兵庫県				
		1 三田市下里*=0.5				
103	25 02 17	茨城県北部 茨城県	36° 48.0' N	140° 32.8' E	8km	M: 4.2
		3 日立市助川小学校*=3.1 常陸太田市大中町*=2.6				
		2 日立市十王町友部*=2.4 北茨城市中郷町*=2.3 北茨城市磯原町*=2.1 日立市役所*=2.1 高萩市安良川*=2.0 常陸太田市町屋町=1.8 ひたちなか市南神敷台*=1.7 高萩市本町*=1.6 ひたちなか市東石川*=1.5 東海村東海*=1.5 常陸大宮市山方*=1.5				
		1 常陸太田市町田町*=1.4 常陸太田市金井町*=1.4 常陸大宮市上小瀬*=1.4 常陸太田市高柿町*=1.3 常陸大宮市北町*=1.3 土浦市常名=1.3 笠間市石井*=1.1 笠間市中央*=1.0 大子町池田*=1.0 城里町小勝*=1.0 那珂市福田*=0.9 那珂市瓜連*=0.9 城里町阿波山*=0.9 水戸市金町=0.8 常陸大宮市中富町=0.8 水戸市千波町*=0.8 水戸市内原町*=0.8 笠間市笠間*=0.7 常陸大宮市高部*=0.7 鉾田市汲上*=0.7 常陸大宮市野口*=0.6 城里町石塚*=0.6 笠間市下郷*=0.6				

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		小美玉市小川＊=0.6 小美玉市上玉里＊=0.6 小美玉市堅倉＊=0.5 土浦市藤沢＊=0.5 石岡市柿岡=0.5 取手市寺田＊=0.5 つくば市小基＊=0.5 かすみがうら市大和田＊=0.5 桜川市羽田＊=0.5 2 いわき市錦町＊=1.9 いわき市小名浜=1.6 1 いわき市平梅本＊=1.3 矢祭町戸塚＊=1.3 浪江町幾世橋=1.2 古殿町松川新桑原＊=1.0 田村市大越町＊=1.0 白河市東＊=1.0 檜葉町北田＊=1.0 いわき市平四ツ波＊=0.9 玉川村小高＊=0.9 福島広野町下北迫大谷地原＊=0.9 田村市都路町＊=0.9 いわき市三和町=0.9 浅川町浅川＊=0.8 棚倉町棚倉中居野=0.8 矢祭町東館＊=0.8 鏡石町不時沼＊=0.8 福島広野町下北迫苗代替＊=0.7 福島伊達市霊山町＊=0.7 川内村下川内=0.7 川内村上川内早渡＊=0.7 小野町小野新町＊=0.6 大熊町野上＊=0.6 川俣町五百田＊=0.6 飯館村伊丹沢＊=0.6 白河市郭内=0.6 田村市滝根町＊=0.6 須賀川市八幡山＊=0.6 二本松市油井＊=0.6 葛尾村落合落合＊=0.5 天栄村下松本＊=0.5 石川町長久保＊=0.5 田村市船引町=0.5 白河市新白河＊=0.5 田村市常葉町＊=0.5 郡山市湖南町＊=0.5 宮城県 1 岩沼市桜＊=0.8 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.7 群馬県 1 渋川市赤城町＊=0.5				
104	25 03 45	滋賀県南部 35° 12.8' N 135° 53.1' E 17km M: 3.0 滋賀県 1 大津市南小松=0.7 野洲市西河原＊=0.6 高島市勝野＊=0.5 京都府 1 京都左京区花脊＊=1.1 京都左京区広河原能見町＊=0.6				
105	25 06 30	岩手県沖 40° 22.5' N 142° 16.9' E 40km M: 4.2 青森県 2 階上町道仏＊=2.2 八戸市内丸＊=1.8 八戸市湊町=1.5 八戸市南郷＊=1.5 1 青森南部町苦米地＊=1.3 八戸市島守=1.1 五戸町古館=1.1 三沢市桜町＊=1.0 三戸町在府小路町＊=0.9 東北町上北南＊=0.9 東通村砂子又沢内＊=0.8 青森南部町沖田面＊=0.7 野辺地町野辺地＊=0.7 おいらせ町中下田＊=0.6 六ヶ所村尾駈=0.5 岩手県 2 軽米町軽米＊=1.9 盛岡市薮川＊=1.5 1 九戸村伊保内＊=1.4 二戸市浄法寺町＊=1.2 久慈市枝成沢=1.2 岩手町五日市＊=1.0 岩手洋野町大野＊=1.0 久慈市川崎町=0.9 八幡平市田頭＊=0.9 岩手洋野町種市=0.9 盛岡市山王町=0.8 久慈市長内町＊=0.6 盛岡市洪民＊=0.6 北海道 1 函館市泊町＊=0.6				
106	25 06 43	岩手県沖 40° 22.7' N 142° 15.9' E 41km M: 3.5 青森県 1 階上町道仏＊=0.9 青森南部町苦米地＊=0.7 八戸市内丸＊=0.5				
107	25 18 28	栃木県北部 36° 53.1' N 139° 25.0' E 5km M: 2.0 福島県 1 檜枝岐村上河原＊=0.8				
108	25 21 51	五島列島近海 33° 06.9' N 129° 36.7' E 12km M: 2.7 長崎県 1 松浦市志佐町＊=0.8 平戸市志々伎町＊=0.5				
109	26 19 47	釧路地方北部 43° 35.3' N 144° 17.7' E 0km M: 3.1 北海道 2 弟子屈町サウンチサップ＊=2.0				
110	27 13 50	大分県中部 33° 17.5' N 131° 22.7' E 9km M: 2.2 大分県 1 別府市天間=1.1				
111	27 22 12	岩手県沖 40° 13.3' N 142° 18.0' E 39km M: 3.9 青森県 1 階上町道仏＊=0.7 八戸市内丸＊=0.5				
112	28 12 49	広島県北部 34° 37.7' N 132° 23.6' E 21km M: 2.8 広島県 1 北広島町川小田＊=0.8 北広島町有田=0.6 安芸高田市美土里町＊=0.6 広島安佐北区可部南＊=0.5				
113	28 19 53	大阪府北部 34° 50.8' N 135° 37.4' E 12km M: 4.0 京都府 3 京都伏見区向島＊=3.1 大山崎町円明寺＊=3.1 久御山町田井＊=3.1 京都西京区大枝＊=2.9 亀岡市余部町＊=2.9 八幡市八幡＊=2.8 南丹市園部町小桜町＊=2.7 向日市寺戸町＊=2.7 京都伏見区久我＊=2.7 京都中京区河原町御池＊=2.6 亀岡市安町=2.6 宇治市宇治琵琶=2.5 長岡京市開田＊=2.5 2 京都西京区慇原＊=2.4 城陽市寺田＊=2.4 井手町井手＊=2.2 京都伏見区醍醐＊=2.2 宇治市折居台＊=2.2 京都伏見区淀＊=2.2 南丹市八木町八木＊=2.1 京都左京区田中＊=2.0 宇治田原町荒木＊=1.8 京都伏見区竹田＊=1.8 京都山科区西野＊=1.8 京田辺市田辺＊=1.8 京都下京区河原町塩小路＊=1.7 精華町南稲八妻＊=1.7 京丹波町蒲生＊=1.7 京都山科区安朱川向町＊=1.6 京都中京区西ノ京=1.6 1 京都東山区清水＊=1.4 京都南区西九条＊=1.4 京都右京区太秦＊=1.4 木津川市山城町上狛＊=1.4 京都右京区嵯峨＊=1.3 京都右京区京北周山町＊=1.3 南丹市日吉町保野田＊=1.1 木津川市木津＊=1.1 京都北区紫竹＊=1.1 京都上京区薮ノ内町＊=1.0 京都上京区今出川御前＊=1.0 京都左京区大原＊=1.0 木津川市加茂町里＊=0.9 京都右京区嵯峨嵯原＊=0.9 京丹波町橋爪＊=0.9 和束町釜塚＊=0.8 南山城村北大河原＊=0.8 京丹波町本庄＊=0.8 京丹波市弥栄町溝谷＊=0.7 京都北区中川＊=0.7 笠置町笠置＊=0.6 京都左京区花脊＊=0.5 京都左京区岩倉＊=0.5 福知山市三和町千束＊=0.5 伊根町日出＊=0.5 大阪府 3 枚方市大垣内＊=2.9 大阪東淀川区北江口＊=2.8 大阪北区茶屋町＊=2.5 高槻市桃園町=2.5 高槻市立第2中学校＊=2.5 高槻市消防本部＊=2.5 茨木市東中条町＊=2.5 寝屋川市役所＊=2.5 箕面市粟生外院＊=2.5 島本町若山台＊=2.5 豊能町余野＊=2.5 2 箕面市箕面=2.4 交野市私部＊=2.4 大阪都島区都島本通＊=2.3 摂津市三島＊=2.1 大阪旭区大宮＊=2.1 豊中市役所＊=2.0 吹田市内本町＊=2.0 能勢町今西＊=1.9 能勢町役場＊=1.9 豊中市曾根南町＊=1.9				

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		四條畷市中野＊=1.9 門真市中町＊=1.8 池田市城南＊=1.7 大阪此花区春日出北＊=1.7 守口市京阪本通＊=1.7 大阪東淀川区柴島＊=1.7 大阪国際空港=1.7 大阪淀川区木川東＊=1.6 大阪西淀川区千舟＊=1.6 大東市新町＊=1.6 大阪中央区大手前=1.5 大阪福島区福島＊=1.5 1 大阪城東区放出西＊=1.4 大阪港区築港＊=1.2 大阪東成区東中本＊=1.2 大阪生野区舍利寺＊=1.2 大阪鶴見区横堤＊=1.2 東大阪市荒本北＊=1.1 大阪太子町山田＊=1.0 八尾市本町＊=0.9 大阪西区九条南＊=0.9 大阪大正区泉尾＊=0.9 大阪西成区岸里＊=0.8 大阪住之江区御崎＊=0.8 大阪平野区平野南＊=0.8 泉大津市東雲町＊=0.8 富田林市高辺台＊=0.8 柏原市安堂町＊=0.7 大阪東住吉区杭全＊=0.7 河南町白木＊=0.7 千早赤阪村水分＊=0.7 大阪天王寺区上本町＊=0.6 大阪浪速区元町＊=0.6 大阪阿倍野区松崎町＊=0.6 2 大津市国分＊=1.9 大津市南郷＊=1.8 草津市草津＊=1.5 1 東近江市五個荘小幡町＊=1.4 近江八幡市出町＊=1.3 湖南市石部中央西庁舎＊=1.3 大津市御陵町=1.3 長浜市西浅井町大浦＊=1.2 近江八幡市桜宮町=1.2 栗東市安養寺＊=1.1 甲賀市信楽町＊=1.1 野洲市西河原＊=1.1 湖南市中央森北公園＊=1.0 愛荘町愛知川＊=1.0 近江八幡市安土町下豊浦＊=1.0 大津市南小松=0.9 竜王町小口＊=0.9 東近江市市子川原町＊=0.9 高島市勝野＊=0.8 愛荘町安孫子＊=0.8 守山市石田町＊=0.8 湖南市中央東庁舎＊=0.7 野洲市小篠原＊=0.6 高島市今津町日置前＊=0.5 大津市真野＊=0.5 2 西宮市宮前町=2.0 川西市中央町＊=2.0 尼崎市昭和通＊=1.7 西宮市平木＊=1.7 三田市下里＊=1.7 宝塚市東洋町＊=1.5 1 神戸中央区脇浜=1.3 西宮市名塩＊=1.3 明石市中崎=1.2 伊丹市千僧＊=1.2 篠山市北新町=1.2 篠山市宮田＊=1.2 朝来市和田山町枚田=1.2 朝来市生野町＊=1.2 神戸東灘区住吉東町＊=1.2 神戸長田区神楽町＊=1.2 神戸北区藤原台南町＊=1.1 芦屋市精道町＊=1.1 姫路市豊富＊=1.1 神戸兵庫区上沢通＊=1.1 明石市相生＊=1.0 三木市細川町=1.0 篠山市杉＊=1.0 淡路市久留麻＊=1.0 三木市福井＊=0.9 丹波市市島町＊=0.9 多可町八千代区＊=0.9 三田市下深田=0.8 加東市社=0.7 姫路市香寺町中屋＊=0.7 神戸兵庫区島原町＊=0.7 加西市下万願寺町=0.7 多可町加美区＊=0.6 洲本市物部=0.6 猪名川町紫合＊=0.6 朝来市新井＊=0.5 加古川市加古川町=0.5 丹波市春日町＊=0.5 2 高取町観覧寺＊=1.9 御所市役所＊=1.8 大和郡山市北郡山町＊=1.7 斑鳩町法隆寺西＊=1.6 広陵町南郷＊=1.6 生駒市東新町＊=1.5 平群町吉新＊=1.5 1 天理市川原城町＊=1.4 安堵町東安堵＊=1.4 奈良市二条大路南＊=1.3 桜井市栗殿＊=1.3 香芝市本町＊=1.3 三郷町勢野西＊=1.3 奈良川西町結崎＊=1.3 田原本町役場＊=1.3 橿原市八木町＊=1.2 上牧町上牧＊=1.2 葛城市柿本＊=1.2 宇陀市大宇陀迫間＊=1.2 大和高田市大中＊=1.1 三宅町伴堂＊=1.1 葛城市長尾＊=1.1 桜井市初瀬=1.0 山添村大西＊=0.9 王寺町王寺＊=0.9 宇陀市室生大野＊=0.9 大和高田市野口＊=0.9 奈良市都祁白石町＊=0.8 河合町池部＊=0.8 吉野町上市＊=0.8 平群町鳴川=0.7 曾爾村今井＊=0.7 奈良市西紀寺町=0.7 御杖村菅野＊=0.6 奈良市月ヶ瀬尾山＊=0.6 福井県 1 高浜町宮崎=0.5 岐阜県 1 大野町大野＊=1.0 養老町高田＊=1.0 安八町氷取＊=0.9 揖斐川町東津汲＊=0.9 本巣市下真桑＊=0.8 海津市平田町＊=0.7 揖斐川町東杉原＊=0.7 岐阜山県市高富＊=0.7 大垣市墨俣町＊=0.7 岐阜山県市美山支所＊=0.6 大垣市丸の内＊=0.6 揖斐川町谷汲＊=0.5 岐阜町八剣＊=0.5 三重県 1 鈴鹿市西条=0.6 香川県 1 小豆島町馬木＊=0.5				
114	29 00 39	神奈川県西部 神奈川県 2 山北町山北＊=2.2 中井町比奈窪＊=1.9 南足柄市関本＊=1.6 藤沢市辻堂東海岸＊=1.6 秦野市平沢＊=1.6 1 大磯町月京＊=1.4 松田町松田惣領＊=1.3 箱根町湯本＊=1.3 開成町延沢＊=1.2 秦野市曽屋=1.2 神奈川大井町金子＊=1.1 小田原市荻窪＊=1.0 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.0 真鶴町岩＊=0.9 清川村煤ヶ谷＊=0.8 厚木市中町＊=0.8 湯河原町中央=0.8 平塚市浅間町＊=0.6 山梨県 1 山中湖村山中＊=1.1 富士河口湖町船津=1.1 道志村役場＊=0.7 大月市御太刀＊=0.5 静岡県 1 富士宮市野中＊=1.2 富士市大淵＊=1.1 御殿場市茱萸沢＊=1.1 東伊豆町奈良本＊=1.0 熱海市泉＊=1.0 小山町藤曲＊=1.0 御殿場市萩原=0.9 伊豆市中伊豆グラウンド=0.8 富士宮市弓沢町=0.5	35° 20.8' N	139° 06.5' E	19km	M: 3.5
115	29 05 58	岩手県沖 岩手県 2 宮古市田老＊=1.9 1 宮古市五月町＊=1.3 宮古市鉾ヶ崎=1.1 田野畑村田野畑=1.1 普代村銅屋＊=0.9 住田町世田米＊=0.9 山田町大沢＊=0.8 宮古市茂市＊=0.7 釜石市只越町=0.6 田野畑村役場＊=0.6 八幡平市田頭＊=0.6 遠野市宮守町＊=0.6 花巻市大迫総合支所＊=0.5 釜石市中妻町＊=0.5	39° 47.1' N	142° 10.1' E	23km	M: 3.7
116	29 07 35	茨城県沖 福島県 2 小野町中通＊=1.5 1 白河市東＊=1.4 泉崎村泉崎＊=1.3 棚倉町棚倉中居野=1.3 浅川町浅川＊=1.3 田村市船引町=1.3 玉川村小高＊=1.2 白河市新白河＊=1.2 白河市表郷＊=1.2 矢祭町東館＊=1.2 郡山市開成＊=1.1 田村市常葉町＊=1.1 小野町小野新町＊=1.0 田村市都路町＊=1.0 須賀川市八幡山＊=0.9 田村市大越町＊=0.9 二本松市油井＊=0.9 鏡石町不時沼＊=0.9 矢祭町戸塚＊=0.8 古殿町松川横川=0.8 白河市大信＊=0.8 石川町長久保＊=0.8 須賀川市岩瀬支所＊=0.8 須賀川市八幡町＊=0.7 郡山市朝日=0.7 川俣町五百田＊=0.7 古殿町松川新桑原＊=0.7 白河市郭内=0.7 天栄村下松本＊=0.7 福島伊達市霊山町＊=0.6 郡山市湖南町＊=0.5 茨城県 2 日立市助川小学校＊=2.4 東海村東海＊=2.3 ひたちなか市南神敷台＊=1.9 常陸大宮市北町＊=1.9 日立市役所＊=1.8 大子町池田＊=1.7 常陸大宮市上小瀬＊=1.7 笠間市石井＊=1.6 水戸市内原町＊=1.6 小美玉市堅倉＊=1.6 城里町石塚＊=1.5 鉾田市鉾田=1.5 常陸太田市高柿町＊=1.5 1 土浦市常名=1.4 茨城鹿嶋市鉾形=1.4 筑西市門井＊=1.4 笠間市笠間＊=1.3 ひたちなか市東石川＊=1.3 小美玉市小川＊=1.3 茨城鹿嶋市宮中＊=1.3 鉾田市汲上＊=1.3 水戸市千波町＊=1.3 笠間市下郷＊=1.2 水戸市金町=1.2 那珂市福田＊=1.1 那珂市瓜連＊=1.1 笠間市中央＊=1.1 石岡市若宮＊=1.1 北茨城市磯原町＊=1.1 行方市山田＊=1.0 桜川市羽田＊=1.0 鉾田市造谷＊=1.0 茨城町小堤＊=1.0	36° 33.2' N	140° 47.2' E	53km	M: 3.9

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模	
		栃木県	常陸太田市町屋町=1.0 稲敷市江戸崎甲*=1.0 小美玉市上玉里*=1.0 かすみがうら市上土田*=1.0 高萩市安良川*=0.9 かすみがうら市大和田*=0.9 石岡市柿岡=0.9 桜川市岩瀬*=0.9 常陸大宮市山方*=0.9 行方市麻生*=0.8 大洗町磯浜町*=0.8 北茨城市巾着町*=0.8 ひたちなか市山ノ上町=0.8 常陸太田市金井町*=0.7 常陸大宮市高部*=0.7 潮来市辻*=0.7 日立市十王町友部*=0.7 城里町阿波山*=0.6 行方市玉造*=0.6 美浦村受領*=0.6 稲敷市伊佐津*=0.6 取手市寺田*=0.6 土浦市田中*=0.6 土浦市藤沢*=0.6 高萩市本町*=0.5 つくば市小茎*=0.5 石岡市八郷*=0.5 稲敷市須賀津*=0.5 潮来市堀之内=0.5				
			2 那須烏山市中央=1.6				
		群馬県	1 宇都宮市明保野町=1.4 市貝町市塙*=1.4 高根沢町石末*=1.3 真岡市石島*=1.2 真岡市田町*=1.1 大田原市湯津上*=1.0 宇都宮市中里町*=0.9 足利市大正町*=0.9 真岡市荒町*=0.9 芳賀町祖母井*=0.9 益子町益子=0.8 茂木町茂木*=0.8 下野市笹原*=0.8 鹿沼市今宮町*=0.7 日光市鬼怒川温泉大原*=0.7 下野市田中*=0.7 那須烏山市大金*=0.6 那須烏山市役所*=0.6 栃木那珂川町馬頭*=0.6 下野市石橋*=0.6 鹿沼市口栗野*=0.6 日光市今市本町*=0.6 栃木那珂川町小川*=0.5				
		千葉県	1 渋川市赤城町*=1.2 桐生市元宿町*=0.7 桐生市黒保根町*=0.7 桐生市新里町*=0.6 沼田市利根町*=0.5				
117	29 09 46	熊本県熊本地方 熊本県	32° 40.0' N	130° 42.7' E	12km	M: 3.2	
			2 宇土市浦田町*=2.0 宇城市豊野町*=1.8 宇城市松橋町=1.7				
			1 熊本西区春日=1.4 熊本美里町馬場*=1.3 宇城市不知火町*=1.3 甲佐町豊内*=1.3 嘉島町上島*=1.2 熊本南城区南町*=1.2 熊本美里町永富*=1.0 熊本中央区大江*=1.0 氷川町島地*=0.9 御船町御船*=0.9 熊本南区富合町*=0.7 熊本北区植木町*=0.6 菊池市旭志*=0.5				
118	29 12 25	青森県東方沖 青森県	40° 54.7' N	142° 07.6' E	51km	M: 3.5	
			1 階上町道仏*=0.9 八戸市湊町=0.7 八戸市内丸*=0.6				
119	29 14 30	茨城県南部 茨城県	35° 59.2' N	140° 04.6' E	61km	M: 4.1	
			2 つくば市小茎*=2.3 筑西市舟生=2.2 取手市寺田*=2.1 筑西市門井*=2.0 土浦市常名=1.9 つくばみらい市福田*=1.8 笠間市石井*=1.7 下妻市本城町*=1.7 桜川市真壁*=1.7 つくば市研究学園*=1.6 石岡市若宮*=1.6 牛久市中央*=1.6 下妻市鬼怒*=1.5 常総市新石下*=1.5 常総市水海道諏訪町*=1.5 茨城町小堤*=1.5 土浦市藤沢*=1.5 茨城古河市下大野*=1.5 石岡市柿岡=1.5 境町旭町*=1.5 小美玉市堅倉*=1.5 小美玉市上玉里*=1.5 桜川市岩瀬*=1.5				
			1 水戸市内原町*=1.4 小美玉市小川*=1.4 土浦市田中*=1.4 石岡市八郷*=1.4 取手市井野*=1.4 取手市藤代*=1.4 かすみがうら市上土田*=1.4 つくばみらい市加藤*=1.3 笠間市笠間*=1.3 稲敷市江戸崎甲*=1.3 城里町石塚*=1.3 茨城古河市仁連*=1.2 笠間市中央*=1.2 八千代町菅谷*=1.2 守谷市大柏*=1.1 坂東市岩井=1.1 坂東市山*=1.1 坂東市役所*=1.1 龍ヶ崎市役所*=1.1 稲敷市結佐*=1.1 笠間市下郷*=1.1 かすみがうら市大和田*=1.1 稲敷市伊佐津*=1.0 つくば市天王台*=1.0 桜川市羽田*=1.0 河内町源清田*=0.9 日立市十王町友部*=0.9 常陸大宮市北町*=0.9 稲敷市役所*=0.9 常陸大宮市山方*=0.9 美浦村受領*=0.8 阿見町中央*=0.8 水戸市金町=0.8 大子町池田*=0.8 五霞町小福田*=0.8 常陸大宮市上小瀬*=0.8 茨城鹿嶋市鉾形=0.7 城里町阿波山*=0.7 筑西市下中山*=0.7 結城市結城*=0.7 東海村東海*=0.7 行方市玉造*=0.7 ひたちなか市南神敷台*=0.6 行方市麻生*=0.6 利根町布川=0.6 日立市助川小学校*=0.5 鉾田市鉾田=0.5 鉾田市汲上*=0.5				
		栃木県	2 真岡市石島*=2.3 鹿沼市晃望台*=1.7 宇都宮市明保野町=1.6 栃木市旭町=1.5 鹿沼市口栗野*=1.5 益子町益子=1.5 茂木町茂木*=1.5				
			1 栃木市大平町富田*=1.4 栃木市岩舟町静*=1.4 鹿沼市今宮町*=1.4 下野市笹原*=1.4 佐野市高砂町*=1.3 市貝町市塙*=1.3 真岡市田町*=1.2 足利市大正町*=1.2 日光市足尾町中才*=1.1 日光市今市本町*=1.1 栃木市藤岡町藤岡*=1.1 真岡市荒町*=1.1 壬生町通町*=1.0 高根沢町石末*=1.0 下野市田中*=1.0 宇都宮市中里町*=1.0 日光市鬼怒川温泉大原*=1.0 小山市中央町*=0.9 芳賀町祖母井*=0.9 日光市日蔭*=0.8 栃木市万町*=0.8 日光市湯元*=0.8 佐野市葛生東*=0.8 野木町丸林*=0.7 日光市藤原庁舎*=0.6 栃木市西方町本城*=0.6 日光市瀬川=0.5 宇都宮市旭*=0.5				
		群馬県	2 邑楽町中野*=1.6				
			1 千代田町赤岩*=1.3 大泉町日の出*=1.1 館林市美園町*=1.0 桐生市黒保根町*=0.9 館林市城町*=0.9 板倉町板倉=0.9 渋川市赤城町*=0.8 群馬明和町新里*=0.8 沼田市白沢町*=0.6 沼田市西倉内町=0.5 沼田市利根町*=0.5 伊勢崎市西久保町*=0.5				
		埼玉県	2 加須市騎西*=1.6 宮代町笠原*=1.6				
			1 春日部市粕壁*=1.4 春日部市金崎*=1.4 上尾市本町*=1.4 幸手市東*=1.4 蕨市中央*=1.3 加須市北川辺*=1.2 行田市南河原*=1.1 久喜市下早見=1.1 春日部市谷原新田*=1.1 草加市高砂*=1.1 八潮市中央*=1.1 吉川市きよみ野*=1.1 さいたま浦和区高砂=1.1 加須市大和*=1.0 白岡市千駄野*=1.0 戸田市上戸田*=1.0 さいたま南区別所*=0.9 さいたま緑区中尾*=0.9 久喜市栗橋*=0.9 熊谷市妻沼*=0.9 行田市本丸*=0.9 三郷市中央*=0.9 さいたま北区宮原*=0.9 久喜市青葉*=0.8 さいたま大宮区大門*=0.8 桶川市泉*=0.8 東松山市松葉町*=0.7 羽生市東*=0.7 朝霞市本町*=0.7 和光市広沢*=0.7 久喜市菖蒲*=0.7 さいたま西区指扇*=0.7 さいたま大宮区天沼町*=0.7 さいたま見沼区堀崎*=0.7 富士見市鶴馬*=0.6 越谷市越ヶ谷*=0.6 久喜市鷺宮*=0.6 さいたま中央区下落合*=0.5 加須市三俣*=0.5 川口市三ツ和*=0.5				
		千葉県	2 野田市鶴泰*=2.0 柏市柏*=1.5				
			1 八千代市大和田新田*=1.4 柏市旭町=1.3 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.2 白井市復*=1.2 野田市東宝珠花*=1.1 習志野市鷺沼*=1.1 柏市大島田*=1.0 千葉花見川区花島町*=0.9 松戸市西馬橋*=0.9 印西市大森*=0.9 栄町安食台*=0.9 浦安市日の出=0.8 千葉中央区都町*=0.7 成田市名古屋=0.7				

平成30年8月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		東京都 1 東京千代田区大手町=1.1 東京渋谷区本町*=1.1 調布市西つつじヶ丘*=1.1 東京中央区勝どき*=1.0 東京江戸川区中央=1.0 東京北区西ヶ原*=0.9 東京荒川区東尾久*=0.9 東京足立区神明南*=0.9 小平市小川町*=0.9 東京新宿区上落合*=0.8 東京世田谷区三軒茶屋*=0.8 東京中野区江古田*=0.8 東京杉並区高井戸*=0.8 東京足立区伊興*=0.8 東大和市中央*=0.8 東京北区神谷*=0.7 東京練馬区東大泉*=0.7 東京江戸川区鹿骨*=0.7 東京江戸川区船堀*=0.7 東京江東区越中島*=0.6 東京葛飾区立石*=0.6 東京江東区森下*=0.6 東京国際空港=0.6 三鷹市野崎*=0.6 東京渋谷区宇田川町*=0.6 東京中野区中野*=0.6 東京板橋区高島平*=0.5 東京墨田区東向島*=0.5 東京足立区千住中居町*=0.5 東京品川区平塚*=0.5 東京千代田区富士見*=0.5 神奈川県 1 横浜港北区日吉本町*=1.0 三浦市城山町*=0.7 横浜鶴見区末広町*=0.6				
120	29 16 16	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町*=0.7	38° 32.2' N	141° 43.0' E	53km	M: 3.5
121	29 18 16	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 1 霧島市横川町中ノ*=0.5	31° 54.7' N	130° 49.2' E	0km	M: 1.5
122	30 03 51	茨城県南部 茨城県 1 取手市寺田*=1.0 つくば市小荊*=0.7 桜川市岩瀬*=0.7 土浦市常名=0.7 笠間市石井*=0.7 つくばみらい市福田*=0.6 筑西市舟生=0.5 筑西市門井*=0.5 栃木県 1 栃木市旭町=0.8 宇都宮市明保野町=0.5 群馬県 1 邑楽町中野*=0.6 埼玉県 1 春日部市粕壁*=1.0 宮代町笠原*=0.7 千葉県 1 野田市鶴奉*=0.7	36° 01.0' N	140° 04.7' E	61km	M: 3.5
123	30 07 15	岐阜県美濃中西部 岐阜県 1 郡上市八幡町旭*=1.4 郡上市八幡町島谷=0.6 郡上市大和町*=0.5	35° 46.5' N	136° 50.8' E	12km	M: 3.0
124	30 17 41	岩手県沖 青森県 1 階上町道仏*=0.6 岩手県 1 一関市室根町*=0.9 盛岡市薮川*=0.8 大船渡市大船渡町=0.7 花巻市大迫町=0.7 花巻市大迫総合支所*=0.7 釜石市中妻町*=0.7 住田町世田米*=0.6 盛岡市洪民*=0.6 山田町大沢*=0.5 宮古市川井*=0.5 一関市大東町=0.5 宮古市区界*=0.5 宮城県 1 気仙沼市赤岩=0.5	39° 29.7' N	142° 02.9' E	60km	M: 3.7
125	30 21 02	宮城県沖 宮城県 1 石巻市桃生町*=0.7 石巻市北上町*=0.5	38° 25.7' N	142° 08.5' E	34km	M: 4.0
126	31 00 38	青森県東方沖 北海道 1 函館市泊町*=0.5	40° 53.0' N	143° 08.9' E	8km	M: 4.2
127	31 03 40	西表島付近 沖縄県 1 竹富町大原=1.1	24° 15.2' N	123° 48.5' E	14km	M: 3.1
128	31 11 12	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.6	36° 37.7' N	141° 00.1' E	47km	M: 3.2
129	31 19 04	栃木県南部 茨城県 1 石岡市柿岡=0.7 桜川市羽田*=0.7 かすみがうら市上土田*=0.6 日立市助川小学校*=0.5 桜川市岩瀬*=0.5 笠間市石井*=0.5 土浦市常名=0.5 水戸市内原町*=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=1.2 栃木市岩舟町静*=1.0 栃木市旭町=0.8 日光市今市本町*=0.8 下野市笹原*=0.8 芳賀町祖母井*=0.7 下野市石橋*=0.7 宇都宮市中里町*=0.7 佐野市高砂町*=0.5 日光市鬼怒川温泉大原*=0.5	36° 26.7' N	139° 51.2' E	84km	M: 3.6
130	31 21 24	伊予灘 愛媛県 2 伊方町湊浦*=1.7 大洲市大洲*=1.6 八幡浜市五反田*=1.5 1 宇和島市三間町*=1.4 八幡浜市保内町*=1.3 西予市三瓶町*=1.3 内子町内子*=1.2 内子町平岡*=1.2 大洲市肱川町*=1.2 西予市明浜町*=1.1 久万高原町久万*=1.0 松野町松丸*=1.0 西予市野村町=0.9 西予市宇和町*=0.9 大洲市長浜*=0.8 伊予市中山町*=0.8 八幡浜市広瀬=0.8 松山市富久町*=0.8 宇和島市吉田町*=0.8 西予市城川町*=0.7 松山市北条辻*=0.6 松山市北持田町=0.6 砥部町宮内*=0.5 松山市中島大浦*=0.5 大洲市河辺町*=0.5 広島県 1 呉市二河町*=0.7 江田島市大柿町*=0.6 呉市安浦町*=0.5 高知県 1 宿毛市桜町*=0.6 梶原町広野*=0.5 山口県 1 上関町長島*=1.0 柳井市大島*=0.9 光市中央*=0.8 柳井市南町*=0.7 平生町平生*=0.7 周防大島町平野*=0.7 周防大島町小松*=0.7 防府市西浦*=0.7 周防大島町久賀*=0.6 下松市大手町*=0.6 岩国市玖珂総合支所*=0.6 周防大島町西安下庄*=0.5 田布施町下田布施=0.5 大分県 1 豊後高田市御玉*=0.7 国東市鶴川=0.7 国東市田深*=0.7	33° 37.2' N	132° 23.0' E	45km	M: 3.9
131	31 21 43	秋田県沿岸北部 秋田県 1 井川町北川尻*=0.6	39° 53.6' N	140° 00.6' E	15km	M: 2.5

● 付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成29年(2017年)9月～平成30年(2018年)8月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成29年(2017年)											
9月	118	52	13	4		1				188	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動 (震度1以上合計:20回) 8日 秋田県内陸南部(震度5強) 地震活動(震度5強:1回、震度4:1回、震度3:2回、 震度2:12回、震度1:33回)
10月	92	41	9			1				143	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動 (震度1以上合計:22回) 6日 福島県沖(震度5弱) 福島県中通りから茨城県北部にかけての地震活動 (震度1以上合計:13回)
11月	95	34	11	4						144	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動 (震度1以上合計:15回) 鹿児島湾の地震活動 (震度1以上合計:10回)
12月	96	34	9	3						142	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動 (震度1以上合計:14回)
平成30年(2018年)											
1月	80	37	11	3						131	
2月	72	24	8	3						107	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動 (震度1以上合計:11回)
3月	108	46	12	2	1					169	1日 西表島付近(震度5弱) 地震活動(震度5弱:1回、震度3:3回、震度2:8回、 震度1:29回)
4月	111	48	14	6	1	1				181	9日 島根県西部(震度5強) 地震活動(震度5強:1回、震度4:4回、震度3:4回、 震度2:14回、震度1:24回) 14日 根室半島南東沖(震度5弱) トカラ列島近海の地震活動 (震度1以上合計:19回)
5月	100	42	12	5	1	1				161	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動 (震度4:1回、震度2:3回、震度1:10回) 12日 長野県北部(震度5弱) 地震活動(震度5弱:1回、震度3:3回、震度2:2回、 震度1:5回) 25日 長野県北部(震度5強) 地震活動(震度5強:1回、震度3:1回、震度2:6回、 震度1:10回)
6月	127	49	17	5	1		1			200	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動 (震度1以上合計:12回) 千葉県東方沖から千葉県北東部及び南部付近にかけての地震 活動(震度4:2回、震度3:6回、震度2:8回、震度 1:10回) 17日 群馬県南部(震度5弱) 18日 大阪府北部(震度6弱)※1 地震活動(震度6弱:1回、震度4:1回、震度3:4回、 震度2:11回、震度1:25回)
7月	109	34	10	5	1					159	大阪府北部の地震活動(※1の周辺) (震度3:1回、震度2:3回、震度1:9回) 7日 千葉県東方沖(震度5弱) 地震活動(震度5弱:1回、震度2:3回、震度1:7回)
8月	89	29	11	2						131	
平成30年計	796	309	95	31	5	2	1	0	0	1239	
過去1年計	1197	470	137	42	6	3	1	0	0	1856	(平成29年9月～平成30年8月)

注)「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数
 <平成29年 (2017年) 9月～平成30年 (2018年) 8月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成29年 (2017年)								
9月	388	63	13	3		467	79	8日 小笠原諸島西方沖 (M6.1) 21日 三陸沖 (M6.3) 27日 岩手県沖 (M6.1)
10月	415	76	7	1		499	84	6日 福島県沖 (M6.3)
11月	395	72	10	2		479	84	13日 三陸沖 (M6.0) 16日 八丈島東方沖 (M6.0)
12月	354	79	10	1		444	90	21日 鳥島近海 (M6.0)
平成30年 (2018年)								
1月	385	80	9	1		475	90	24日 青森県東方沖 (M6.3)
2月	436	85	18	4		543	107	4日 台湾付近 (M6.5) 7日 台湾付近 (M6.7) 7日 台湾付近 (M6.1) 8日 台湾付近 (M6.2)
3月	344	63	11			418	74	
4月	349	72	11	1		433	84	9日 島根県西部 (M6.1)
5月	339	56	11			406	67	
6月	357	68	5	1		431	74	18日 大阪府北部 (M6.1)
7月	328	73	14	1		416	88	7日 千葉県東方沖 (M6.0)
8月	365	95	11	2		473	108	17日03時21分 硫黄島近海 (M6.3) 17日03時23分 硫黄島近海 (M6.6)
平成30年計	2903	592	90	10	0	3595	692	
過去1年計	4455	882	130	17	0	5484	1029	(平成29年9月～平成30年8月)

注) 日本及びその周辺: 原則、北緯 20～49 度、東経 120～154 度の範囲。「記事」の欄には主に M6.0 以上の地震を記載した。

●付録4. 緊急地震速報の提供状況

平成30年8月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は58回であった。

平成19年10月～平成30年8月に発表した緊急地震速報の月別回数

年 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)					9(516)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、()内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

●付録5. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

平成30年8月に、長周期地震動階級※1以上を観測した地震はなかった。

平成25年3月～平成30年8月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数
(平成25年3月28日の長周期地震動に関する観測情報(試行)※※の提供開始以降)

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0					8

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物に掴まりたいと感じる。物につかまらなと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、平成29年12月号「付録10. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。
 ※※ 長周期地震動に関する観測情報(試行)に関する詳細は、地震・火山月報(防災編)平成25年4月号「特集3. 長周期地震動に関する観測情報(試行)について」を参照。